



SHIMANE
UNIVERSITY
Profile of Shimane University

島根大学概要 2019

さあ、ともに島根大学から。



地域に生き世界で輝く

島根大学は豊かな自然と落ち着いた佇まいに恵まれた松江市と出雲市の2つのキャンパスに、6学部、5研究科を持ち、文科系、理科系、医学系のほとんどすべての学問領域を学ぶことができる総合大学です。昨年4月に人間科学部、今年4月には大学院自然科学研究科を設置するなど、大学における機能強化を図りながら発展を続けています。

島根大学は、総合大学としての強みを最大限に発揮し、体系的なカリキュラムにより修得される豊かな教養と高い専門知識・技量、そして多様な実践教育による柔軟な発想力と確かなコミュニケーション力を身に付け、急速な社会変革に対応し、豊かで明るい未来を創造する学生を育てます。

また、島根大学は山陰地域における課題に向き合い地域との協創を強化し、地域と一体となって地方創生に取り組み、地域課題の解決の普遍性、汎用性を追及するとともに、先進的研究により新たな「知」を創造し、新世代の構築に寄与することで、地域やグローバル社会に広く貢献していきます。

島根大学長
服部 泰直



PROFILE OF SHIMANE UNIVERSITY

CONTENTS もくじ

01	学長挨拶
02	島根大学憲章
03	豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成
05	特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進
07	地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進
09	アジアをはじめとする諸外国との交流の推進
11	学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営
13	法文学部・人文社会科学研究科
14	教育学部・教育学研究科
15	人間科学部
16	医学部・医学系研究科
17	医学部附属病院
18	総合理工学部・総合理工学研究科
19	生物資源科学部
20	自然科学研究科／法務研究科
21	キャンパスマップ(松江)／附属図書館(本館・松江)
22	キャンパスマップ(出雲)／附属図書館(医学図書館・出雲)
23	学内施設等

DATA BOOK

26	沿革
27	沿革図
29	運営組織図
31	役職員・経営協議会委員・教育研究評議会議員
33	教職員数
34	学部・大学院
35	附属図書館
36	附属病院
37	学生数／附属学校児童・生徒・幼児数
39	入試実施状況
43	卒業者数・修了者数
45	卒業・修了後の状況
47	公開講座・公開授業
49	科学研究費助成事業等の受入状況
50	収入・支出決算額
51	外国人留学生の受入状況
52	外国への留学状況
53	定期刊行文献
54	土地・建物
55	連絡先一覧
56	アクセス

島根大学憲章

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、専門の学芸を教授研究するとともに、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努める。

とりわけ、世界的視野を持って、平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成することを使命とする。

この使命を実現するために、島根大学は、知と文化の拠点として培った伝統と精神を重んじ、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すとともに、学生・教職員の協同のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進する。

1. 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成

島根大学は、深い教養に裏づけられた高い公共性・倫理性の涵養を教育の基礎に置き、現代社会を担う高度な専門性を身につけた人材の養成を行う。

島根大学は、学生が、山陰の豊かな自然、歴史と文化の中で、学修や関連する諸活動を通して積極的に社会に関わりながら、自ら主体的に学び、自律的人格として自己研鑽に努めるための環境を提供する。

2. 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

島根大学は、社会の多面的要請に応える多様な分野の研究を推進するとともに、分野間の融合による特色ある研究を強化し、国際的に通用する創造性豊かな研究拠点を構築する。

島根大学は、社会の要請に応え、地域課題に立脚した特色ある研究を推進する。

3. 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

島根大学は、教育・学修、研究、医療を通して学術研究の成果を広く社会に還元する。

島根大学は、市民と連携・協力して、地域社会に生起する諸課題の解決に努め、豊かな社会の発展に寄与する。

4. アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

島根大学は、地域における国際的な拠点大学として、アジアをはじめとする国際社会に広く目を向け、価値ある情報発信と学術・文化・人材の交流を推進することによって、国際社会の平和と発展に貢献する。

5. 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営

島根大学は、真理探究の精神を尊び、学問の自由と人権を尊重するとともに、環境との調和を図り、学問の府にふさわしい基盤を整える。

島根大学は、学内外の意見を十分に反映させつつ透明性の高い、機動的な運営を行う。

1

UNIVERSITY
IDENTITY

豊かな人間性と 高度な専門性を身につけた 自ら主体的に学ぶ人材の養成

島根大学では、学生主体の教育活動を一層促進することを目的に、学士課程教育を構築・実施しています。学士課程教育とは、大学卒業者に授与される学士号にふさわしい能力・資質を定め、体系的に構築された教育課程を通じてそれを獲得していくことを意味しています。質の保証された学士課程教育を通じて、現代社会の要請に応え得る豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探求心に富む有為な人材を育成します。

全学共通教育

専門分野を超えた能力・知識の育成

全学共通教育とは、専門分野の枠を超えて島根大学の学生に共通に求められる基礎的な力や幅広い知識を育成するための教育のことです。全学共通教育は、その履修を通じて島根大学の全学生が身に付けて欲しい能力・資質の目標(右の①から⑤)を定め、自らの学びをさらに深めることができる人間、現代社会を形成するにふさわしい人間を育成します。

基礎科目

- 外国語
- 健康・スポーツ／文化・芸術
- 情報科学

教養教育科目

- 入門科目
- 発展科目
- 社会人力養成科目



目標

- ① 知の探求者として育つ
- ② 市民社会の形成者として育つ
- ③ 地域社会の創造者として育つ
- ④ 国際社会の貢献者として育つ
- ⑤ 自己の開拓者として育つ

専門教育

基礎から専門へ深化する一貫教育

専門教育は学士課程ごとに定められた教育目標に応じて構築された教育のことです。全学共通教育で培った能力・資質を発展させるとともに、高い専門性を身に付けることを目指し、基礎から専門へと体系的に深化する一貫した教育を行っています。専門性を活かして現代社会の課題を発見し、理性的・創造的に解決する力を育成します。

- 学士課程ごとに編成された専門教育科目

各学士課程教育において、現代社会に対応した教育を実施します。

法学部

人を知り、人を創る

教育学部

体験が育む、プロの教育実践力

人間科学部

こころを知る、からだを知る、人をささえる

医学部

人類の福祉と地域医療に貢献する医療人の育成

総合理工学部

科学・技術が創る人間の未来

生物資源科学部

“いのち”あふれる地球を育む

■ 特色ある全学教育プログラム

島根大学は、学生が主体的な学びを通じて、幅広い知識、広い視野、総合的な判断力を身につけ、人間への理解を深めるとともに、豊かな世界観を育むことを目的とした、様々な特色ある教育プログラムを展開しています。

国際感覚・語学力を身につける

特色ある語学教育プログラム

グローバルな感性にあふれ、語学力を活かして地域や世界に貢献できる人材を育成するために、松江キャンパスでは「英語高度化プログラム」と「中国語実用化プログラム」を、出雲キャンパスでは医学部用「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」を展開しています。

- TOEIC等の外部検定試験で学習成果を可視化
- 課外活動としてのイベントや留学生との交流会が盛りだくさん
- プログラム独自の海外研修によるグローバル体験

英語高度化プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ● TOEIC700点以上とTOEIC800点以上を目指す2つのコース ● 英語スキルアップと異文化理解を深める豊富なカリキュラム
中国語実用化プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国語検定試験3級以上の実力がつくプログラム ● 北京市とその近郊で現代中国の文化体験ができる海外研修
アドバンスト・イングリッシュスキルコース	<ul style="list-style-type: none"> ● 合計120時間以上学ぶ英語コース ● ニュージーランド、オーストラリア、タイなどでの海外研修



未来社会の創造を支える技術

数理・データサイエンス入門

IoTやAIによりこれから大きく変貌していく社会において多種多様なデータから必要な情報を抽出・分析するために必要な知的道具である「数理」と「データサイエンス」。この授業では、データサイエンスの基礎と、数理的思考とその応用について学び、数理・データサイエンスのリテラシー醸成を目指します。授業は様々な分野の教員が学部をこえて展開し、対面のほか、グループワークや、オンラインによるMoodle(学習管理システム)での動画視聴で進めていきます。学部を問わず、1年生から受講可能で、文系・理系を問わず必要な力の基礎が身に付きます。この授業をスタートに更に広く深く学び、データサイエンティストの見習いレベル・独り立ちレベルを目指すことも可能です。



取扱うデータの一例

【図①】松江市内のエリア別の人口分布

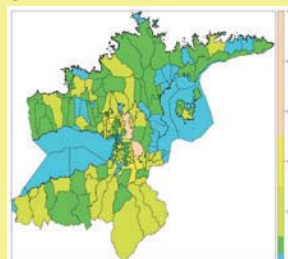
地理情報システムを使うと、様々な統計データを地図と連携して表示できる。松江市では、現在、人口が偏していることが一目でわかる。

【図②】オートバイの衝突実験データ

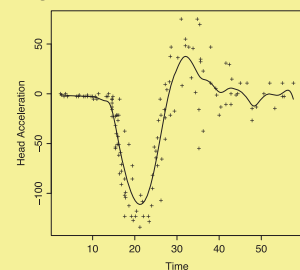
バイク衝突時における頭部の加速度の時間変化とその推定回帰曲線。加速度の急激な増減を回帰関数が捉えている。



①松江市内のエリア別の人口分布



②オートバイの衝突実験データ



2

UNIVERSITY
IDENTITY

特色ある地域課題に立脚した 国際的水準の研究推進

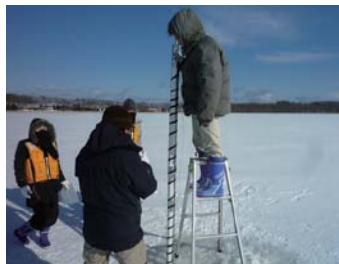
幅広い分野にわたって高度な研究成果を蓄積し、それぞれの分野においてアクティブな知能集団として研究活動を推進するとともに、多様化する社会の要請に柔軟に対応できる研究組織の拡充強化を図ります。大学の使命を果たすために、学問の自由の理念に基づき、常に自らの教育研究活動に対する点検・評価を行い、新たな知的創造に向けての努力を行います。また、大学院における教育研究活動をさらに推進し、地域に密着した個性的な研究及び国際的レベルの独創的な研究を重点的に育成するとともに、人類に共通する知的財産の継承発展や社会貢献を目指す学問領域も大切にする学風の構築を行います。

エスチュアリー研究センター

我が国唯一の汽水域の研究機関として発足した汽水域研究センターは、より広い視野から汽水環境の研究に取り組むことを明示するため、平成29年度にエスチュアリー研究センターに改組しました。河川の流域から河口域、沿岸湖沼とその周辺低地、さらに沿岸域を対象に、環境変動や生態系の研究に取り組んでいます。宍道湖・中海をはじめ、国内およびアジアにおけるエスチュアリー研究の拠点を目指しています。

環境変動解析部門

現在の平野や汽水湖の環境が成立し始めた約1万年前から現在までを対象に、堆積物に記録されている環境変化の情報を、地質学的、堆積学的、地球化学的、古生物学的手法を用いて様々なオーダーで解读し、その変化を引き起こした要因を解明する研究に取り組んでいます。



氷上からの堆積物採取風景



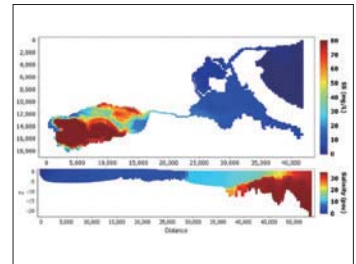
年縞堆積物(25cm長)

流動解析部門

汽水域やダム貯水池における生物および化学の動態と物理現象を合わせて解析することにより、水域を総合的に理解することを目指しています。特に、フィールドにおける各種調査と生態系シミュレーションモデルを組み合わせた水環境の解析に強みがあります。



ダム湖における水質調査風景



宍道湖・中海での数値解析例

水圏生態研究部門

沿岸生態系における高い生物多様性の維持や持続可能な漁業等に資するため、水棲生物を対象に個体～群集レベルでの基礎研究や環境保全・修復等に関する応用研究を行っています。野外調査がメインで、八重山諸島や東南アジアなどの(亜)熱帯域でも研究を展開しています。



造成した海藻藻場と稚魚の出現



マングローブ林内での野外実験

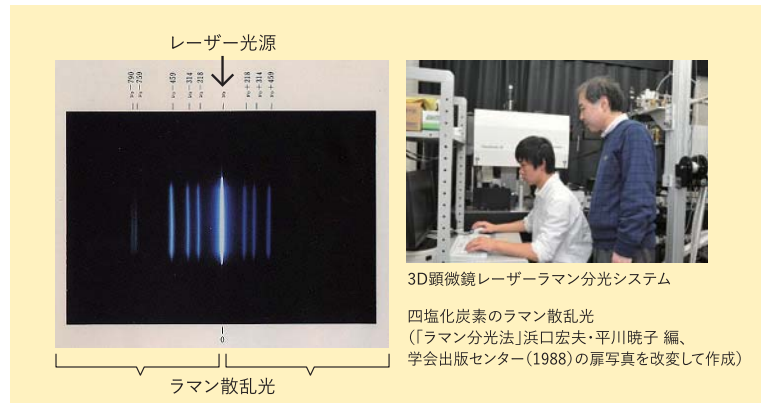
重点研究プロジェクト

本学研究・学術情報機構戦略的研究推進センターの重点研究プロジェクトは、中期計画に沿った具体的な研究テーマを学際的に推進し、本学の特色ある研究として国際的な研究拠点を目指す大型プロジェクトです。期限と目標を明確にして集中的な研究推進を行っています。

医療診断応用研究を中心に捉えた ラマン分光法の医理工農連携研究

● ラマン分光法の応用で世界最先端研究を!!

ラマン分光法は、前処理不要で分子構造、分子環境があるがままに知ることができる振動分光法の一つです。本プロジェクトは、癌診断などへの医療応用が国際的に行われつつある「ラマン分光法」を中心として、農学分野への展開も指向した学際的研究の推進を目指します。具体的には、「ラマン分光法の医療応用研究」、「ラマン分光法の理工学的研究」、「ラマン分光法の農学的研究」の3グループを柱に医理工農連携研究を進め、好酸球性食道炎の診断技術の臨床現場への応用、ラマン散乱の理解や測定法の開発、酵母の胞子形成過程をラマンイメージング法により可視化し種々の細胞内動態を“見える化”する技術の確立などを目指します。更には、大学院生や若手研究者のインドなどの国際交流協定校との相互交流や、大学院生の医理工農連携プログラム参画を推進します。



学生の施設見学



国際シンポジウムでの基調講演

共同研究講座

島根大学では、産学連携活動の一層の推進を図るため、本学と民間機関等との共通した研究課題について、民間機関等から受け入れる資金を有効に活用し、本学内に一定期間継続的に共同研究を行う拠点として共同研究講座を設置しています。

キグチテクニクス構造材料共同研究講座

● 地元企業とともに人材育成・産業発展に取り組む

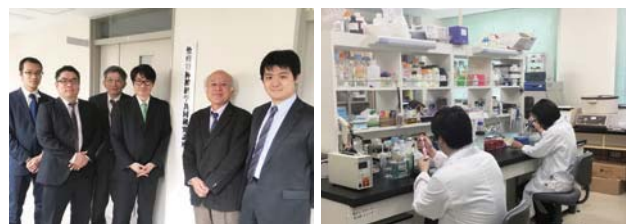
航空宇宙産業へ参入している国内有数の試験機関である「株式会社キグチテクニクス」とともに、航空機のエンジンに使用される部品用の耐熱合金や複合材料をはじめとした高温・高応力下で使用される構造材料に係る研究・開発を目指しています。研究者間の交流だけでなく、企業と学生との交流の橋渡しの役割を担うことも期待されています。



免疫精神神経学共同研究講座

● 精神疾患の新たな治療法の開発を目指して

統合失調症をはじめとした精神神経疾患の有病率は人口の約10%とされています。現在、精神症候を緩和させる対症療法は確立しつつありますが、根治療法は確立していないため、生涯にわたって患者さんを苦しめています。そこで、我々は近年注目されている免疫システムと脳神経の関性に焦点をあてた新たな治療法を開発し、実用化を目標に研究を行っています。



3

UNIVERSITY
IDENTITY

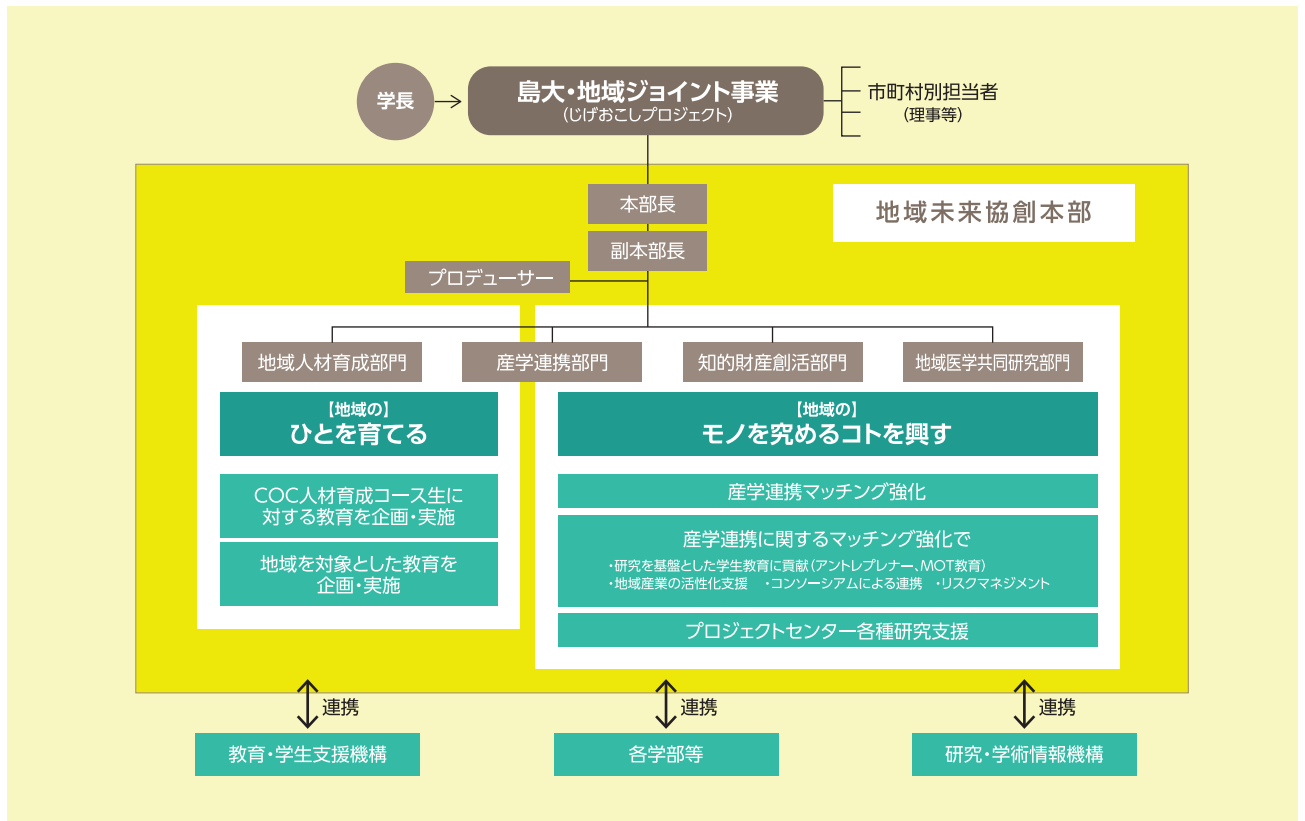
地域問題の解決に向けた 社会貢献活動の推進

山陰地域・環日本海地域という本学の置かれる地域の歴史的・地理的特性を生かして、人類に共通の財産としての学術・文化の継承発展を担い、さらに、地域固有のテーマに関する知的創造を通じて普遍的な真理を探究するとともに、本学が有する知的財産を活用して、教育・研究・文化の拠点として地域社会の発展に貢献します。このため、大学全体として地域のニーズに応える体制を構築することにより、地域に必要とされ、信頼される大学を目指します。

地域未来協創本部の新設

島根大学では、平成30年4月に産学連携センターと地域未来戦略センターを統合し、地域未来協創本部を新設しました。大学の地域との窓口を一元化し、全学的な地域連携の取組みを積極的に進めることで、地域活性の中核としての機能を充実させ、地域の創生に貢献できる大学を目指します。本部は、以下の4つの部門で構成され、各部門が学部や機構等と連携し、全学的な地域貢献の取組みを推進することで、地域産業の振興やイノベーションの創出、地域の核となる人材を育成します。

その一つの事業として、島大・地域ジョイント事業「じげおこしプロジェクト」を実施し、島根県内の各地域のニーズに応えられるよう、大学シーズを強化し、地域が直面する課題に地域コミュニティと協働して取り組むことで、地域社会の振興及び本学における教育・研究の活性化を図ります。



地域人材育成部門

地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの検討・構築を行い、地方創生の中心となる「ひと」を育てます。

産学連携部門

大学の研究と地域産業の活性化を目的に、企業と連携した共同研究や研究プロジェクトの企画・推進などを積極的に推進します。

知的財産創活部門

大学が所有する知的創造資産の活用により、教育・研究の活性化と地域の発展に貢献する活動を推進します。

地域医学共同研究部門

地域産業との連携を強化して医学・医療福祉に関する共同研究やプロジェクト研究などを企画・立案し、産学官連携による活動を推進してその研究成果を地域社会に還元します。

産学連携の具体例

看護・介護の場をやさしく照らす ハンズフリーLEDライト「ルミナス」

医学部と地域企業Doライト株式会社(出雲市)と株式会社島根富士通(同市)で共同開発したハンズフリーLEDライト『ルミナス』は、夜間病室において、看護師が患者対応で両手が塞がった状態においても、体勢制御によりハンズフリーでON・OFF操作ができ、患者に光ストレス負荷を与えないフェード機能を持ち、光質(自然光、ソフト光)や照射エリア(口腔内から全身)の変更ができます。入院患者および看護師双方に「やさしい」本ライトの活用により、看護の質向上が期待できます。



人工透析患者に夢をあたえる 低カリウムメロン「しまね夢メロン」

浅尾俊樹教授(生物資源科学部)を中心とするチームは、カリウムの摂取制限が必要な人工透析患者に夢を与えるメロンとして、カリウム含量が低い「しまね夢メロン」の研究開発や普及啓発活動を地域企業、病院、他大学の研究者等と連携し推進しています。この「しまね夢メロン」は、養液栽培で栽培され、カリウムの施肥を開花後にストップさせる等の技術によりカリウム含量を通常の50~60%に抑えていますが、糖度、形、大きさなどは通常のメロンと変わりません。



地域とともに、さらに広がる人材育成

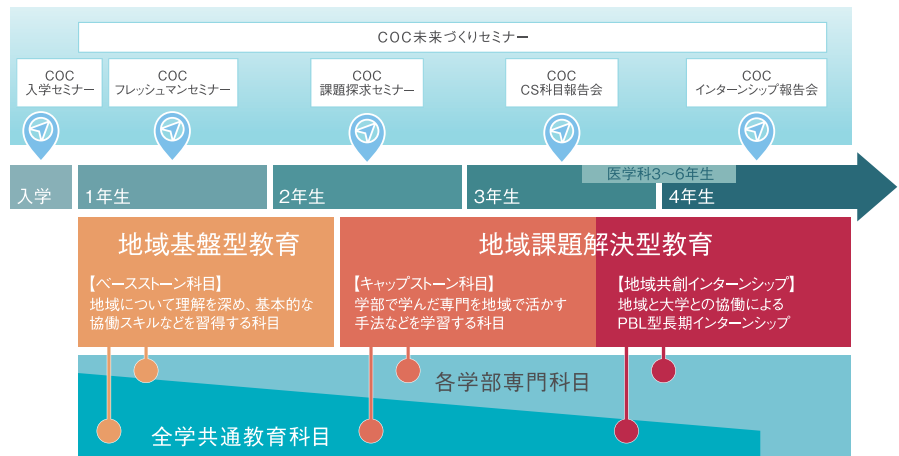
島根大学では、全学的な地域志向教育の整備と強化を行い、「地域貢献人材育成入試」を実施し、「COC人材育成コース」を設置、地域課題を解決できる人材の育成に取り組んでいます。また、文部科学省の地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)の取組み「地域未来創造人材の育成を加速するオールしまね協働事業」の実施により、地域と協働した人材育成をさらに進めていきます。



COC人材育成コース

COC人材育成コースは島根大学が掲げる地域協創型の人材育成理念に基づき、自らの専門性を活かしながら多様な人材と協働し、課題に取り組むことができる、島根県を中心とした山陰地域で活躍する人材の育成を目的としています。

地域貢献人材育成入試での入学者は、各学部にも所属すると同時にこのコースにも所属し、地域に関する基礎的な知識、専門性を生かした地域課題解決のための技能等を修得します。詳しくは右の2次元コードより、本学ホームページをご覧ください。



COC人材育成コース教育プログラム

地域貢献人材育成入試

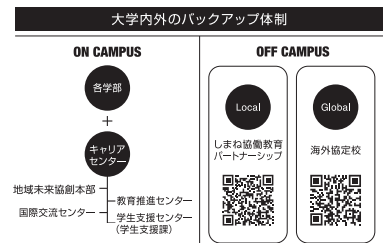
この入試は、本学卒業後、地域社会に貢献しようという強い意志をもつ方を募集するもので、本学すべての学部において実施しているものです。全学部にCOC人材育成コースを設け、入試を実施するのは、国立大学では島根大学が全国で初めてです。詳しくは下の2次元コードより、本学ホームページをご覧ください。



COC+事業による人材育成 - キャリア教育の刷新 -

全ての島根大学の学生が、所属学部で身につける「高度で実践的な専門性」を社会(地域社会・国際社会)で活かしていくために、「社会の変化に対応する能力」および「生涯にわたり学び続けるための基礎的・汎用的能力や教養」を身につけることを目的に全学の人材育成プログラムを設置しています。

島根は全国トップクラスの「課題先進県」。だからこそ、さまざまな地域で、全国に一歩先んじたチャレンジが行われています。この人材育成プログラムは、そんな地域アドバンテージを活かして展開します。「地域」の今後のあり方を多様な視点から学びデザインする授業や、地域ビジネスの開発および起業・創業に関する授業などの新設科目に加え、多様な正課外授業が準備されています。



詳しくは
<http://shimane-cdp.com/>



4

UNIVERSITY
IDENTITY

アジアをはじめとする 諸外国との交流の推進

世界的視野から平和な国際社会の発展と社会の進歩の為に貢献する人材を育成し、地域課題に立脚した特色ある国際水準の研究を展開。また、その成果を世界へ発信することにより「島根大学ブランド」を確立していきます。

学生交流

島根大学では、学生交流に関する協定を締結している海外の大学との間で、留学希望の学生を6ヶ月から1年以内の期間、相互に派遣する交換留学制度により学生の交流を推進しています。

また、交換留学制度以外にも授業の一環として、春や夏の休業の時期にアメリカ、カナダ、韓国、中国語圏、タイ等での海外研修を実施しています。この研修は、ホームステイ、語学・文化講座の受講、現地学生との交流等充実した内容になっています。この研修に参加し、自身の成長を体感した学生が、改めて交換留学に申込みケースもあります。

アメリカ アーカンソー大学との連携による春期研修

アーカンソー大学で毎年春に本学の学生が約4週間の海外研修を行っています。この研修はアーカンソー大学英語学習センターでの授業、ホームステイ体験、カンパセーションパートナーとの交流、企業見学、地域でのボランティア、高校訪問等、様々な体験を通して実践的な生きた英語を学びます。



平成28年度研修の様子(2017年2月)

グローバル課題解決型短期海外研修 (タイ・チェンマイ大学等)

国際的な観光都市であるチェンマイで、エコツーリズム、歴史ツーリズムなどの現状を学び、島根の観光についての企画を作成・提案する2週間のプログラムです。研修の中には英語でのプレゼンテーション講義、チェンマイ大学学生との交流もあり、内容の濃い研修が組まれています。



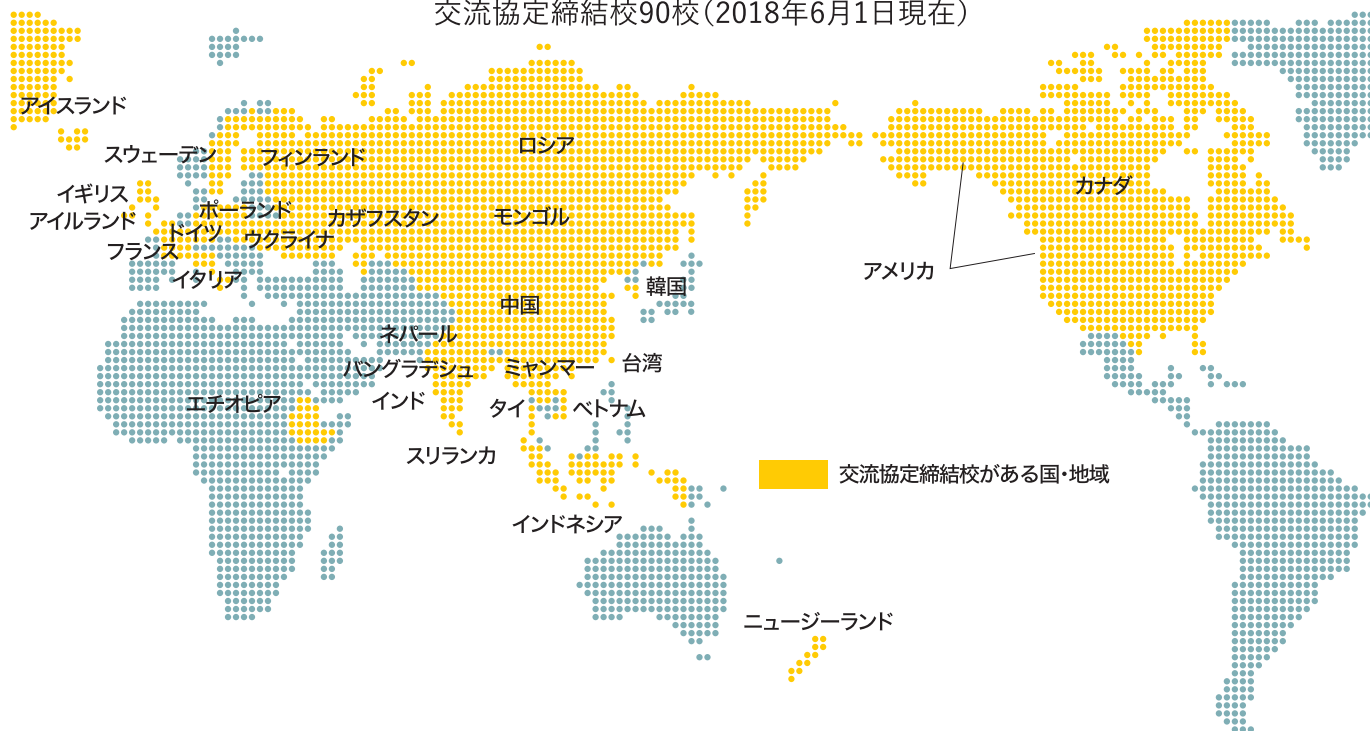
平成29年度研修の様子(2017年8月)

交流協定締結校(部局間交流協定を含む)

2018.6.1現在

大学等名	国・地域	協定締結日	大学等名	国・地域	協定締結日
セントラル・ワシントン大学	アメリカ	1982.3.26	チェンマイ大学	タイ	2017.2.28
ケント州立大学	〃	1982.8.31	ラジャマンガラー工科大学 スリビジャヤ校	〃	2017.6.23
カリフォルニア大学デイビス校	〃	1986.2.11	ナレスワン大学	〃	2017.10.17
アーカンソー大学	〃	1993.3.1	プリンスオブソクラ大学医学部	〃	2017.11.14
コロラド・デンバー大学医学部	〃	2006.2.23	インド科学大学	インド	2013.11.5
テキサス大学ダラス校	〃	2007.8.10	バナラスヒンドゥー大学	〃	2015.5.1
アリゾナ大学	〃	2010.5.26	コーチ理工科大学	〃	2016.5.24
テキサス大学タイラー校	〃	2012.10.17	ラジャギリ病院	〃	2017.4.10
フロリダ大学	〃	2014.8.4	ラジャギリ工業技術大学	〃	2017.11.24
ワシントン大学医学部	〃	2015.9.25	台湾国立交通大学総合科学センター	台湾	2014.1.23
東北林業大学	中国	1989.12.28	国立台湾師範大学生命科学系	〃	2014.11.13
南京林業大学	〃	1993.4.15	開南大学	〃	2015.2.12
中国農業大学	〃	1996.12.29	国立台湾大学 分子イメージングセンター	〃	2015.2.12
寧夏大学	〃	1997.8.18	東海大学	〃	2017.7.7
北京林業大学	〃	1997.8.23	ダッカ大学	バングラデシュ	2011.4.12
吉林大学	〃	1999.2.1	バングラデシュ農業大学農学部	〃	2017.1.19
河北師範大学	〃	2002.7.29	バングラデシュ国立農業研究所 園芸研究センター	〃	2017.1.19
大連大学	〃	2003.6.30	ジャン・ムーラン・リヨン第3大学	フランス	1990.11.24
寧夏医科大学	〃	2004.2.27	オルレアン大学	〃	2002.7.12
北京師範大学	〃	2004.3.18	アンダラス大学	インドネシア	1997.5.6
中国人民大学経済学院	〃	2005.4.14	ハサヌディン大学	〃	2013.12.17
山東大学	〃	2005.7.20	モンゴル科学技術大学	モンゴル	1999.3.24
浙江大学教育学院	〃	2006.3.31	モンゴル健康科学大学	〃	2002.10.4
東北師範大学	〃	2012.11.22	リンショーピン大学	スウェーデン	2005.4.21
大連理工科大学数学科学学院	〃	2014.2.10	ルンド大学プライマリーヘルスケア研究センター	〃	2014.4.28
北京農学院	〃	2014.5.14	ハノイ医科大学	ベトナム	2005.10.17
閩南師範大学	〃	2014.9.12	フエ農林大学	〃	2017.3.16
北京大學歴史学部	〃	2015.3.23	ペラデニア大学	スリランカ	2014.3.25
西北農林科技大学	〃	2015.5.22	スリランカカラジャラータ大学 応用科学部	〃	2015.5.14
北京科技大学	〃	2016.3.18	トリバン大学	ネパール	1991.12.8
北京大學健康科学センター	〃	2016.6.30	トリア大学	ドイツ	2008.11.20
釜山教育大学校	韓国	1990.3.23	セメイ国立医科大学	カザフスタン	2013.1.28
慶尚大学校	〃	1991.3.5	カラガンダ医科大学	〃	2018.1.25
慶北大学校	〃	1991.3.6	アワサ大学	エチオピア	2013.9.7
釜山大学校自然科学大学	〃	2013.12.2	ワイカト工科大学	ニュージーランド	2014.2.5
全北大学校	〃	2013.12.5	JAMK応用科学大学	フィンランド	2014.2.13
釜山大学校工科大学	〃	2014.11.4	エクセター大学	イギリス	2014.4.4
釜慶大学校	〃	2017.3.7	アイスランド大学	アイスランド	2015.9.18
韓国地質資源研究院・地質環境災害研究センター	〃	2017.3.16	A.Tsyb医学放射線研究センター	ロシア	2016.5.17
マヒドン大学シリラジ病院	タイ	2011.2.2	ニピッシン大学	カナダ	2016.5.31
コンケン大学	〃	2014.4.10	パティン大学	ミャンマー	2016.12.4
タマサート大学	〃	2014.9.2	ウォーターフォード工科大学	アイルランド	2017.7.7
キングモンクツ工科大学トンプリ校	〃	2014.9.2	フィレンツェ大学	イタリア	2017.8.22
プリンセス・チュラボン・カレッジ、バトゥムタニ	〃	2014.9.2	ヤゲウ大学大学実験治療学センター	ポーランド	2017.10.11
はなまる日本語学校	〃	2014.9.2	ウクライナ国立アカデミー小児産婦人科研究所	ウクライナ	2017.12.11

交流協定締結校90校(2018年6月1日現在)



国際交流センター

国際交流センターは、世界的視野から平和な国際社会の発展と社会の進歩の為に貢献する人材を育成することを目的としています。これを実現するため、国際感覚を身に付けるための講義、セミナーや海外研修を実施するとともに、海外の協定校等と連携しながら次のような重点施策を推進します。

1. 島根大学の重点教育研究分野において海外の大学等との戦略的ネットワークの構築
2. 島根大学から派遣する学生数や研究者数の増加
3. 海外からの留学生や研究者の受け入れ体制の強化

島根大学の学生や留学生の皆さんが、気軽に相談できるセンターです。



外国語教育センター

外国語教育センターは、全学共通教育における英語、初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国朝鮮語)、並びに日本語教育の授業を提供し、語学力を十分備え、国際舞台で活躍できる人材の育成を目指しています。また、平成25年度より、特別副専攻「英語高度化プログラム」を立ち上げ、平成27年度からは、特別副専攻「中国語実用化プログラム」を開設し、意欲ある人が学年進行に沿ってさらに語学力を伸ばせる特別教育プログラムを展開しています。日本語教育では、習熟度別のクラスを設けているほか、日本語・日本文化研修留学生用のプログラムを用意しています。

このほか、海外留学希望者へのサポートを積極的に行うとともに、教室で学んだ知識や技能が定着するよう、留学生との交流会やスピーチ大会・講演会など、様々なイベントを企画し、実施しています。



島根大学・寧夏大学国際共同研究所

島根大学と中国寧夏大学は、1987年に本学教員が外国人として初めて寧夏回族自治区南部山区に入り学術調査を行ったことをきっかけとして交流を深め、両大学間の研究交流の更なる発展と人材育成事業への協力を目的とし、2004年に島根大学・寧夏大学国際共同研究所を設置しました。当研究所は、都市・農村格差の是正問題、環境保全的農牧業技術、環境教育問題等、日中の共通課題の解決を目的とした共同研究の実施を事業の主軸とする他、双方の希望に基づいた研究者のマッチングや情報提供を行う学際的な研究プラットフォームとしての役割を担っており、2006年以来毎年交互に国際学術セミナーを開催し、論文集の発行等により、その成果を内外に発信しています。現在では、中国西部地域の他大学にも交流の範囲を広げ、中国西部地域研究の学術ネットワークを形成し、その拠点となっています。また、2016年度には、共同研究の成果を2冊目の図書として出版しました。



島根大学は、今後も当研究所を中国西部地域研究の学術ネットワークの拠点として活用し、国際的な学術交流と人材育成を積極的に展開していきます。

5

UNIVERSITY
IDENTITY

学問の自由と人権の尊重、 社会の信頼に応える大学運営

教育研究環境の向上・充実に図るために、教員組織と事務組織その他全ての職員組織を有機的に機能させ、大学においては学生へのサービス体制と教育研究、附属病院においては教育研究及び医療を重視した管理運営を目指します。このため、本学独自の多面的な自己点検・評価及び外部評価を活用し、学長のリーダーシップと補佐体制の充実による企画・立案機能の向上と迅速かつ合理的に目標や計画の実行が可能となる管理運営組織を構築するとともに、その責任体制を明確にします。また、教職員・学生の声が反映され、透明性のある管理運営を行うとともに、教職員にとって働きがいのある職場環境の充実に努めます。

教職員・学生みんなの「声」が創る島根大学

島根大学では、学生の現状を把握し、彼や彼女らの声を聞き上げ、教育改善を図るべく、入学時アンケート、初年次教育ポストアンケート、授業評価アンケート、卒業生・修了生アンケートを教育推進センター中心に実施しています。各アンケートの結果は、教員にフィードバックされ、授業を改善する際の基盤として位置づけられます。

FD・SD(大学教職員の能力向上・資質開発)は、従来の大学教育の中で質の高い活動を行っていくと同時に、大学の概念にとらわれずに地域の様々な方との関わりの中で意見交換を行っています。学びの主体となる学生の意見も重視し、授業評価アンケートでは、個々の教員が学生の声を教育改善に反映しやすいシステムを整えました。



学修を支えるサポート体制

本学では学生の一人ひとりが、その能力を十分に発揮し、高めていくための環境づくりをめざし、学生の多様な能力や適性に合った学修サポート体制の構築に取り組んでいます。

先輩学生による各種サポート

先輩学生が後輩学生の大学での学習・生活サポートを行うメンター制度、新入生の履修サポート、図書館での学生コンシェルジュなどのピアサポートプログラムがあります。



補完教育

多様な学習履歴、学習経験を持つ学生の多様な課題に対応するため、大学で学修する上で必要となる基礎的な知識を修得することを目的とした補完教育(英語、数学、化学、物理)を実施しています。



障がい学生支援室

入学前の受験相談から、入学決定後の修学上や学生生活上の様々な悩み事相談、その他障がいに関因する様々な相談に応じ、本学での配慮等の内容を決定・サポートを行っています。



ワークライフバランスの実現

島根大学では、構成員の職場環境を整備し、組織を最大限に機能させることにより、教育研究環境の向上・充実に努めています。

啓蒙活動及び情報発信事業の推進

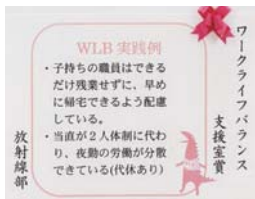
● 男女共同参画推進室

男女共同参画推進室では、ワークライフバランスに関する情報・意見交換の場「さぼっとカフェ」の開催、育児や介護などで研究時間の確保が困難な教員のための「研究サポーター制度」、入試の際の託児サービスなど各種事業を実施しています。



● ワークライフバランス支援室

附属病院では、働きやすく学びやすい医学部・附属病院を目指し、「ワークライフバランス支援室」を設置しています。「ワークライフバランス」の院内周知のため、「ワークライフバランス週間」に合わせ、ワークライフバランス川柳等の募集を行うなどワークライフバランスの啓蒙に努めています。



出雲キャンパスにおける各種支援事業

● 保育事業による両立支援

出雲キャンパスでは、子育て支援・女性のための職場作りの一環として平成18年に院内保育所「うさぎ保育所」を定員20名で開設し、現在は定員90名で運営しています。



また、終夜保育(毎週火・水・木)、イブニングシッターサービス、病児・病後児保育(平日のみ)、学童一時保育(平日夕方及び土日祝日)の実施等、教職員及び学生の保育支援を行っています。

更に全学の支援により出雲キャンパスに医学部学童保育施設を開設することとなり、ニーズ調査を含め準備を進めているところです。

● ライフスタイルに応じたキャリア継続支援

本学職員の要望から産学共同で開発した、「コートタイプのマタニティ白衣」を教職員・学生へのレンタル事業を行う等多様なライフスタイルに適合したキャリア継続支援を行っています。



● 医学部・附属病院職員満足度アンケートの実施

メンタルヘルスにも配慮した対応を心掛けるため、職員満足度アンケート調査を年2回実施しています。その結果等を考慮し、ソフトとハードの両面から職場環境を改善し、キャリアプランを実現できるようバックアップしています。また、仕事と家庭の両立支援相談や、職場環境改善のための意見・要望も受け付けています。

子育て支援や働きやすい環境整備による各種認定の取得

● しまね子育て応援企業 (こっころカンパニー)

仕事と家庭の両立がしやすい職場環境づくりを推進している企業として、島根県より認定されました(平成27年4月島根県知事認定)。



● 子育てサポート企業

国が認定する子育て支援に取り組む企業・団体として認定され、認定マーク「くるみん」を取得しました(平成27年10月 島根労働局長認定更新)。



● プレミアム こっころカンパニー

こっころカンパニーの中から特に優れた取組みを実施している企業として表彰されました(平成28年10月、平成30年1月 島根県知事表彰)。



● 働きやすい病院評価

医学部附属病院では、女性医師・全ての医療従事者が安心して働くことができる病院として、国立大学病院で初めて認証を受けました(平成19年3月認証、平成29年3月認証更新)。



法文学部 人文社会科学研究科

Faculty of Law and Literature
Graduate School of Humanities and Social Science

人を知り、人を創る

私たちは、他社との関わりの中で自己という存在を強く意識しヒトから人と成長していきます。人を知り、人を創る技を磨くことが、地域を、社会を、国家を、世界を知ることにつながっていくのです。全国屈指の少人数教育に情報技術や国際交流を取り入れた法文学部をステップとして、地域へ、世界へ、人間探求へと飛躍してください。



法文学部ホームページ

<http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/>

人文社会科学研究科

法経専攻

言語・社会文化専攻

法文学部

法経学科

社会文化学科

言語文化学科

法経学科

法経学科では、経済学と法学の両面から社会について学び、公務員、民間企業の法務・金融担当者や司法書士、行政書士等の法律経済関係の専門、一般職に就く人を育成するだけでなく、法科大学院やビジネススクール、研究者養成大学院等に進学する人を育成します。

法経学科には3つのコース(法学コース、経済学コース、司法特別コース)があり、3年次以降にどのコースに進むかを自由を選ぶことができます。1・2年次はコースに関わらず、法学と経済学の基礎を万遍なく学び、3年次以降、**法学コース**の学生は法学を、**経済学コース**の学生は経済学を中心に学びます。また**司法特別コース**は、法科大学院(ロースクール)への進学や法律専門職を目指す学生のために設けられています。



社会文化学科

社会文化学科は現代社会・歴史と考古の2つのコースに分かれています。所属コースは、1年生の後期に決定されます。

現代社会コース: 人間と環境、地域と人間の相互関係、地域社会の構造や機能、文化の特徴等を体系的に理解する視点を養います。座学中心の講義や演習に加えて、実験や観察、社会調査やフィールドワーク等の実習教育を重視し、データ収集と分析技法を身につけた人を育てます。

歴史と考古コース: 歴史学では日本史・東洋史・西洋史・現代史について、考古学では日本列島を含めた東アジアを対象に、それぞれ専門的に教授し、理論と実地調査への認識を培っています。学生研究室は、学生自身が自主的に運営しており、分野・時代ごとの自主ゼミが開設されるほか、研修旅行も毎年企画しています。



言語文化学科

言語文化学科では、東洋・西洋の言語文化について古代から現代まで幅広く学ぶことができます。学生の皆さんは2年生以降、所属する研究室を自由に選び、自分が興味を持つ事柄を深く学びながら、言語文化を理解する方法を習得し、論理的に思考を表現する力を身につけ、語学力を高めています。

日本語文化研究室: 歴史、文法、音韻、方言など、日本語について様々な面から学ぶとともに、物語、和歌、小説など、古代から現代にいたる文学作品を詳しく学びます。

中国言語文化研究室: 神話や甲骨文字の時代から現代に至るまで、テキストを原文で読み、直接中国の言葉や文学、そして背景にある文化や思想を学びます。

英米言語文化研究室: イギリスやアメリカの文学作品の鑑賞はもちろん、日米文化の比較や英語の分析も行い、さらには英語でのコミュニケーション能力の向上も目指します。

ドイツ言語文化研究室: 中世から現代における、スイス・ドイツ・オーストリアにわたる豊かなドイツ文化について学び、ドイツ語の運用能力も身につけます。

フランス言語文化研究室: フランスの文芸作品やフランス語の特性など、フランスの言語文化を、異なる言語文化圏と比較しながら学びます。さらに、フランス語の運用能力も身につけます。

哲学・芸術・文化交流研究室: 哲学・芸術・文学・映画・音楽などの文化活動や、人間がさまざまな場面で織りなすコミュニケーションを研究し、文化を理解するための視点と技術を身につけます。



大学院

人文社会科学研究科

- 法経専攻(法政コース・地域経済コース)
- 言語・社会文化専攻(言語文化コース・社会文化コース)

入学した大学院生は、各自の研究課題や修了後に目指す進路に応じた4コース(法政コース、地域経済コース、言語文化コース、社会文化コース)のいずれかに属し研究のスキルを磨き、各分野の高度な専門的知識と技法を習得します。さらに、学際的・国際的な研究を通じて、総合的実践的能力を育むことも目指します。

■ 人文社会科学研究科HP <http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/jinbun/>

教育学部 教育学研究科

Faculty of Education
Graduate School of Education

体験が育む、プロの教育実践力

山陰地域唯一の教員養成専門学部です。21世紀の教育改革をリードし、地域の教育課題の解明と解決に積極的に取り組むとともに、1000時間体験学修等の独自の教師教育プログラムにより、教職への限らない情熱と様々な教育的課題に対応できる優れた教育実践力を備えた教員の養成を目指します。



教育学部ホームページ
<http://www.edu.shimane-u.ac.jp/>

教育学研究科

教育実践開発専攻(教職大学院)

臨床心理専攻

教育学部

学校教育課程

- 初等教育開発専攻
- 言語教育専攻
- 数理基礎教育専攻
- 健康・スポーツ教育専攻
- 美術教育専攻
- 特別支援教育専攻
- 共生社会教育専攻
- 自然環境教育専攻
- 音楽教育専攻

初等教育開発専攻

現代社会における教育の使命を考えたが、理論に基づいた確かな知識を土台に教育実践に取り組む資質と能力を備えた小学校の教員を養成します。理論と実践との往還を通して、よりよい授業や学級経営、学校経営を志向し続ける高度な専門性を獲得できます。

特別支援教育専攻

学習や生活上の困難を抱えた心身に障がいのある幼児・児童・生徒等を対象とする指導の基礎となる知識や教育実践力を身につけた教員の養成を目指します。

言語教育専攻

〈国語教育コース〉

日本語学、古典文学、近代文学、漢文学、書写・書道、国語科教育学の6分野で専門の授業を行い、教員・社会人に相応しい実践的な国語力やコミュニケーション能力を修得していきます。

〈英語教育コース〉

英語教育の理論と実践を学ぶのはもちろん、英米文学の原典を読んでその真髄に触れたり、また会話や作文を通しての英語運用能力向上にも力を入れています。

共生社会教育専攻

教職に関する基礎的学力はもちろん、歴史学、地理学・地誌学、哲学・倫理学、社会学、社会科教育学等の専門分野に立脚した教科内容の研究能力を育成し、社会科系諸教科の素養を養います。

数理基礎教育専攻

計算や数式・図形を理解・操作する能力及び論理的思考力を身につけ、数学について深く理解し、問題や課題を見つけて教材化する力を持ち、的確な指導と説明のできる教員の養成を目指します。

自然環境教育専攻

理科教員に必要な自然科学に関する基礎的知識・技能や探究方法を身につけるとともに、子どもの知的好奇心を刺激し、自然を探究する楽しさを伝えることができる指導法や教材開発について学びます。

健康・スポーツ教育専攻

保健体育の理論や実践力を身につけるとともに、地域の子どもの対象にした様々なスポーツ活動支援を通して、子どもの理解を深め、発達段階に応じた適切な指導が行える専門的能力を育成します。

音楽教育専攻

声楽、ピアノ、管弦打楽器、作曲、音楽教育学の各分野のうち、専科として1つの分野の専門性を深めるとともに、副科として幅広い分野を学ぶことができます。また、授業を通して学外での音楽教育活動を積極的にを行い、実践力を備えた音楽教員の養成を目指します。

美術教育専攻

基礎的な造形能力や美術教育理論を習得する授業と、それらの専門性を深める授業、さらには豊富な臨床的教育体験等でカリキュラムを構成し、造形と美術教育の理論及び実践的能力を身につけた教員の養成を目指します。

大学院

教育学研究科

●教育実践開発専攻(教職大学院) ●臨床心理専攻

教育実践開発専攻(教職大学院)

「目指す教師像」に必要な資質・能力(学校創造力、授業デザイン力、子ども支援力)をより高いレベルで身につけたスクールリーダーの養成を目標としています。ここで養成するスクールリーダーとは、日々行われている自己及び他者の教育実践の良さや問題を理論的に分析・説明する(教育活動の言語化)とともに、それによって見出される地域や学校の課題をさまざまな立場の人と共有・協働しながら解決していく一連の過程において指導的な役割を果たせる教師です。

臨床心理専攻

「目指す臨床心理の専門家像」に必要な資質・能力(臨床心理査定能力・臨床心理面接能力・臨床心理地域援助能力)をより高いレベルで身につけた臨床心理の専門家の育成を目標としています。この臨床心理専攻では、学校教育のあり方や児童生徒の問題の地域特性にも配慮し、教師および地域の関係機関の専門家と協働して、不登校児や少子高齢化の時代における社会性・集団適応に問題を抱える児童生徒の支援が可能な臨床心理の専門家を養成します。

人間科学部

Faculty of Human Sciences

こころを知る
からだを知る
人をささえる

人間の特性を深く理解し、人々がその人らしく生きることが
できる社会を実現していく人材を育成



人間を心理的・ 身体的・社会的側面から 多角的にとらえる力が身につく

心理学、福祉社会、身体活動・健康科学が
コースとして独立しつつ、互いに融合してカリ
キュラムを構成しています。また、他学部と
連携して、関連科目も学べます。

地域実践と科学的 思考を往還させる 力が身につく

地域実践に関する科目が充実しています。さ
らに、仮説検証的に考える力を育成する科
目、理論化・体系化を促す科目が有機的に
関連しています。

他領域の人々と 連携する力が身につく

人間のかかえる問題に対して、他者と連
携して取り組む力が身につくように、学部
全体で行うインタラクティブ・プレゼン
テーション・ミーティングを設けています。

人間科学科(1学科3コース)



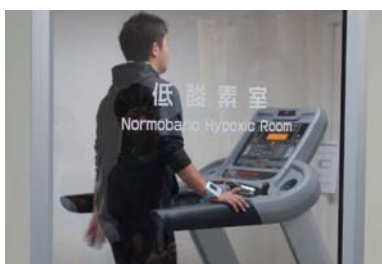
心理学コース

心理学コースは、実験や調査によって心や行動を探求する「実験心理学的アプローチ」と、目の前の人を個別的に深く理解して関わり方を探る「臨床心理学的アプローチ」の両面から心理学を学ぶことができます。学んだ知識を活かして、地域の人々と関わり、人の心を体験的に学ぶ地域実践の授業も豊富です。これらの学びを通して、人間の心や行動の法則を理解し、地域に生きる人々を援助することができる「地域実践力」を育成します。



福祉社会コース

福祉社会コースは、近畿・中四国の国立大学で唯一、社会福祉士と精神保健福祉士双方の国家試験受験資格が取得できるコースです。両福祉士の業務に必要な知識と技能を身に付け、「人をささえる」という視点から、狭義の福祉に限らず、広く現代日本社会が抱える問題について考え、実践する力を養います。資格取得に必要なカリキュラムが完備されていることに加え、地域の課題に取り組み、広い視野と深い教養を身に付けるための授業科目が揃っています。私たちが目指すのは、多角的な視点と深い思考に裏打ちされた実践的力量を備える福祉の専門家の育成です。



身体活動・健康科学コース

身体活動・健康科学コースでは、身体活動を通じて、人々の健康を科学的に学びます。運動生理学やバイオメカニクスなどの運動に関わる教員、環境保健学や産業衛生学を専門とする医師、健康衣料や栄養食品の専門家といった幅広い専門領域の教員が在籍しています。また、低酸素・高酸素室を備えたヘルスサイエンス実験室などの演習室や実験室を有しています。身体活動・健康科学に関する高度な知識を学ぶだけでなく、地域での実習を通して健康長寿社会を担える力を持った人物の育成を目指します。

医学部 医学系研究科

Faculty of Medicine
Graduate School of Medical Research

次世代を担う医療人の育成と 先進医療の地域への還元

医学部では、生命の尊厳と患者の権利・人格の尊重を教育の理念とし、国際的視野に立った豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探究心を持ち、医療、医学、看護学及び地域社会の発展と人類の福祉に貢献する人材の育成を目的としています。

「地域医療人の養成」を特色とし、国際的なセンスと地域医療をリードする研究マインドを持った高度な医療人の養成や、高大連携から生涯教育までを通じた地域医療人養成のための取組を積極的に推進しています。



医学部ホームページ
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/>

医学系研究科

医科学専攻(博士課程)

研究者育成コース
高度臨床医育成コース
がん専門医療人育成コース
地域医療・地域包括ケア
指導者育成コース
(医理工農連携教育プログラム)

医学系研究科

看護学専攻 (博士後期課程)

医学部

医学科(6年)

医学系研究科

(医科学専攻) (修士課程)

総合医科学コース がん専門薬剤師養成コース
地域医療支援コーディネータ養成コース
医療シミュレータ教育指導者養成コース
地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点)
(医理工農連携教育プログラム)

医学系研究科

(看護学専攻) (博士前期課程)

看護援助学コース 成人(急性・慢性)看護学コース
看護管理学コース 高齢者看護学コース
地域・在宅看護学コース 老人看護CNSコース
母子看護学コース

医学部

看護学科 (4年)

看護師
保健師
助産師(選択)
養護教諭1種
(選択)

医学科

一般入試、推薦入試の他、地域枠推薦入試、緊急医師確保対策枠入試、県内定着枠入試、学士編入を行い、多彩な人材を募集しています。入学後は、豊富な教養科目により豊かな創造力・幅広く柔軟な思考能力・高いコミュニケーション能力を培うとともに、医療の現場体験ができる早期医学体験実習、実習が充実した基礎医学科目、チュートリアル教育を取り入れた臨床医学科目を通して、高度な専門医学知識・医療技術を学びます。臨床実習は、医学部附属病院の他、大田総合医育成センターや県内の45医療施設を選択して行い、充実した医療シミュレータを使用して実践的な臨床能力を培います。

また、国際的な場で活躍できるべく徹底した医学英語の習得、先進医療の体験や学習、海外医療施設での実習の機会も用意しています。



看護学科

医療の高度化が急速に進展する一方、超高齢社会の到来によって、人々の健康ニーズは益々増大し、多様化してきています。看護学科ではこうした社会の要請に応え、一人ひとりの健康ニーズを的確に把握し、適切に援助していくことのできる専門性の高い有能な看護職の養成を目指しています。課題を論理的に分析し解決していく問題解決能力や、科学的根拠に基づいて援助を実践する能力、ケアの対象者や他職種と信頼関係を構築する対人関係能力など、総合的な看護実践能力の基礎を身につけられる教育を行っています。具体的には、少人数による課題解決型の演習や、島根大学医学部附属病院、老人保健施設や訪問看護ステーション、保健所や事業所等での看護実践を通して学ぶ臨地実習、ゼミ形式の卒業研究など、多様な方法と場を活用した教育に力を注いでいます。



大学院

医学系研究科

《博士課程》●医科学専攻

[研究者育成コース 高度臨床医育成コース
がん専門医療人育成コース 地域医療・地域包括ケア指導者育成コース]

《修士課程》●医科学専攻

[総合医科学コース がん専門薬剤師養成コース 地域医療支援コーディネータ養成コース
医療シミュレータ教育指導者養成コース 地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点)]

《博士後期課程》●看護学専攻

《博士前期課程》●看護学専攻

[看護援助学コース 看護管理学コース 地域・在宅看護学コース 母子看護学コース
成人(急性・慢性)看護学コース 高齢者看護学コース 老人看護CNSコース]

医学及び看護学の発展と人類の福祉の向上に寄与するため、医学及び看護学に関する学術の理論とその幅広い応用を教授研究します。医学分野では、研究者として自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えた研究者を養成し、同様に優れた研究能力と応用力を有する臨床医・腫瘍専門医、高度職業人、地域包括ケア指導者を育成します。また学際的教育を実現するため松江キャンパスと連携した医理工農連携教育プログラムを設けています。看護学分野では、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力や高度の専門性を要する職業等に必要の能力と、豊かな人間性を備えた研究者、高度専門職業人を養成します。そして新たに超高齢看護の研究者を育成する博士後期課程をスタートしました。

■医学系研究科HP <http://www.med.shimane-u.ac.jp/graduate/index.html>

医学部附属病院

University Hospital

理念『地域医療と先進医療が 調和する大学病院』

目標

- 患者さん中心の全人的医療の実践
- 人間性豊かな思いやりのある医療人の育成
- 地域医療人との連携を重視した医療の提供
- 地域社会に還元できる研究の推進



島根大学医学部附属病院ホームページ
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/index.html>

県内唯一の大学病院として医療人養成、高度医療提供、臨床研究を推進しています。特に、がん医療では、都道府県がん診療拠点病院として高度で先進的ながん医療を実施しています。病院機能評価は元より、卒後臨床研修評価、プライマシーマーク、ISO14001、ISO9001等の認証、ISO15189の認定取得など第三者評価により質の確保に努めています。

2017年8月には、CT、血管造影、手術を同時に実施できるハイブリッド手術室を備えた高度外傷センター棟が稼働し、島根県の急性期医療の最後の砦として救命率の向上に寄与しています。本センターでは幅広い救急医療を実施するほか、災害時にも即時対応できる災害医療体制を構築しています。

本院は、高度先進医療と安全・安心な生活環境の提供に努め、今後も地域に貢献してまいります。

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチXi」

2012年11月に内視鏡手術支援ロボットダ・ヴィンチ「S」が導入され、高画質立体視野、精緻な鉗子操作の特徴を活かした手術を行ってきました。2017年11月、後継の「Xi」に更新し、高画質3D画像のさらなる向上、スリム化による相互干渉の低減、ペイシェントカートの利便性向上などで、より質が高く安全な外科的治療の提供が可能となり、2017年度末までの手術件数は、前立腺がん303件、腎がん30件、膀胱がん15件、子宮がん26件、総計379件となりました。



「働きやすい病院評価」
「ISO15189(本院検査部)」
「病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)【一般病院3】」

女性医師・すべての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証(2007年3月取得)を2022年3月まで更新しました。

また、2017年12月、国際規格に基づいた臨床検査の技術能力を有していることを証明する「ISO15189」の認定を取得しました。2018年7月現在、病院の現状を様々な角度から確認し、特定機能病院として基準を満たした病院として認証される「病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)【一般病院3】」の受審(2018年11月予定)に向け準備を進めています。



クリニカルスキルアップセンター

本センターは、体系的カリキュラムのもとに医療技能訓練を行うことで、優れた技術を備えた医療人を育成するために2009年度に開設されました。模擬ICUにシムマンなど高度な機能を持つシミュレータ機器を多数揃え専任講師による研修を常時行っています。また、隣接する内視鏡手術トレーニングセンターには、ダ・ヴィンチ、内視鏡手術のシミュレータを設置しており、学生から若手医師まで、内視鏡手術のトレーニングが可能となっています。



だんだんハウス(入院児童等家族宿泊施設)

2013年に山陰地方で唯一となる小児心臓外科の手術を開始して以降、鳥取県など県外を含む遠方からの小児患者の受け入れ数が増加していましたが、一方で入院の長期化による家族の負担軽減も急務となっていました。そこで、国、島根県からの交付金の助成を受け、2017年4月、小児患者さんの長期入院に付き添う家族の宿泊施設として、「だんだんハウス」を設置しました。



ちょっと気になる健康講座

病院1階待合ホールで毎週1回(原則木曜日)、各診療科の医師等がそれぞれの分野での、日常生活における「ちょっと気になる」健康や医療に関する内容をお話しています。この度、健康講座の内容を冊子にまとめて地元の出版社から発刊し、患者さんをはじめ県民の皆さまに健康維持のポイントなどを紹介しています。



高度外傷センター

2016年4月より高度外傷センターが稼働しています。本センターでは、専門医の配置、ドクターカーの現場派遣などの受け入れ体制を充実させ、交通外傷をはじめとする重傷外傷患者さんの初期診療とその後の根治的治療を実施しています。2017年8月から稼働を開始した高度外傷センター棟のハイブリッド手術室では、緊急検査と治療を同室で行うことが可能となり、救命率のさらなる向上に努めています。



先進医療への取り組みについて

2018年7月現在、下記の先進医療に取り組んでいます。

- ・培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断
- ・コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法
- ・難治性高コレステロール血症に併発して重尿度蛋白を主とする糖尿病性腎症に対するLDLアフェリシス療法
- ・内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術
- ・ウイルスに起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断(PCR法)
- ・細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染症疾患に対する迅速診断(PCR法)
- ・多項目迅速ウイルスPCR法によるウイルス感染症の早期診断
- ・神経変性疾患の遺伝子診断
- ・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術

総合理工学部 総合理工学研究科

Interdisciplinary Faculty of Science and Engineering
Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering

科学・技術が創る人間の未来

最新の手法を駆使して自然科学を解明しようとする理学系分野と、未来の最先端科学技術を担う工学系分野が、既存の学問分野の枠を越えて1つの学部
に総合、融合、一体化した全国的にもユニークな学部のひとつです。素粒子サイ
ズから地球サイズまで、様々な対象を科学的に捉え、基礎理論から先端技術
への応用まで幅広く扱う学際的教育・研究システムを特色としています。



総合理工学部ホームページ
<https://www.riko.shimane-u.ac.jp/>

総合理工学研究科 (博士後期課程)

総合理工学専攻

- 理工学際創成コース
- 数理・物質創成科学コース
- 地球科学・地球環境コース
- 機械電子情報工学コース

自然科学研究科 (博士前期課程)

理工学専攻

- 環境システム科学専攻
- 農生命科学専攻

総合理工学部

物理・マテリアル工学科

物質化学科

地球科学科

数理科学科

知能情報デザイン学科

機械・電気電子工学科

建築デザイン学科

理工特別コース

物質・マテリアル工学科

物質・マテリアル工学科では、素粒子論から新素材・デバイス開発まで、物質に関する幅広い教育・研究を行っています。物理学、材料科学に関する専門知識を持ち、物質科学の発展に寄与できる技術者、研究者の育成を目指します。教育プログラム「物理系コース」は、JABEEの認定を受けています。

物質化学科

物質化学科には、「基礎化学コース」、「機能材料化学コース」、および、H30年度から新たに開設された「環境化学コース」があり、それぞれ、化学の基礎、機能材料の開発・応用、環境保全・グリーンエネルギーの分野で活躍し、地域の発展や持続可能な社会の実現に貢献できる人材を育成しています。

地球科学科

地球科学科は、地球物質資源科学、地球環境科学、自然災害科学の3つの分野からなります。国内外の地質見学をはじめ、実験・実習を重視した実践的なカリキュラムにより、高度科学技術者の育成を目指します。また、本学科の教育プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けています。

数理科学科

数理科学科は、数理基幹と数理展開の2コースから構成されます。抽象数学及び諸現象の数理的解析のための現代数学の学習を通じて、論理的な思考力や柔軟な発想力、データ分析・活用力、そして豊かな表現力を持ち合わせた、教育職に限らず国際社会の様々な方面で指導的役割を果たせる人材を育成します。

知能情報デザイン学科

知能情報デザイン学科は、データサイエンスコースと情報システムデザインコースの2コースから構成されます。1年次に数学と情報の基礎を学び、2年次以降は情報工学に関連する専門科目を学びます。データサイエンス、情報工学の研究開発を通じて、幅広い見識を持ち合せた人材の育成を行っています。

機械・電気電子工学科

機械・電気電子工学科は、機械工学と電気電子工学の2分野を融合した学科です。これらの分野の核心的基礎を幅広く学習した上で、さらに1分野について、より応用的・専門的な科目を深く学ぶことによって、激動の21世紀で活躍できる高い専門性を持った技術者の育成を目指しています。

建築デザイン学科

建築デザイン学科は、「建築構造・住環境」と「建築計画デザイン」の2コースからなり、伝統的な木造建築から現代建築まで、建築デザインを幅広く学ぶことができます。高度な専門技術をもち、かつ安全で快適な建築の創造を目指し、地域に根ざした建築空間づくりに貢献できる人材の育成を目指します。

理工特別コース

「理工特別コース」は総合理工学部の7学科を横断する学部共通教育コースです。それぞれの学科の教育活動と共同しながら、学科の枠を超えて学部の全教員の協力を得て学生の教育に当たります。各学科への入学者から選抜された優秀な学生に対し、1～2年次の連続したアクティブ・ラーニングセミナーと3年次の早期研究室配属を通して、入学時から継続的に理工系分野の研究への興味・意欲、国際的視野を育む教育を行うことが、このコースの特徴です。

大学院

総合理工学研究科

《博士後期課程》■総合理工学専攻

○理工学際創成コース ○数理・物質創成科学コース ○地球科学・地球環境コース ○機械電子情報工学コース

総合理工学研究科(博士後期課程)は、理工学の研究拠点として、先端科学及び先端技術の研究、従来の枠組みを超えた学際的研究、地域社会と連携した研究などを高度に推進することにより、科学技術と社会の持続的発展に寄与します。本課程では、博士前期課程において修得した高度な理工学分野の専門的知識・技術をさらに深め、それらを実社会において活用する能力を身につけることにより、社会の発展を牽引できる総合的・国際的視野を持つ創造性豊かな高度技術者・研究者を養成します。

生物資源科学部

Faculty of Life and Environmental Sciences

“いのち”あふれる地球を育む

生物資源科学部は、「生物、生態、生命、生産、生活を包含するライフを総合的に科学する学部」として、生命現象の基本から、生物資源の育成、利用、開発保全と、それを育む環境に関する広い分野を教育研究の対象としています。島根大学が位置する山陰地域の豊かな自然環境を保全することや、中山間地での過疎・高齢化などを解決する課題にも取り組んでいます。平成30年度より「生命科学科」「農林生産学科」「環境共生科学科」の3学科に編成し、研究科のコースと連続的に教育できる一貫したカリキュラムを構築し、幅広く高度な知識と技術を兼ね備えた人材を育成していきます。



生物資源科学部ホームページ
<http://www.life.shimane-u.ac.jp/>

自然科学研究科 (博士前期課程)

理工学専攻

環境システム科学専攻

農生命科学専攻

生物資源科学部

生命科学科

農林生産学科

環境共生科学科

附属生物資源教育研究センター

三井化学アグロ・生物制御化学寄附講座

生命科学科

生命科学科には、微生物から動物・植物に至る多様な生物が示す様々な生命現象についての基本的な理解と根本原理の解明や、湖沼河川などの水域とその陸環境がもつ豊かな生物多様性を基礎科学の観点から理解する理学的教育に重点を置いた細胞生物学、水圏・多様性生物学コースと、生物学と化学の知識を基盤として生命の分子レベルでの機能や食品成分の機能の解明を通して、それらの有用機能を食品・化学工業・医薬・農業製造業などの生物・化学産業へと応用可能なバイオテクノロジー分野に重点を置いた生命機能化学、食生命科学コースがあります。生命現象の解明を追求し応用する過程を通して、論理的思考力、問題解決能力を身に付け、社会で活躍する資質を備えた人材の育成を行っています。



農林生産学科

農林生産学科では、農林業生産による豊かな人間生活の実現を目指して、農産物及び林産物に関する持続可能な生産技術と経営・経済について学ぶことができます。1年次では、豊かな自然環境に恵まれた山陰地域という立地条件を活かしたフィールド学習などを通して、農林業を取り巻く生態系や地域社会について総合的に学びます。2年次からは、4つの教育コース「資源作物・畜産学」、「園芸植物科学」、「農業経済学」、「森林学」のいずれかを選択し、先端的研究を行う教員による専門的な講義、実習、卒業研究の指導を通して、より深い知識と高い技術を養うことを目指します。



環境共生科学科

環境共生科学科では、土・水・生物などの資源と環境を適切に保全・管理しつつ持続的に利用していく環境調和型社会の構築や、その実践のために必要となる専門知識や技術に関する、科学と工学の両観点からの履修を重視します。1年次では、環境共生科学基礎セミナーなどの基礎的な学科科目を受講することになります。学生の皆さんは、2年次から環境生物学・生態環境学・環境動態学・地域工学という、互いに重なり合いつつも特色ある4つの教育コースに配属され、多角的な視点から、地域の持続的な発展に貢献する様々な手法の修得を目指します。



附属生物資源 教育研究センター



森林科学、農業生産科学、海洋生物科学の三部門からなり、島根県の豊かな自然と多様な生物のもたらす恵みを楽しむ利用するための、県中部及び西部に設けられた演習林、県東部にある実験農場、隠岐の島にある臨海実験所を活用して、自然への親しみ、実地体験、新たな発見に貢献できる教育研究を行っています。臨海実験所では、教育関係共同利用拠点として学外から実習生を受け入れています。

自然科学研究科 (博士前期課程)

Graduate School of Natural Science and Technology

■自然科学研究科HP <http://www.natural.shimane-u.ac.jp/>



自然を究め、持続可能な明日を創る

自然科学研究科(博士前期課程)は、総合理工学研究科と生物資源科学研究科を統合した新しい研究科です。本研究科では「研究科共通科目」という科目群を新たに設け、理工学、環境システム科学、農生命科学を総合的に学ぶことができ、これまでの2研究科体制ではできなかった自然科学系の幅広い教養教育が可能となりました。

本研究科では理学、工学、農学にわたる幅広い学問領域を含む利点を生かして、確かな専門知識や技術、超スマート社会で主体的な役割を担うための情報技術力、外国語によるコミュニケーション力とグローバルな感性、柔軟な発想力を養います。

理工学専攻では、数理、物理、情報の基礎知識を身に付け、その知識を基に、数理学、物理学、情報科学、機械工学、電気電子工学、材料工学の発展に寄与し、新たな科学技術や新たな社会の創造に貢献できる、国際感覚に優れた高度技術者・研究者を養成します。

環境システム科学専攻では、地球科学、環境共生科学、化学、建築学の基礎知識を身に付け、その知識を基に、環境と調和したより豊かな社会の構築に貢献する、実践力と創造力を備えた、国際感覚に優れた高度技術者・研究者を養成します。

農生命科学専攻では、生命機能を科学する能力を備え、農林生産物を活用するための高度な専門知識・技術・課題解決能力を有し、かつ国際感覚に優れ自立的で人間性豊かな高度技術者・研究者を養成します。

また、本研究科には次の5つの特別プログラムを置きます。①医理工農連携プログラム②地域産業人育成プログラム③ダブルディグリープログラム④英語による留学生プログラム⑤英語による「地球」教育研究特別プログラム。これらのプログラムは、国際感覚の修得に意欲を持つ学生、理工農学の医療応用や地域産業の振興に興味を持つ学生のために開設します。

理工学専攻	数理学コース
	知能情報デザイン学コース
	物理・マテリアル工学コース
	機械・電気電子工学コース
環境システム科学専攻	地球科学コース
	環境共生科学コース
	物質化学コース
	建築デザイン学コース
農生命科学専攻	生命科学コース
	農林生産学コース

山陰法科大学院 法務研究科

Graduate School of Law

地域と手を携えた法曹養成教育



社会人・未修者の教育へ 力を発揮する山陰の法科大学院

島根大学大学院法務研究科(山陰法科大学院)は、地域社会の法化の進展に寄与するとともに、国際化時代にも対応できる、高度な法的思考力と知識を有する専門ジェネラリストとしての法曹養成を基本理念にし、その実現に向け教育を行っています。

なお、全国的な入学者減傾向等を踏まえて、2015年度から募集停止を決めざるを得ませんでした。在学生全員が修了するまで本研究科は継続して法曹養成教育を行うとともに、法科大学院の教育資産を継承する形で、法曹志願者向けの法学教育を含め、本学における新たな法学教育のあり方と体制につき検討しています。

●地元弁護士による教育支援

本研究科では、島根・鳥取両県弁護士会に所属する、法科大学院を修了して司法試験に合格された若手の弁護士の方々に法務アカデミック・アドバイザー(AA)に就任していただき、学生に対する課外の教育支援を行っています。AAの方々には、日頃の学生の学習相談、自主ゼミのチューターなど法科大学院での正規の授業を補完する学習支援の活動を担っていただいています。

●地域社会への貢献

本研究科では、例年、島根県消費者センターと連携して、県内各地において、講演活動などを行っています。近年、激増している特に高齢者を狙った詐欺事件に対応するために、高齢者に対する消費者教育は、社会的に高く要請される課題です。この要請に応えるべく、本研究科では、発足当初より、講演活動などを県内各地で展開しています。

CAMPUS MAP

キャンパスマップ・関連施設等

松江キャンパス

〒690-8504 松江市西川津町1060 TEL.0852-32-6100

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 本部棟 | 26 障がい学生支援室 |
| 2 法文学部棟 | 27 国際交流センター |
| 3 教育学部棟 | 28 外国語教育センター |
| 4 人間科学部棟 | 29 島根大学・寧夏大学
国際共同研究所 |
| 5 総合理工学部棟1号館 | 30 地域未来協創本部
地域人材育成部門 |
| 6 総合理工学部棟2号館 | 31 学生会館 |
| 7 総合理工学部棟3号館 | 32 第1食堂 |
| 8 生物資源科学部棟1号館 | 33 第2食堂 |
| 9 生物資源科学部棟2号館 | 34 第1体育館 |
| 10 生物資源科学部棟3号館 | 35 第2体育館 |
| 11 教養講義室棟1号館 | 36 トレーニングセンター |
| 12 教養講義室棟2号館 | 37 武道館 |
| 13 附属図書館 | 38 課外活動共用施設 |
| 14 保健管理センター | 39 プール棟 |
| 15 生涯教育推進センター | 40 弓道場 |
| 16 総合情報処理センター | 41 アーチェリー場 |
| 17 エスチュアリー研究センター | 42 守衛室・中央監視棟 |
| 18 総合博物館 | 43 大学ホール |
| 19 遺伝子実験施設 | 44 山陰法実務
教育研究センター |
| 20 教育推進センター | 45 学生市民交流ハウス |
| 21 学生センター | 46 地域未来協創本部
産学連携部門分室 |
| 22 ところそだちの相談センター | |
| 23 アドミッションセンター | |
| 24 学生支援センター | |
| 25 キャリアセンター | |



附属図書館

附属図書館は、学術情報資源を集積した大学の知の拠点として、学修、教育・研究活動を支援します。
<http://www.lib.shimane-u.ac.jp/>

本館（松江キャンパス）

本館は、主に松江キャンパスの学生や教職員に対する図書館サービスを提供する他、地域市民に対しても開放しています。

建物は、入口に近い方から「交流」「学習」「研究」の3つのゾーンに分けられ、奥に進むに従って静かに学習や読書ができるゾーン構成となっています。「交流ゾーン」には、ディスカッションしながら学習できるラーニングcommonsや、PCルーム、新聞・雑誌コーナー、休憩のためのラウンジが設けられています。「学習ゾーン」は、学習用図書と開放的な閲覧席を配置した明るく落ち着いた学習環境を提供しています。「研究ゾーン」は、個人机や個室が設置され、特に一人静かに学習や研究を深めたい人のためのスペー

スです。この2つのゾーンは、学習用図書が配置された閲覧室と研究用資料が配置された開架書庫が有機的に連結され、資料の活用のしやすさに配慮しています。

図書約83万冊、雑誌約1万2千誌が収蔵されているほか、約6千タイトルの電子ジャーナルや文献データベース、デジタルアーカイブのコンテンツなどWeb上で利用できる電子的な情報資源が提供され、無線LANにより館内のほぼどこからでもアクセスできます。

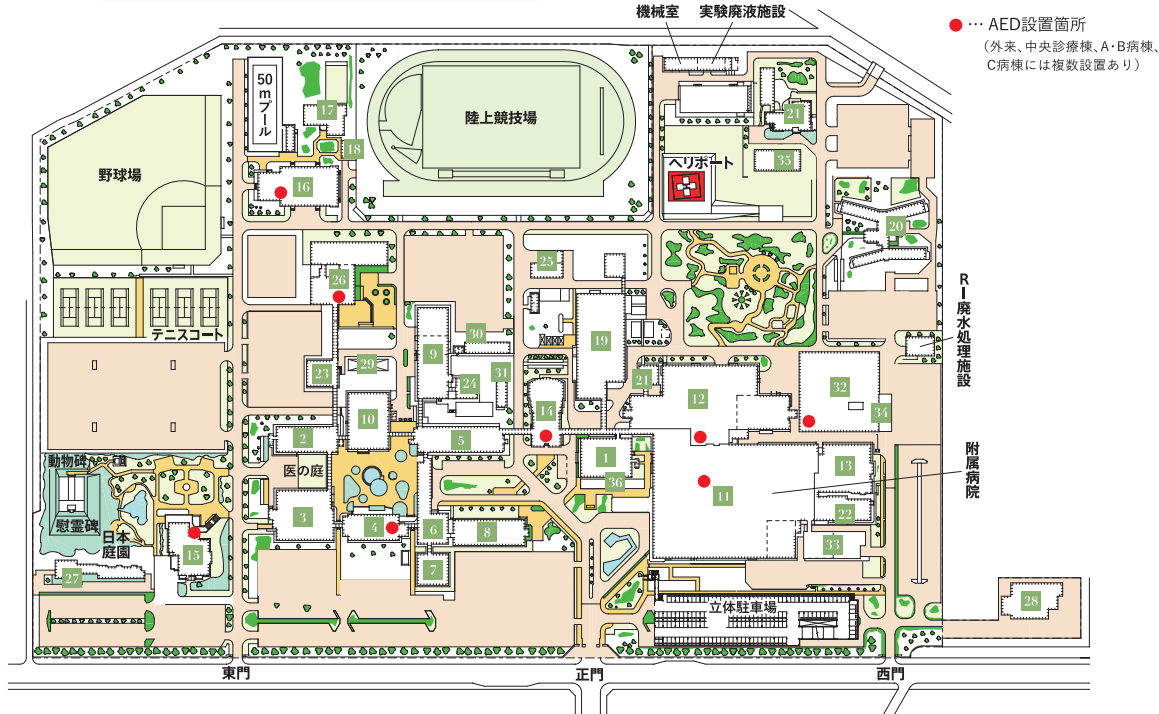
多様な学術情報を適切に使いこなせるように、図書館利用ガイダンスや情報検索講習会を開催して支援をしているほか、学生の図書館コンシェルジュが図書館利用をサポートしています。



※ グーグルストリートビューで、松江、出雲の各キャンパス内をご覧ください。

出雲キャンパス

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1 TEL.0853-23-2111



- | | | | |
|---------------------------------|----------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 医学部本部棟 | 11 外来・中央診療棟 | 24 うさぎ保育所 | 31 第四共同研究棟 |
| 2 講義棟 | 12 病棟(A・B病棟) | 24 医学部会館 | 32 病棟(C病棟) |
| 3 実習棟 | 13 高エネルギー診療棟 | 22 MRI-CT装置棟 | 33 みらい棟 |
| 4 基礎研究棟 | 14 臨床講義棟 | 23 第三研究棟 | 34 高度外傷センター |
| 5 臨床研究棟 | 15 保健管理センター 出雲 | 24 RI研究棟 | 35 入院児童等患者
家族宿泊施設(だんだんハウス) |
| 6 共同研究棟 | 15 食堂 | 25 塵芥焼却炉室・発電気室 | 36 敷地内院外薬局(ゼブラ棟) |
| 7 第二共同研究棟 | 15 学生会館 | 26 看護学科棟 | |
| 8 第二研究棟 | 16 体育館 | 27 国際交流会館 出雲 | |
| 9 総合科学研究支援センター
実験動物分野・RI実験分野 | 17 武道館 | 28 地域未来協創本部
(地域医学共同研究部門) | |
| 10 附属図書館医学図書館
(1階学務課) | 18 体育器具庫 | 29 チュートリアル棟 | |
| | 19 中央機械室 | 30 第三共同研究棟 | |
| | 20 看護師宿舎 | | |



医学図書館(出雲キャンパス)

医学図書館は出雲キャンパスにあり、医学系専門図書館として、医学部の学生・教職員及び附属病院の医師、看護師、医療職員へ、学修・教育・研究支援のサービスを展開しています。出雲キャンパス所属者は学生証・職員証の認証により、24時間利用が可能です。

資料は図書約14万冊、学術雑誌約4千誌のほか、ビデオ、DVDも所蔵しています。また、電子ジャーナル、各種文献データベース、Webコンテンツ等を松江キャンパスと同等に提供するほか、医学図書館独自のコンテンツも提供していま

す。閲覧室には無線LANのアクセスポイントも設置されています。

医学図書館では、学生や教職員の学術情報収集のスキル向上を目指して、文献データベース等の利用講習会を数多く開催しています。また、地域貢献として、医学専門資料を所蔵する図書館を一般市民の方にも広く公開しています。さらに、鳥根県内の医療関係機関等の図書館(室)と連携しながら、関係職員の資質向上や地域医療従事者へのサービス向上にも努めています。



FACILITIES

学内施設

生涯教育推進センター

地域の生涯学習の推進と市民の学習機会の拡充のため地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図りながら、地域社会の発展に寄与しています。

【生物資源科学部3号館 1階】
<https://www.erc11.shimane-u.ac.jp/>



エスチュアリー研究センター (EsReC)

「人間社会とそれを取り巻く自然環境の持続的発展を可能にするための汽水域の保全と利用」を基本理念とし、エスチュアリーの環境変動や水域生態系の解明、流動解析などに取り組んでいます。中海の江島にフィールドワークの起点となる中海分室もあります。

【法文学部棟1階】 <http://esrec.shimane-u.ac.jp/>



総合博物館 (本館)

永年の教育・研究によって収集されてきた岩石・化石・動植物・考古資料をはじめとした標本資料類を整理、保管、調査・研究し、展示公開や情報発信を行っています。ここに来れば、島根大学の教育・研究内容について楽しみながら知ることができます。

<http://museum.shimane-u.ac.jp/>



国際交流センター

島根大学の全学的な国際交流活動の拠点として、市民、行政、産業界等の地域社会と協力し、海外の大学等関係機関との共同研究や留学生の受け入れ、島根大学の学生の海外派遣などを戦略的に推進します。

【総合理工学部2号館3階】
<http://kokusai.shimane-u.ac.jp/>



地域未来協創本部 <https://www.reg-collab.shimane-u.ac.jp>

■ 地域人材育成部門

島根大学が実施する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」において、地域未来創造人材養成のための地域課題解決型教育(PBL)を推進するとともに、自治体と連携し地域課題の解決に貢献することを目的に設置され、地域課題解決型教育のマネジメント、地域貢献人材育成のための教育コンテンツ等の作成の業務を行います。

【総合理工学部2号館3階】



総合情報処理センター

本学の情報処理システムを整備・運用し、学内外の情報ネットワークとの連携を図ることで、教育・研究における情報処理をサポートするとともに、学術情報システム等の開発や人材育成の支援を行っています。

<https://www.g-ipc.shimane-u.ac.jp/>



外国語教育センター

外国語教育の計画立案・運営・実施及びその点検評価を組織的に行うほか、外国語教育を通して、地域・社会貢献及び国際貢献に寄与することを目指しています。また、外国語教育センターワークステーションでは、外国語学習のワンストップ・サービスを実現するとともに、くつろいだ自学自習の空間を提供しています。

【総合理工学部2号館1階】 <http://cfle.shimane-u.ac.jp/>



島根大学旧奥谷宿舎 (総合博物館別館)

1924(大正13年)、島根大学の前身・旧制松江高等学校の外国人教師用に建てられた洋館で、国登録有形文化財に登録されています。展示やミニ教室、町歩き観光の拠点として活用されています。

<http://museum.shimane-u.ac.jp/okudani.html>



島根大学・寧夏大学国際共同研究所

研究所を拠点に、中山間地域の活性化、開発と環境問題、都市と農村の格差是正、環境教育の推進等を主要なテーマとして共同研究を行い、研究成果をアジアをはじめとする世界に向けて発信することを目指しています。

【寧夏大学構内(中国寧夏回族自治区銀川市)】
<http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/>



■ 産学連携部門・知的財産創活部門・地域医学共同研究部門

産学官連携の拠点として大学の総合的窓口機能を担い、民間等との共同研究、受託研究及び科学技術相談への対応、知的財産に関する相談及び企業・民間の技術者・医療技術者への教育等の業務を行っています。



広島オフィス

島根大学の情報発信・交流の拠点として利便性の高い広島市街に設置。入学希望者への情報提供、企業採用や共同研究、学生の就職支援、医療職員の採用、卒業生・同窓会との連携強化など、利用者のニーズに対応した相談体制を整えています。



【広島県広島市中区立町1-23ごうぎん広島ビル4階】
https://www.shimane-u.ac.jp/facility/facilities/hiroshima_office/

食堂



松江キャンパスの第1食堂(ソーニョ)と出雲キャンパスの食堂は、朝食から夕食まで3食対応しており、自分でおかずを組み合わせることで利用できます。松江キャンパスの第2食堂(ニコラ)は、丼類やセルフバーなどを揃えた昼食対応の食堂です。

<https://www.shimane-u.ac.jp/campus-life/welfare/cafeteria/>
(松江キャンパス)

学生センター(松江キャンパス)



松江キャンパス中央部に位置し、学生の修学上の支援・助言等を行っています。また、同センターには、アドミッションセンターも設置されています。

<http://nyucen.shimane-u.ac.jp/> (アドミッションセンター)

■アドミッションセンター【学生センター】

島根大学における入学者選抜方法等の改善を図るため、入学試験の企画、広報、実施、評価、改善等を行っています。

学生支援センター



学生支援センター内の学生支援課では、課外活動、就職関係、授業料免除・奨学金等学生生活上の各種支援を行っています。また、同センターには、キャリアセンターや学生支援センターも設置されています。

<http://career.shimane-u.ac.jp/> (キャリアセンター)

■キャリアセンター【学生支援センター1階】

学生の職業・進路選択及び就職活動をより円滑に推進するため、就職情報の提供、就職相談、キャリア教育の企画・実施等を行っています。

■学生支援センター

学生支援センターでは課外活動への支援、経済的な支援等、学生生活の充実を図ることを目的に、学生支援業務を総合的に取り扱っています。

大学会館



学生・教職員が相互交流できる場として、また学生の課外活動の場としても使用することができます。施設内では、書籍・文具及び日用品の販売、高速バス・JR乗車券の予約発券等のサービスも行っていきます。

https://www.shimane-u.ac.jp/campus-life/extra_curricular/extra_curri_facility/ (松江キャンパス)

障がい学生支援室

障がい学生支援室は、障がいのある学生の皆さんの修学や進路、学生生活などに関する悩みへの相談や支援を行っています。また、サポートスタッフ(学生等)の研修会の開催、補償機器の貸し出しや紹介、外部支援機関との橋渡しなども行っています。支援室の交流スペースには、障がいや悩みのある学生の皆さんと、サポートスタッフ(学生等)との交流の場も設けていますので、相談以外の方々も、お気軽にご利用ください。



【総合理工学部2号館1階】
<http://www.disability.shimane-u.ac.jp/>

FACILITIES

学内施設

学生寮

各居室にユニットバス、トイレ、ミニキッチン
を備えたA棟(定員168名)・C棟(定員59名)、
建物内に共同のキッチン、トイレ、シャワールーム
等を備えたB棟(定員91名)があります。きれ
いな環境で安心して生活することができます。

[https://www.shimane-u.ac.jp/
campus-life/welfare/residence/](https://www.shimane-u.ac.jp/campus-life/welfare/residence/)



戦略的研究推進センター

戦略的研究推進センターは、鳥根大学が有する知的資産と知的創造力を活用し、地域に密着した個性的な研究及び国際水準の独創的な研究を集中的かつ戦略的に推進し、その成果を広く社会に還元することを目的としています。全学で重点的に取り組む研究プロジェクトは、重点研究部門、萌芽研究部門、特別研究部門の各部門及びプロジェクトセンターとして位置付けられ、期限と目標を明確にして集中的に進められます。なお、プロジェクトセンターは、部局を超えた特徴的な教育研究プロジェクトに参加する研究グループをセンターとして位置付けて可視化したもので、研究活動の一層の活性化と推進を目指すものです。

<http://www.proken.shimane-u.ac.jp/>

山陰法実務教育研究センター

鳥根大学が有する知的資産を有効に活用し山陰地域における法実務教育を行うとともに、そのための教育プログラム及び教育研究体制に関する調査研究を行い、もって山陰地域における法学教育の充実発展に寄与します。

【法文学部棟4階】

総合科学研究支援センター

既存の研究分野の枠を超えた共同利用体制の整備を実現し、生命・環境・ニューマテリアルに関する先端的及び学際的な教育・研究を強力に支援するとともに、その成果を社会の発展のために還元しています。

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/~icsr/index.html>

- 遺伝子機能解析部門 (RI実験施設) (松江)
- 物質機能分析部門 (松江)
- 実験動物部門 (出雲)
- 生体情報・RI実験部門 (出雲)

こころそだちの相談センター

心の健康に関するさまざまな相談に幅広く対応し、地域社会に貢献するとともに、心理臨床に関する高度な知識と技能を有する専門家の養成に寄与しています。今年度から出雲キャンパス医学部内に分室を開室しました。

<https://www.psy.shimane-u.ac.jp/>

その他の地区

深町地区 (学生寮)

〒690-0823
松江市西川津町字深町3371-1
TEL.0852-21-3118

北陵地区 (地域未来協創本部 (松江))

- 産学連携部門・知的財産創活部門
- 〒690-0816 松江市北陵町2
TEL.0852-60-2290

大輪地区 (附属学校)

教育学部附属小学校 / 〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1200
教育学部附属中学校 / 〒690-0824 松江市菅田町167-1 TEL.0852-29-1300
教育学部附属幼稚園 / 〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1120

保健管理センター

心身ともに健康な生活が送れるよう、専門的立場から支援するサービス部門です。定期健康診断の実施、病気やケガの応急処置、健康相談や医療機関の紹介を行っています。また、いろいろな悩み事(勉強や進路、ストレスによる心身の不調、対人関係での難しさや心の病など)の相談には臨床心理士などの専門家が対応します。

松江: <http://health.shimane-u.net/>

出雲: <http://www.med.shimane-u.ac.jp/health/>



教育推進センター

鳥根大学における学生の学びの質を保証・向上するために、教育システムの構築やFD、それらを支える各種調査、特色ある授業の創出や全学教育プログラムの企画・実施まで様々な学修支援に携わっています。

【教育学部棟2階】 <https://cerd.shimane-u.ac.jp/>

男女共同参画推進室

誰もが学びやすく・働きやすい学内環境を作ることを目指して、男女共同参画の推進、研究者支援及びワーク・ライフ・バランスにかかる事業を行っています。

<http://gender.shimane-u.ac.jp/>

地域包括ケア教育研究センター【出雲キャンパス】

高齢社会において、加齢とともに増加する生活習慣病や高齢者難治性疾患の予知予防は重要な課題です。鳥根大学地域包括ケア教育研究センターでは、県内市町や住民との協働により前向きコホート研究体制を確立し、生活習慣病や高齢者難治性疾患の危険因子の多面的な解明、産官学の連携に基づく健康サービスや機能性食品などの開発、さらには健康づくりに役立つ地域ネットワークの構築により疾病の先駆的な予知予防研究を進めています。

<http://www.cohre.jp/>

自然災害軽減教育研究センター

本センターは、「地域環境災害軽減に関するユネスコチャータ」の目的である「地球環境と社会のより良好な関係の構築」に向けた教育と研究を促進し、本学の教育研究活動及び国際的学術交流の活性化を図るとともに、社会の発展に資することを目的とします。

【総合理工学部3号館501室】 <http://ndrre-shimane-u.com/>

部局	所在地	電話番号
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター		
本部	〒690-1102 松江市上本庄町2059	0852-34-0311
森林科学部門 三瓶演習林	〒694-0003 大田市三瓶町多根941-1	0854-86-0011
農業生産科学部門 本庄総合農場	〒690-1102 松江市上本庄町2059	0852-34-0311
〃 神西砂丘農場	〒699-0822 出雲市神西沖町2473-1	0853-43-2081
海洋生物科学部門 隠岐臨海実験所	〒685-0024 隠岐郡隠岐の島町加茂194	08512-2-1814
エスチュアリー研究センター 中海分室	〒690-1401 松江市八束町江島字南土手附694	0852-76-9007
国際交流会館	〒690-0824 松江市菅田町320	0852-25-9530

沿革

年 月	旧島根大学	旧島根医科大学
昭和24年 5月	旧制松江高等学校、島根師範学校、島根青年師範学校を母体として、 文理学部、教育学部からなる新制大学として発足	
昭和40年 4月	島根県立島根農科大学を国立移管し、農学部を設置	
昭和41年 4月	保健管理センター設置	
昭和42年 6月	農学部附属農場・農学部附属演習林設置	
昭和46年 4月	大学院農学研究科設置(平成12年生物資源科学研究科に拡充改組)	
昭和50年 10月		島根医科大学設置
昭和53年 4月		RI 実験施設設置
昭和53年 6月	文理学部を改組し、法文学部と理学部設置	
昭和54年 4月	教育学部附属複式教育研究センター設置	医学部附属病院設置
昭和56年 4月		医学部附属動物実験施設設置
昭和57年 4月		大学院医学研究科博士課程設置
昭和58年 4月		医学部附属実験実習機器センター設置
昭和60年 4月	大学院理学研究科設置(平成12年総合理工学研究科に拡充改組)	
昭和63年 4月	大学院法学研究科設置(平成9年人文社会科学研究科に拡充改組)	
平成元年 4月	島根大学、鳥取大学、山口大学の協力のもとに 大学院連合農学研究科博士課程を鳥取大学に設置	
平成2年 6月	遺伝子実験施設設置 教育学部附属教育実践研究指導センター設置	
平成3年 4月	大学院教育学研究科設置	保健管理センター設置
平成4年 4月	汽水域研究センター設置	
平成5年 4月	生涯学習教育研究センター設置	
平成6年 12月		情報ネットワークセンター設置
平成7年 2月		特定機能病院として承認
平成7年 10月	理学部と農学部を融合・改組し、総合理工学部と生物資源科学部設置	
平成8年 5月	地域共同研究センター設置	
平成9年 4月	大学院人文社会科学研究科設置 附属生物資源教育研究センター設置	
平成11年 4月		医学部看護学科設置
平成12年 4月	大学院総合理工学研究科設置 大学院生物資源科学研究科設置	
平成13年 4月	教育学部附属教育臨床総合研究センター設置 機器分析センター設置	地域医学共同研究センター設置
平成14年 4月	大学院総合理工学研究科を博士課程に改組 総合情報処理センター設置	
平成15年 4月		大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称し、 看護学専攻(修士課程)設置

年 月	島根大学
平成15年 10月	旧島根大学と旧島根医科大学を統合し、新島根大学を設置 共同研究センター・総合科学研究支援センター設置
平成16年 3月	島根大学・寧夏大学国際共同研究所設置
平成16年 4月	国立大学法人法の施行により、国立大学法人島根大学となる 大学院法務研究科設置、大学院医学系研究科に医科学専攻(修士課程)を設置 教育学部附属教育支援センター設置、医学部教育企画開発室設置 外国語教育センター設置、法文学部山陰研究センター設置
平成16年 10月	共同研究センターを改組し、産学連携センターを設置、評価室設置、総合企画室設置
平成16年 12月	教育開発センター設置、入試センター設置
平成17年 3月	プロジェクト研究推進機構設置
平成17年 10月	キャリアセンター設置
平成18年 4月	ミュージアム設置、国際交流センター設置
平成19年 4月	教育学部附属教師教育研究センター設置
平成19年 6月	教育学部附属FD戦略センター設置
平成20年 7月	男女共同参画推進室設置
平成23年 4月	広報室設置
平成23年 10月	広島オフィス設置
平成25年 4月	センター機構化
平成25年 10月	地域課題学習支援センター設置
平成26年 2月	山陰法実務教育研究センター設置
平成26年 3月	総合企画室廃止
平成27年 4月	附属学校に学習生活支援研究センター設置
平成27年 10月	地域課題学習支援センター廃止、地域未来戦略センター設置
平成28年 4月	大学院教育学研究科に教育実践開発専攻(専門職学位課程)を設置、大学院医学系研究科看護学専攻を博士課程に改組 研究機構及び学術情報機構を研究・学術情報機構及び附属図書館に改組、教育・学生支援機構に障がい学生支援室を設置 人間科学部設置
平成29年 4月	教育・学生支援機構教育開発センター、教学企画IR室及び生涯教育推進センターを改組し、 教育・学生支援機構教育推進センターを設置 研究・学術情報機構汽水域研究センターを改組し、 研究・学術情報機構エスチュアリー研究センターを設置 研究・学術情報機構に地域包括ケア教育研究センター設置 国際交流機構をグローバル化推進機構に名称変更 教育・学生支援機構の外国語教育センターをグローバル化推進機構所属に変更 大学戦略企画室の設置 研究推進室の設置 インスティテューショナル・リサーチ室の設置 ハラスメント対策室の設置 広報室の廃止、広報戦略室の設置 ところとそだちの相談センターの設置
平成30年 4月	自然科学研究科設置 地域未来戦略センター及び研究・学術情報機構産学連携センターを廃止 地域未来協創本部設置 研究・学術情報機構に自然災害軽減教育研究センター設置 数理・データサイエンス教育研究センター設置 学術研究院設置
平成30年 6月	研究・学術情報機構ミュージアムを総合博物館に名称変更

沿革図

(文理学部の前身)

大9.11 松江高等学校 (～昭25.3)

(教育学部の前身)

明8.4 島根県小学教員伝習所

明9.10 松江師範学校

明11.8 松江女子師範学校 (～明14.8)

明17.7 島根県師範学校

明19.8 島根県尋常師範学校

明31.4 島根県師範学校

明36.4 島根県女子師範学校 (～昭18.3)

昭18.4 島根師範学校 (～昭26.3)

昭8.4 島根県立実業公民学校教員養成

昭9.4 島根県立青年学校教員養成所

昭19.4 島根青年師範学校 (～昭26.3)

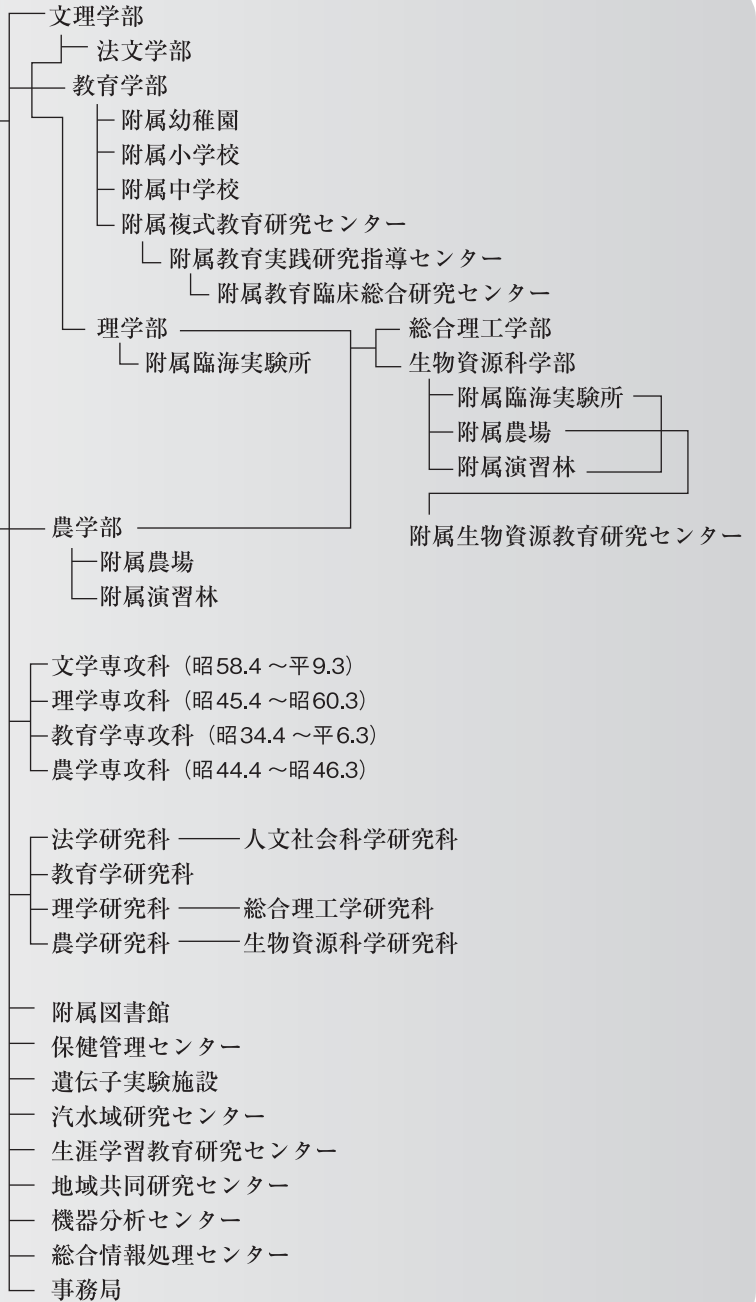
(農学部の前身)

昭22.9 島根県立農林専門学校

昭26.4 島根県立島根農科大学 (昭40.4 国立移管)

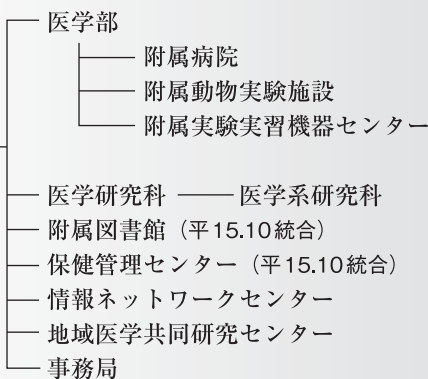
昭和24年5月31日

旧島根大学



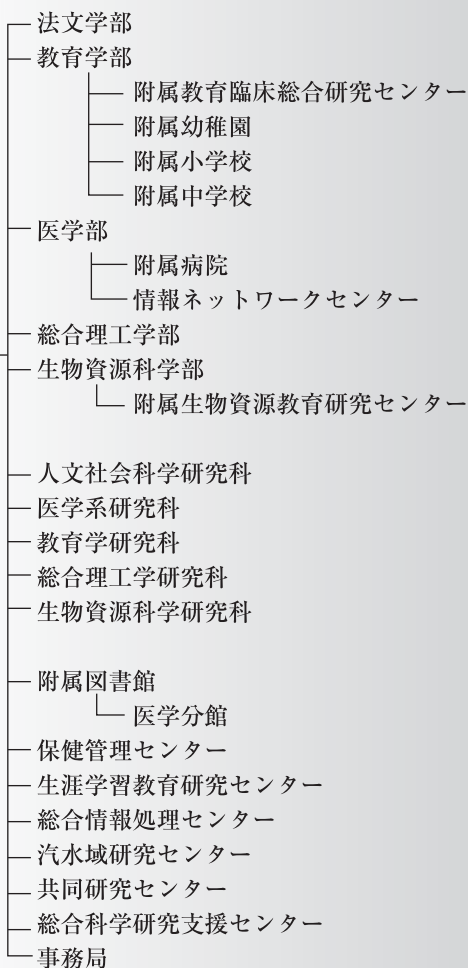
昭和50年10月1日

旧島根医科大学



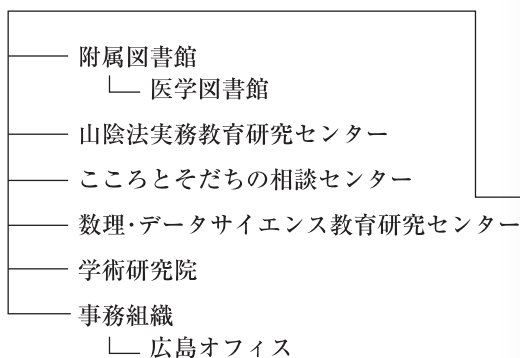
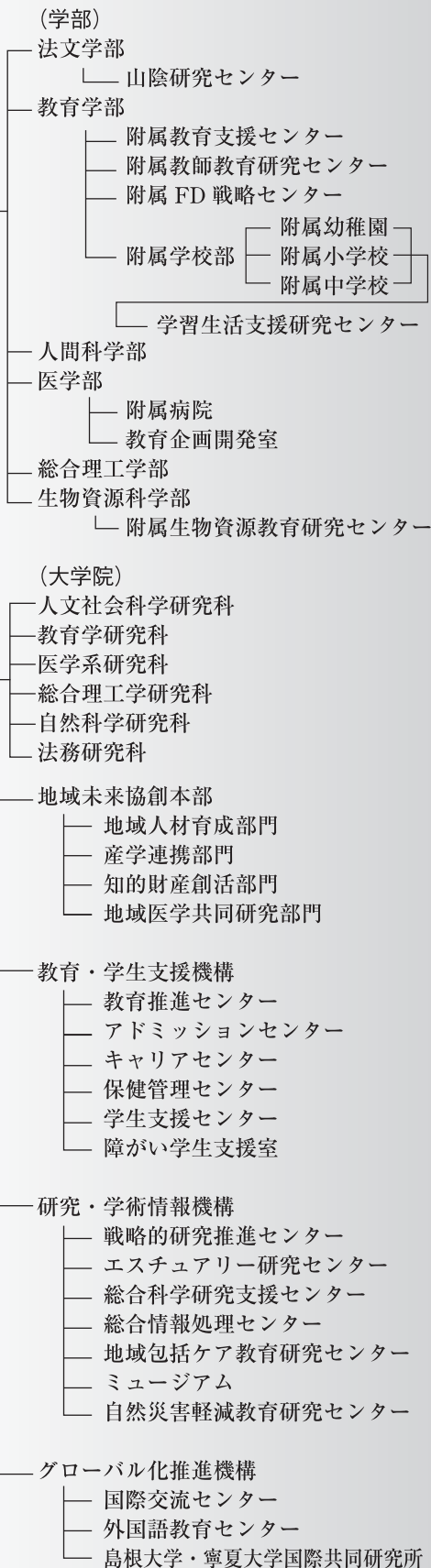
平成15年10月1日統合

新・島根大学

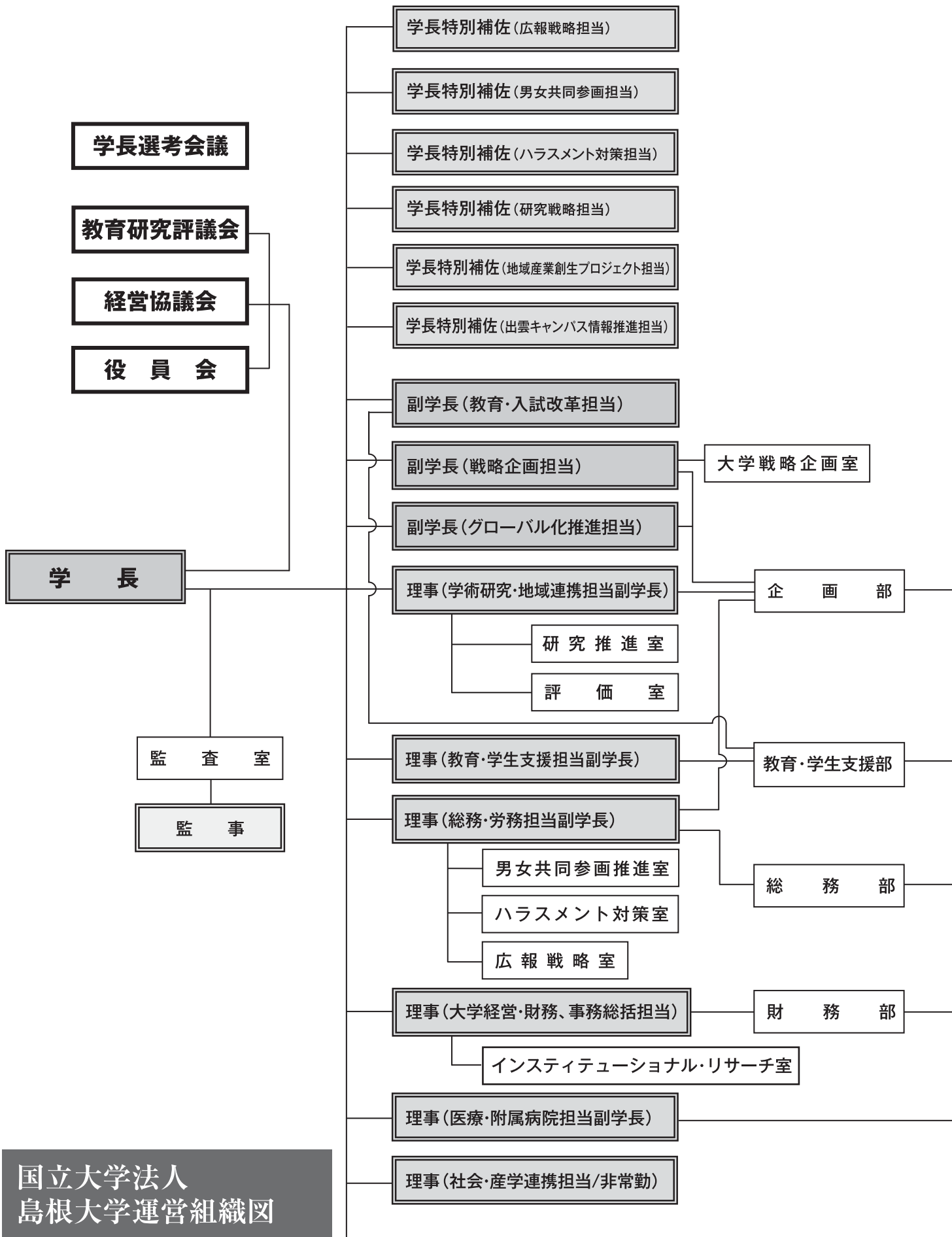


平成16年4月1日法人化

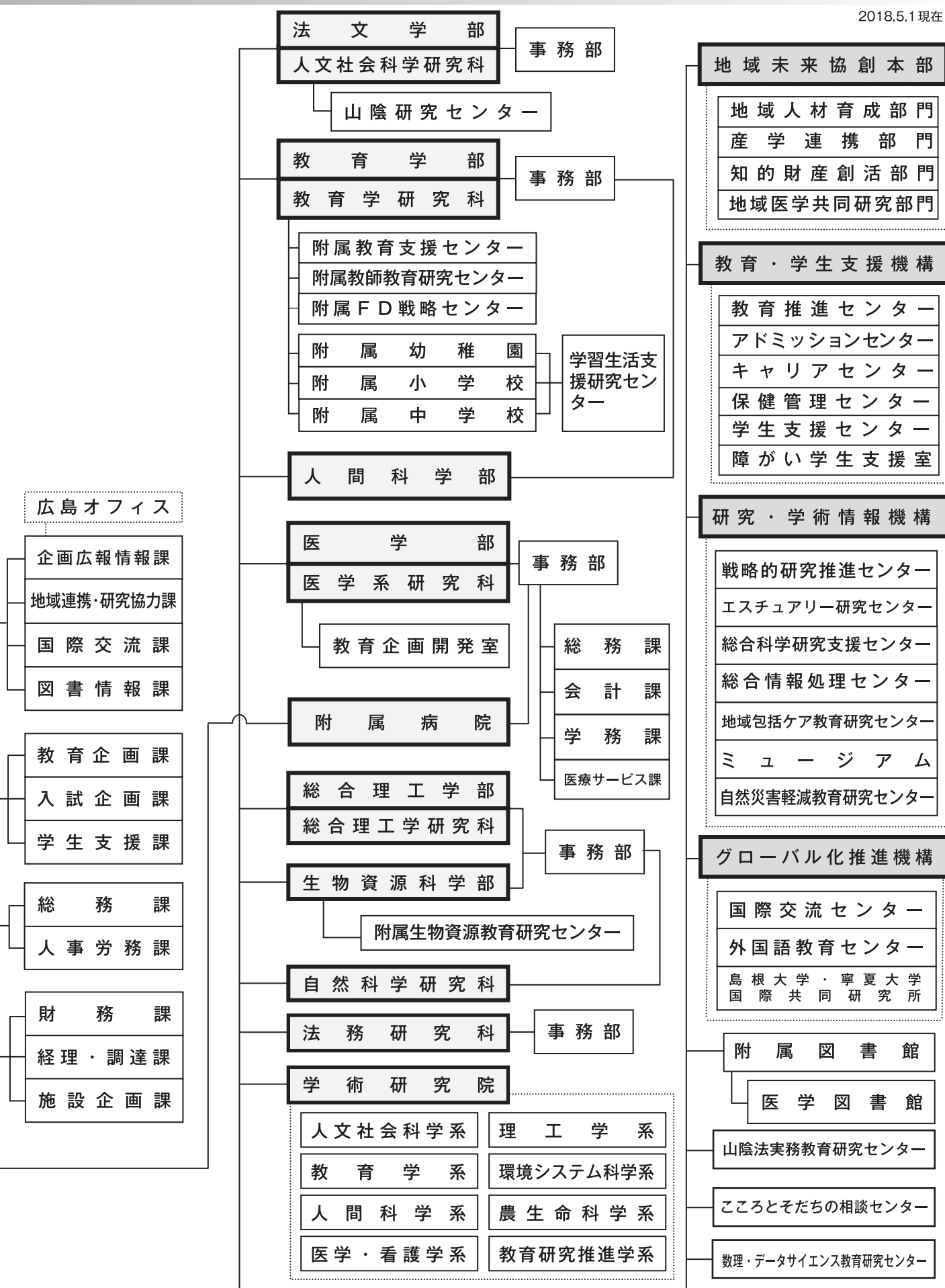
国立大学法人・島根大学



運営組織図



国立大学法人
島根大学運営組織図



役員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員

学長

学長 服部 泰直

理事

理事・副学長(総務・労務担当) 藤田 達朗
 理事・副学長(学術研究・地域連携担当) 秋重 幸邦
 理事・副学長(教育・学生支援担当) 荒瀬 幹榮
 理事・副学長(医療・附属病院担当) 井川 夫
 理事(大学経営・財務, 事務総括担当) 吉田 靖秀
 理事(非常勤)(社会・産学連携担当) 宮脇 和

副学長

副学長(グローバル化推進担当) 出口 顕一
 副学長(戦略企画担当) 肥後 功
 副学長(教育・入試改革担当) 武田 信明

学長特別補佐

学長特別補佐(広報戦略担当) 小谷 充
 学長特別補佐(男女共同参画担当) 河野 美江
 学長特別補佐(ハラスメント対策担当) 金野 美富
 学長特別補佐(研究戦略担当) 芦田 文卓
 学長特別補佐(地域産業創生プロジェクト担当) 大庭 也二
 学長特別補佐(出雲キャンパス情報推進担当) 平野 章

監事

監事 千家 充伸
 監事(非常勤) 篠塚 英子

理事の下に置く部

理事(学術研究・地域連携担当)

企画部
 企画部長 吉木 茂
 企画広報情報課長 吉木 茂
 地域連携・研究協力課長 大西 啓
 国際交流課長 福田 孝
 図書情報課長 舟本 幸

理事(教育・学生支援担当)

教育・学生支援部
 教育・学生支援部長 中村 浩之
 教育企画課長 加藤 兼
 入試企画課長 廣脇 玲
 学生支援課長 寺脇 子

理事(総務・労務担当)

総務部
 総務部長 岩倉 禎尚
 総務課長 福井 上
 人事労務課長 井上 徹

理事(大学経営・財務, 事務総括担当)

財務部
 財務部長 植田 敏也
 財務課長 名取 瑞樹
 経理・調達課長 江川 浩弘
 施設企画課長 澤谷 文美

監査室

室長 高橋 順

学術研究院

人文社会科学系長 田加 雄朗
 教育学系長 中藤 樹
 人間科学系長 瀬河 徹
 医学・看護学系長 光 一郎
 理工学系長 藤 和
 環境システム科学系長 向 浩
 農生命科学系長 瀬 浩
 教育研究推進学系長 廣 浩

学部・大学院

法文学部・人文社会科学研究科

学部長・研究科長 田上 雄武
 副学部長 小 昌
 副学部長 金 准
 副学部長 福 富
 事務長 久 美

教育学部・教育学研究科

学部長・研究科長 加藤 朗
 副学部長 藤田 幸也
 副学部長 河添 達
 副学部長 竹田 健
 副学部長 川路 澄
 副学部長 小松 一
 副学部長 川本 裕
 附属教育支援センター長 谷 裕博
 附属教師教育研究センター長 川 英
 附属FD戦略センター長 小 藤
 附属学校部長 齋 英
 附属幼稚園長 齋 弘
 附属小学校長 齋 弘
 附属中学校長 山 弘
 事務長 山 弘

人間科学部

学部長 村山 樹
 副学部長 高山 亮
 事務長 橋下 哲

医学部・医学系研究科

学部長・研究科長 並森 徹
 副学部長 河田 守
 副学部長 田川 夫
 附属病院長 井 昭
 副病院長 廣 昌
 副病院長 齊 洋
 副病院長 神 眞
 事務部長 塚 正
 総務課長 本 龍
 会計課長 山 哲
 学務課長 部 英
 医療サービス課長 渡 晃

総合理工学部

学部長 廣吉 一郎
 副学部長 三 良
 副学部長 黒 大
 副学部長 小 光
 副学部長 侯 司

生物資源科学部

学部長 井川 和
 副学部長 武 向
 副学部長 増 田
 副学部長 永 二
 副学部長 之 誠

2018.5.1現在

副学部長
附属生物資源教育研究センター長
法務研究科
研究科長
事務長
自然科学研究科
研究科長
副研究科長
副研究科長
副研究科長
副研究科長
事務部長
自然科学系第一課長
自然科学系第二課長

浅松 尾本 俊真 樹悟
朝田 良久 作光
廣井 光藤 一和 郎人
吉半 田野 信真 誠一
上土 野屋 真誠 均子
棟石 屋石 健一
山崎 文

ハラスメント対策室
室長
インスティテューショナル・リサーチ室
室長
山陰法実務教育研究センター
センター長
こころとそだちの相談センター
センター長
数理・データサイエンス教育研究センター
センター長

藤田 達朗
吉田 靖
朝田 良作
岩宮 恵子
秋重 幸邦

機構等

地域未来協創本部

本部長
副本部長

教育・学生支援機構

機構長
教育推進センター長
アドミッションセンター長
キャリアセンター長
保健管理センター長
保健管理センター副センター長
学生支援センター長
障がい学生支援室長

秋佐 重藤 幸利 邦夫
荒平 瀬川 正哲 榮人
福水 田野 浩一 之薫
尾崎 副 浩智 一子
江境 境 英 俊

研究・学術情報機構

機構長
戦略的研究推進センター長
エスチュアリー研究センター長
エスチュアリー研究センター副センター長
総合科学研究支援センター長
総合科学研究支援センター副センター長
総合情報処理センター長
総合情報処理センター副センター長
地域包括ケア教育研究センター長
地域包括ケア教育研究センター副センター長
ミュージアム館長
ミュージアム副館長
自然災害軽減教育研究センター長
自然災害軽減教育研究センター副センター長

秋重 幸利 邦夫
秋重 幸文 幸文 邦夫
齋藤 島川 紀 強 健夫
矢中 浦野 澤谷 洋
會神 並河 徹 実
磯入 村月 宏 武
汪下 井 宏 武
酒井 哲 弥

グローバル化推進機構

機構長
国際交流センター長
外国語教育センター長
島根大学・寧夏大学国際共同研究所長
島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長
島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長

出口 顕 三久
廣瀬 浩勝 義平
伊藤 藤戸 俊 耕

附属図書館

附属図書館長
医学図書館長

大学戦略企画室

室長

評価室

室長

研究推進室

室長

広報戦略室

室長

男女共同参画推進室

室長

杉江 実郎 敬
丸山 理留
肥後 功一
秋重 幸邦
秋重 幸邦
藤田 達朗
藤田 達朗

経営協議会委員

学長
理事・副学長(総務・労務担当)
理事・副学長(学術研究・地域連携担当)
理事・副学長(教育・学生支援担当)
理事・副学長(医療・附属病院担当)
理事(大学経営・財務,事務総括担当)
理事(非常勤)(社会・産学連携担当)
放送大学学園 理事長
学校法人西大和学園大和大学理工学部設置準備室長 特任教授
山陰中央テレビジョン放送株式会社代表取締役会長
松江赤十字病院名誉院長
一畑電気鉄道株式会社代表取締役会長
松江市長
島根県中小企業団体中央会 副会長
株式会社谷口印刷 代表取締役社長
島根県国民健康保険団体連合会 常務理事
ジャーナリスト

服藤 部田 泰直
秋重 重幸 達朗
荒井 瀬川 幹 榮夫
吉宮 田脇 和 秀夫
有泉 川節 紳 一郎
有泉 澤 一 寛
有泉 谷 公厚
大松 谷口 正 博
大福 矢島 敬 則
大福 敬 敦 子

教育研究評議会評議員

学長
理事・副学長(総務・労務担当)
理事・副学長(学術研究・地域連携担当)
理事・副学長(教育・学生支援担当)
理事・副学長(医療・附属病院担当)
理事(大学経営・財務,事務総括担当)
副学長
副学長
副学長
法文学部長
教育学部長
人間科学部長
医学部長
生物資源科学部長
総合理工学部長
法務研究科長
教授 環境システム科学系
教授 教育研究推進系
教授 人文社会科学系
教授 人文社会科学系
教授 教育学系
教授 教育学系
教授 人間科学系
教授 医学・看護学系
教授 医学・看護学系
教授 農生命科学系
教授 農生命科学系
教授 環境システム科学系
教授 理工学系
教授 理工学系

服藤 部田 泰直
秋重 重幸 達朗
荒井 瀬川 幹 榮夫
吉宮 田脇 和 秀夫
有泉 川節 紳 一郎
有泉 澤 一 寛
有泉 谷 公厚
大松 谷口 正 博
大福 矢島 敬 則
大福 敬 敦 子
服藤 部田 泰直
秋重 重幸 達朗
荒井 瀬川 幹 榮夫
吉宮 田脇 和 秀夫
有泉 川節 紳 一郎
有泉 澤 一 寛
有泉 谷 公厚
大松 谷口 正 博
大福 矢島 敬 則
大福 敬 敦 子

教職員数

2018.5.1 現在

区分	役員				教育職員										一般職員						医療職員			合計				
	学長	理事	監事	小計	教授	准教授	講師	助教	助手	校長	副校長・副園長	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	小計	事務職員	技術職員	図書職員	技能職員	労務職員	教務職員	小計		医療技術職員	看護職員	小計	
学長	1			1												0							0			0	1	
理事		6		6												0							0			0	6	
監事			2	2												0							0			0	2	
監査室				0												0	2						2			0	2	
理事又は副学長の下に置く部	企画部	企画部長			0											0	1						1			0	1	
		企画広報情報課			0												0	11	3					14			0	14
		地域連携・研究協力課			0												0	9	2					11			0	11
		図書情報課			0												0	4		13				17			0	17
	教育・学生支援部	国際交流課			0												0	6						6			0	6
		教育・学生支援部長			0												0	1						1			0	1
		教育企画課			0												0	9						9			0	9
		入試企画課			0												0	5						5			0	5
		学生支援課			0												0	13						13			0	13
	総務部	総務部長			0												0	1						1			0	1
		総務課			0												0	12						12			0	12
		人事労務課			0												0	19						19			0	19
	財務部	財務部長			0												0	1						1			0	1
財務課				0												0	9						9			0	9	
経理・調達課				0												0	16						16			0	16	
施設企画課				0												0	5	14			1		20			0	20	
法文学部			0	24	29	5										58	9						9			0	67	
教育学部			0	29	22	5										56	21						21			0	77	
附属幼稚園			0							1		1	4	1	7								0			0	7	
附属小学校			0							1	1	1	16	1	20								0			0	20	
附属中学校			0						1	1	1	1	22	1	27								0			0	27	
附属学校学習生活支援研究センター			0										1	3	4								0			0	4	
人間科学部			0	9	11	5	3									28							0			0	28	
医学部			0	55	31	12	67	3								168	115	57	1	1	174			1	1	343		
附属病院			0	5	10	34	87									136	1	5	8				14	169	720	889	1,039	
総合理工学部			0	46	37	12	23	1								119							0			0	119	
生物資源科学部			0	33	39	2	19									93							0			0	93	
教育学研究科			0	9	3											12							0			0	12	
法務研究科			0	4	1											5	1						1			0	6	
自然科学系事務部			0													0	1						1			0	1	
自然科学系第一課			0													0	14	3					17			0	17	
自然科学系第二課			0													0	15	12					27			0	27	
地域未来協創本部			0	3	1	1										5							0			0	5	
教育推進センター	教育推進センター			0	1	3	2									6							0			0	6	
	アドミッションセンター			0	1	2										3							0			0	3	
	キャリアセンター			0		1	1									2							0			0	2	
	保健管理センター			0	2	1										3							0		3	3	6	
	学生支援センター			0												0							0			0	0	
障がい学生支援室			0	1											1							0			0	1		
研究学術情報機構	戦略的研究推進センター			0				4								4							0			0	4	
	エスチュアリー研究センター			0	2	2	1	2								7							0			0	7	
	総合科学研究支援センター			0	2	2		5	1							10							0			0	10	
	総合情報処理センター			0			2									2							0			0	2	
	地域包括ケア教育研究センター			0			1	2								3							0			0	3	
グローバル化推進機構	ミュージアム			0	1											1							0			0	1	
	国際交流センター			0	1											1							0			0	1	
	外国語教育センター			0	4	7	1									12							0			0	12	
島根大学・寧夏大学国際共同研究所			0												0							0			0	0		
附属図書館			0												0							0			0	0		
大学戦略企画室			0												0							0			0	0		
評価室			0												0							0			0	0		
研究推進室			0				1								1							0			0	1		
広報戦略室			0												0							0			0	0		
男女共同参画推進室			0												0							0			0	0		
ハラスメント対策室			0												0							0			0	0		
インスティテューショナル・リサーチ室			0												0							0			0	0		
山陰法実務教育研究センター			0												0							0			0	0		
こころとそだちの相談センター			0												0							0			0	0		
合計	1	6	2	9	232	202	84	213	5	1	3	2	4	45	3	794	301	96	13	9	1	1	421	169	724	893	2,117	

(注)1.理事及び監事には、非常勤の理事及び監事各1名を含む。2.病院診療職員は含まない。3.外国人研究員は含まない。4.教育学部の一般職員は、教育学部・人間科学部事務部所属とする。

学部・大学院

■学部

学 部	学科・課程	講 座 等
法文学部	法経学科	法学コース、経済学コース、司法特別コース
	社会文化学科	現代社会コース、歴史と考古コース
	言語文化学科	日本語文化研究室、中国言語文化研究室、英米言語文化研究室、ドイツ言語文化研究室、フランス言語文化研究室、哲学・芸術・文化交流研究室
教育学部	学校教育課程	初等教育開発、言語文化教育、共生社会教育、数理基礎教育、自然環境教育、健康・スポーツ教育、芸術表現教育
人間科学部	人間科学科	心理学コース、福祉社会コース、身体活動・健康科学コース
医学部	医学科	基礎医学系 解剖学、生理学、生化学、生命科学 臨床基礎医学系 薬理学、病理学、微生物学、免疫学 社会医学系 法医学、環境保健医学、医療情報学、医学英語教育学 臨床医学系 内科学、皮膚科学、小児科学、外科学、整形外科、脳神経外科学、泌尿器科学、精神医学、産科婦人科学、耳鼻咽喉科学、眼科学、放射線医学、麻酔科学、緩和ケア、歯科口腔外科学、臨床検査医学、救急医学、Acute Care Surgery、リハビリテーション医学、地域医療教育学、地域医療支援学、総合医療学、地域医療政策学
	看護学科	基礎看護学、臨床看護学、地域・老年看護学
総合理工学部	物理・マテリアル工学科	基礎物理学コース、マテリアル工学コース、電子デバイス工学コース
	物質化学科	基礎化学コース、環境化学コース、機能材料化学コース
	地球科学科	地球物質資源科学コース、地球環境科学コース、自然災害科学コース
	数理科学科	数理基幹コース、数理展開コース
	知能情報デザイン学科	情報システムデザインコース、データサイエンスコース
	機械・電気電子工学科	機械工学コース、電気電子工学コース
建築デザイン学科	建築構造・住環境コース、建築計画デザインコース	
生物資源科学部	生命科学科	細胞生物学コース、水圏・多様性生物学コース、生命機能化学コース、食生命科学コース
	農林生産学科	資源作物・畜産学コース、園芸植物学コース、農業経済学コース、森林学コース
	環境共生科学科	環境生物学コース、生態環境学コース、環境動態学コース、地域工学コース

■大学院

研 究 科	専 攻	講 座 等
人文社会科学研究科 修士課程	法経専攻	法政コース、地域経済コース
	言語・社会文化専攻	言語文化コース、社会文化コース
教育学研究科 専門職学位課程	教育実践開発専攻	
教育学研究科 修士課程	臨床心理専攻	
医学系研究科 博士課程	医科学専攻	研究者育成コース、高度臨床医育成コース、がん専門医療人育成コース、地域医療・地域包括ケア指導者育成コース
医学系研究科 修士課程	医科学専攻	総合医科学コース、がん専門薬剤師養成コース、地域医療支援コーディネータ養成コース、医療シミュレータ教育指導者養成コース、地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点)
医学系研究科 博士後期課程	看護学専攻	
医学系研究科 博士前期課程	看護学専攻	看護援助学コース、看護管理学コース、地域・在宅看護学コース、母子看護学コース、成人(急性・慢性)看護学コース、高齢者看護学コース、老人看護 CNS コース
総合理工学研究科 博士後期課程	総合理工学専攻	理工学際創成コース、数理・物質創成科学コース、地球科学・地球環境コース、機械電子情報工学コース
自然科学研究科 博士前期課程	理工学専攻	数理科学コース、知能情報デザイン学コース、物理・マテリアル工学コース、機械・電気電子工学コース
	環境システム科学専攻	地球科学コース、環境共生科学コース、物質化学コース、建築デザイン学コース
	農生命科学専攻	生命科学コース、農林生産学コース
法務研究科 専門職学位課程	法曹養成専攻	

附属図書館

蔵書数

2018.3.31現在

閲覧座席

2018.3.31現在

区分	図書(冊)			雑誌(種)		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計
本館	673,379	156,718	830,097	8,686	2,919	11,605
医学図書館	72,395	66,191	138,586	1,840	1,731	3,571

区分	座席数
本館	560
医学図書館	264

利用状況

(2017.4.1～2018.3.31)

区分	入館者数	貸出冊数	図書の貸借		文献複写	
			貸出	借受	受付	依頼
本館	318,146	65,896	568	419	784	1,638
医学図書館	135,416	15,763	28	2	975	727

学術情報検索サービス(全学及び附属図書館整備分)

2018.3.31現在

主要電子ジャーナル	タイトル数
Elsevier ScienceDirect	2,300
SpringerLink	1,600
Wiley Online Library	1,450
Oxford Online Package	300
JSTOR	150
Cell	1
Nature	1
PNAS	1
Science	1

ネットワーク対応データベース	
Web of Science	日経テレコン21
JCR: Journal Citation Reports	聞蔵IIビジュアル
Summon(Discovery Service)	ヨミダス歴史館
CINAHL	化学書資料館
Westlaw Japan	ルーラル電子図書館
ジャパンナレッジLib	和歌ライブラリー
医学中央雑誌Web版	

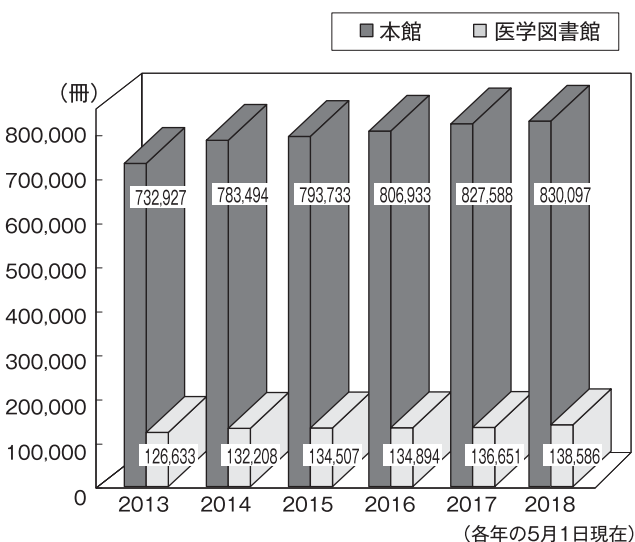
開館時間等

区分	開館時間		休館日
	月曜～金曜	土曜・日曜・祝日	
本館	8:30～21:30 (休業期は9:00～17:00)	10:00～17:30 (休業期は休館)	休業期の土曜・日曜・祝日、年末年始 夏季一斉休業期間(8月13日～15日)
医学図書館	9:00～20:00 (8月、3月は9:00～17:00)	10:00～16:00 (8月、3月は休館)	8月、3月の土曜・日曜・祝日、年末年始 夏季一斉休業期間(8月13日～15日)

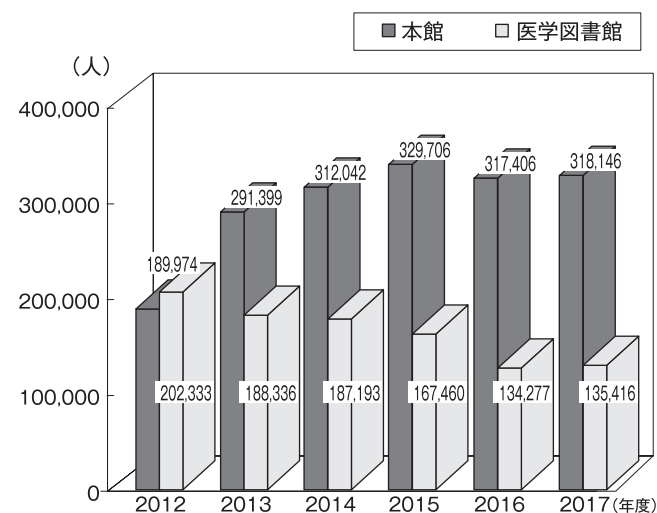
※臨時休館等はホームページでご確認ください。

蔵書数・利用状況の推移

●蔵書数(図書)



●利用状況(入館者数)



※本館では2012年度耐震改修工事のため入館者数が減少
※本館では2013年度から入館者数のカウント方式を変更

附属病院

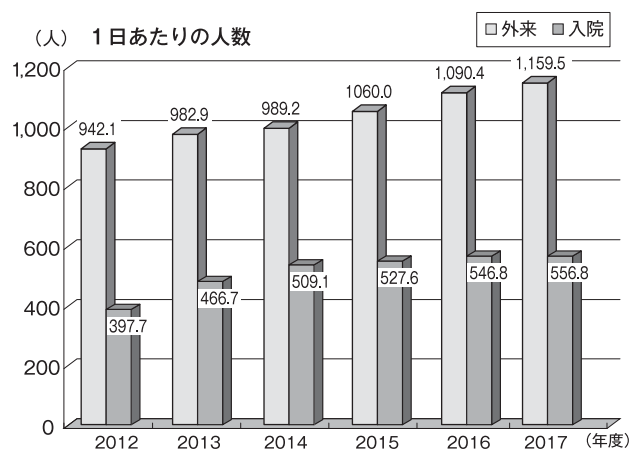
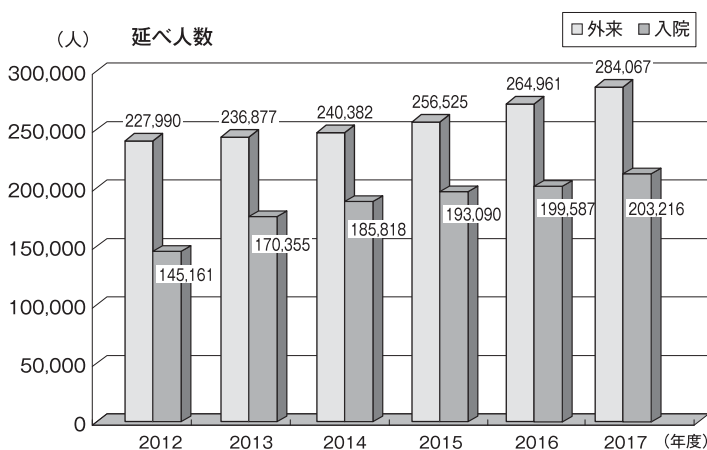
■附属病院患者数

(2017.4.1~2018.3.31)

診療科名等	外来患者数		入院患者数	
	延数	1日平均数	延数	1日平均数
内分泌代謝内科	17,818	72.7	4,451	12.2
腫瘍・血液内科	7,297	29.8	15,284	41.9
消化器内科	13,620	55.6	12,099	33.1
肝臓内科	7,207	29.4	2,765	7.6
神経内科	7,473	30.5	11,269	30.9
膠原病内科	8,022	32.7	2,261	6.2
呼吸器・化学療法内科	8,591	35.1	10,772	29.5
腎臓内科	5,282	21.6	2,140	5.9
循環器内科	9,034	36.9	8,980	24.6
皮膚科	14,581	59.5	3,637	10.0
形成外科	1,391	5.7	1,143	3.1
小児科	11,421	46.6	10,946	30.0
消化器外科	5,898	24.1	11,094	30.4
肝・胆・膵外科	2,087	8.5	5,129	14.1
小児外科	1,623	6.6	1,223	3.4
乳腺・内分泌外科	5,553	22.7	1,328	3.6
心臓血管外科	2,056	8.4	5,183	14.2
呼吸器外科	2,062	8.4	3,860	10.6
整形外科	17,201	70.2	18,909	51.8
脳神経外科	4,201	17.1	8,413	23.0
泌尿器科	17,479	71.3	9,803	26.9
精神科神経科	16,155	65.9	8,790	24.1
産科	7,084	28.9	6,583	18.0
婦人科	14,529	59.3	7,358	20.2
耳鼻咽喉科	7,676	31.3	7,429	20.4
眼科	24,649	100.6	7,108	19.5
放射線科	1,203	4.9	173	0.5
放射線治療科	6,406	26.1	66	0.2
麻酔科	6,074	24.8	2,177	6.0
救急科	6,674	27.2	1,095	3.0
高度外傷センター	2,407	9.8	7,398	20.3
臨床検査科	284	1.2	—	0.0
病理診断科	—	0.0	—	0.0
リハビリテーション科	7,918	32.3	30	0.1
総合診療科	1,278	5.2	—	0.0
歯科口腔外科	11,333	46.3	4,287	11.7
顎顔面インプラントセンター	500	2.0	33	0.1
ICU			(3,467)	(9.5)
NICU			(1,869)	(5.1)
救命救急センター病棟			(2,956)	(16.2)
HCU			(2,524)	(13.9)
合計	284,067	1,159.5	203,216	556.8

※ICU、NICU、救命救急センター病棟・HCUの患者数については、再掲で表示しております。

●患者数の推移



学生数

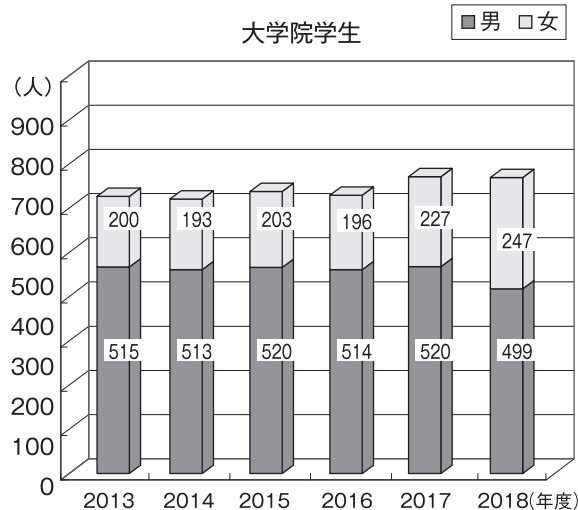
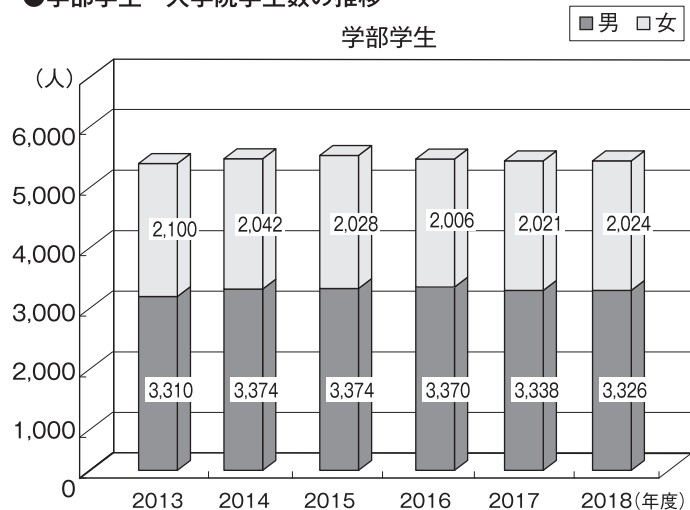
学部

2018.5.1 現在

区 分	入学定員	収容定員	現 員			
			男	女	計	
法文学部	法経学科	80	340	253(3)	122(3)	375(6)
	社会文化学科	50	240	120	148(2)	268(2)
	言語文化学科	55	240	78(2)	201(6)	279(8)
	計	185【10】	840	451(5)	471(11)	922(16)
教育学部	学校教育課程	130	600	333	313	646
	計	130	600	333	313	646
人間科学部	人間科学科	80	160	53	114	167
	計	80	160	53	114	167
医学部	医学科	102	612	397	281	678
	看護学科	60	240	17	238	255
	計	162【20】	912	414	519	933
総合理工学部	物理・マテリアル工学科	73	73	68	8	76
	物質化学科	73	73	53	19(1)	72(1)
	地球科学科	50	50	40	10	50
	数理科学科	50	50	45	6	51
	知能情報デザイン学科	50	50	43(1)	5(1)	48(2)
	機械・電気電子工学科	64	304	335(6)	8	343(6)
	建築デザイン学科	40	40	26	14	40
	物質科学科	—	390	360(4)	68(1)	428(5)
	地球資源環境学科	—	150	126	33	159
	数理・情報システム学科	—	300	288(2)	51	339(2)
	建築・生産設計工学科	—	120	111(1)	37(2)	148(3)
	計	400【12】	1,624	1,495(14)	259(5)	1,754(19)
生物資源科学部	生命科学科	70	70	38	36(1)	74(1)
	農林生産学科	60	315	230(5)	123	353(5)
	環境共生科学科	70	70	53(1)	20	73(1)
	生物科学科	—	90	49(2)	45(1)	94(3)
	生命工学科	—	120	71	56(2)	127(2)
	地域環境科学科	—	135	108	46(2)	154(2)
	生態環境科学科	—	—	2	—	2
	地域開発科学科	—	—	2	—	2
計	200【20】	840	553(8)	326(6)	879(14)	
合 計	1,157【62】	4,976	3,299(27)	2,002(22)	5,301(49)	

注) 1. 入学定員欄の【 】は、第3年次編入学定員で外数 2. 現員欄の()は外国人留学生で外数

●学部学生・大学院学生数の推移



■大学院

2018.5.1現在

区 分	入学 定員	収容 定員	現 員									大学院計			
			修士課程、博士前期課程			医学博士課程、博士後期課程			専門職学位課程			男	女	計	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計				
人文社会科学 研究科	法経専攻	6	12	3 (1)	4 (3)	7 (4)							3 (1)	4 (3)	7 (4)
	言語・社会文化専攻	6	12	4 (2)	10 (3)	14 (5)							4 (2)	10 (3)	14 (5)
	計	12	24	7 (3)	14 (6)	21 (9)							7 (3)	14 (6)	21 (9)
法務研究科	法曹養成専攻	-	-							1	1		1		1
	計	0	0							1	1		1		1
教育学研究科	臨床心理専攻	8	16	4	15	19							4	15	19
	計	8	16	4	15	19							4	15	19
教育学研究科 (教職大学院)	教育実践開発専攻	17	34							17	14	31	17	14	31
	計	17	34							17	14	31	17	14	31
医学系研究科	医科学専攻(修士課程)	15	30	19 (1)	14 (5)	33 (6)							19 (1)	14 (5)	33 (6)
	看護学専攻(修士課程)	-	-	1	1	2							1	1	2
	看護学専攻(博士前期課程)	12	24	1	29	30							1	29	30
	医科学専攻(博士課程)	30	120				90 (18)	50 (13)	140 (31)				90 (18)	50 (13)	140 (31)
	看護学専攻(博士後期課程)	2	6					7	7					7	7
	計	59	180	21 (1)	44 (5)	65 (6)	90 (18)	57 (13)	147 (31)				111 (19)	101 (18)	212 (37)
総合理工学 研究科	総合理工学専攻(博士前期課程)		124	118 (10)	15 (3)	133 (13)							118 (10)	15 (3)	133 (13)
	計	0	124	118 (10)	15 (3)	133 (13)							118 (10)	15 (3)	133 (13)
	総合理工学専攻(博士後期課程)	12	36				17 (8)	6 (5)	23 (13)				17 (8)	6 (5)	23 (13)
	計	12	36				17 (8)	6 (5)	23 (13)				17 (8)	6 (5)	23 (13)
生物資源 科学研究科	生物生命科学専攻		20	12 (4)	6 (1)	18 (5)							12 (4)	6 (1)	18 (5)
	農林生産科学専攻		22	6 (3)	6	12 (3)							6 (3)	6	12 (3)
	環境資源科学専攻		18	6 (5)	4 (2)	10 (7)							6 (5)	4 (2)	10 (7)
	計	0	60	24 (12)	16 (3)	40 (15)							24 (12)	16 (3)	40 (15)
自然 科学研究科	理工学専攻	79	79	79 (1)	4 (1)	83 (2)							79 (1)	4 (1)	83 (2)
	環境システム科学専攻	78	78	50 (5)	14 (3)	64 (8)							50 (5)	14 (3)	64 (8)
	農生命科学専攻	43	43	12 (1)	7 (2)	19 (3)							12 (1)	7 (2)	19 (3)
	計	200	200	141 (7)	25 (6)	166 (13)							141 (7)	25 (6)	166 (13)
合 計	308	674	315 (33)	129 (23)	444 (56)	107 (26)	63 (18)	170 (44)	18	14	32	440 (59)	206 (41)	646 (100)	

注)現員欄の()は外国人留学生で外数

附属学校児童・生徒・幼児数

■附属幼稚園

区 分	男	女	計	
2年課程	4才児	8	17	25
	5才児	14	16	30
合 計	22	33	55	

■附属中学校

区 分	男	女	計
1学年	68	70	138
2学年	70	70	140
3学年	69	70	139
合 計	207	210	417

■附属小学校

2018.5.1現在

区 分	男	女	計
1学年	23	37	60
2学年	32	28	60
3学年	29	31	60
4学年	29	28	57
5学年	30	30	60
6学年	31	26	57
合 計	174	180	354

入試実施状況(2018 年度入学)

■学部

学部	学科・課程・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	入学者内訳 (%)		
							県内	県外	
法文学部	法経学科	80	508	324	98	85	28.4%	71.6%	
	社会文化学科	50	369	224	60	55			
	言語文化学科	55	307	208	71	61			
	計	185	1,184	756	229	201	-	-	
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	130	322	183	116	111	41.6%	58.4%	
	学校教育課程Ⅱ類		健康・スポーツ教育専攻	33	32	12			10
			音楽教育専攻	20	20	11			11
			美術教育専攻	10	8	5			5
	計		130	385	243	144			137
人間科学部	人間科学科	80	363	241	92	85	22.4%	77.6%	
	計	80	363	241	92	85	-	-	
医学部	医学科	102	529	486	103	102	33.9%	66.1%	
	看護学科	60	218	116	64	63			
	計	162	747	602	167	165	-	-	
総合理工学部	物理・マテリアル工学科	73	499	278	81	76	19.6%	80.4%	
	物質化学科	73	290	201	81	73			
	地球科学科	50	187	137	61	50			
	数理科学科	50	199	138	55	51			
	知能情報デザイン学科	50	161	110	57	50			
	機械・電気電子工学科	64	411	232	76	64			
	建築デザイン学科	40	177	167	49	40			
	計	400	1,924	1,263	460	404			-
生物資源科学部	生命科学科	70	515	304	89	75	11.4%	88.6%	
	農林生産学科	60	151	114	70	62			
	環境共生科学科	70	194	126	79	74			
	計	200	860	544	238	211			-
合計		1,157	5,463	3,649	1,330	1,203	24.3%	75.7%	

注1. 3年次編入学は含まない。2. 合格者には追加合格者を含む。

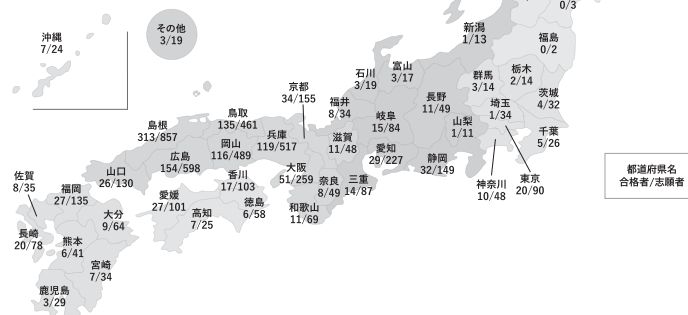
■私費外国人留学生入試

学部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	若干名	11	11	5	2
	社会文化学科	若干名	10	10	1	1
	言語文化学科	若干名	8	8	5	3
	計	-	29	29	11	6
総合理工学部	物理・マテリアル工学科	若干名	1	1	0	0
	物質化学科	若干名	5	5	4	1
	地球科学科	若干名	0	0	0	0
	数理科学科	若干名	0	0	0	0
	知能情報デザイン学科	若干名	3	3	3	2
	機械・電気電子工学科	若干名	5	5	2	2
	建築デザイン学科	若干名	3	3	1	0
	計	-	17	17	10	5
生物資源科学部	生命科学科	若干名	15	15	4	1
	農林生産学科	若干名	7	7	2	0
	環境共生科学科	若干名	9	9	3	1
	計	-	31	31	9	2
私費外国人留学生入試合計	-	77	77	30	13	

■私費外国人留学生特別コース入試

学部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
総合理工学部	物理・マテリアル工学科	若干名	0	0	0	0
	物質化学科	若干名	0	0	0	0
	地球科学科	若干名	0	0	0	0
	数理科学科	若干名	0	0	0	0
	知能情報デザイン学科	若干名	0	0	0	0
	機械・電気電子工学科	若干名	1	1	1	0
建築デザイン学科	若干名	0	0	0	0	
私費外国人留学生特別コース入試合計	-	-	1	1	1	0

■都道府県別志願者・合格者



■内 訳

(1) 一般入試

学部	学 科 専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者	
法文学部	法経学科	前	45	153	145	55	0	73	
		後	25	322	146	28			
	社会文化学科	前	27	69	65	32	0	46	
		後	14	267	126	19			
	言語文化学科	前	32	100	98	38	0	49	
		後	15	164	67	19			
計			158	1,075	647	191	0	168	
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	前	60	83	73	62	0	71	
		後	10	178	49	14			
	学校教育 課程Ⅱ類	健康・スポーツ教育専攻	前	7	24	23	9	0	7
		音楽教育専攻	前	5	8	8	6	0	6
		美術教育専攻	前	3	6	4	3	0	3
		計		85	299	157	94	0	87
人間科学部	人間科学科	前	45	140	130	60	0	66	
		後	10	181	69	13			
計			55	321	199	73	0	66	
医学部	医学科	前	62	376	334	62	1	62	
	看護学科	前	32	68	57	35	0	46	
		後	10	110	21	12			
計			104	554	412	109	1	108	
総合理工学部	物理・マテリアル工学科	前	40	99	91	47	0	62	
		後	19	378	165	20			
	物質化学科	前	52	130	123	56	0	63	
		後	12	131	49	12			
	地球科学科	前	28	99	96	31	3	39	
		後	10	74	27	16			
	数理科学科	前	30	92	86	36	0	42	
		後	10	85	30	10			
	知能情報デザイン学科	前	25	36	34	25	2	31	
		後	10	85	36	10			
	機械・電気電子工学科	前	33	82	78	37	1	43	
		後	12	279	104	16			
	建築デザイン学科	前	25	96	86	33	1	34	
		後	8	48	48	8			
計			314	1,714	1,053	357	7	314	
生物資源科学部	生命科学科	前	46	149	135	50	0	60	
		後	10	328	131	20			
	農林生産学科	前	38	65	57	42	0	45	
		後	7	43	14	9			
環境共生科学科	前	43	83	78	48	0	59		
	後	13	84	21	14				
計			157	752	436	183	0	164	
合計	前	678	1,958	1,801	767	8	907		
	後	195	2,757	1,103	240				
一般入試合計			873	4,715	2,904	1,007	8	907	

注1. 「前」…前期日程 「後」…後期日程

(2) 専門高校・総合学科卒業生入試

学部	学 科 専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者
医学部	看護学科	—	3以内	6	4	2	—	2
専門高校・総合学科卒業生入試合計			3以内	6	4	2	—	2

(3) 推薦入試

学部	学 科 専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	推Ⅰ	8	17	17	8	8
	社会文化学科	推Ⅰ	7	18	18	7	7
	言語文化学科	推Ⅰ	7	28	28	7	7
	全学科(地域貢献型)	推Ⅰ	5	17	17	5	5
計			27	80	80	27	27
教育学部	学校教育課程Ⅰ類						
	自然環境教育専攻	推Ⅰ	3	4	4	3	3
	学校教育 課程Ⅱ類						
	健康・スポーツ教育専攻	推Ⅰ	3	9	9	3	3
	音楽教育専攻	推Ⅰ	5	12	12	5	5
美術教育専攻	推Ⅰ	2	4	4	2	2	
計			13	29	29	13	13
医学部	医学科	推Ⅱ	25以内	120	119	25	25
		地推	10以内	20	20	10	10
	看護学科	緊推	5以内	13	13	5	5
計			55	187	186	55	55
総合理工学部	物理・マテリアル工学科	推Ⅰ	6	10	10	7	7
		推Ⅱ	7	11	11	7	7
	物質化学科	推Ⅰ	4	12	12	5	5
		推Ⅱ	4	12	12	4	4
	地球科学科	推Ⅰ	7	6	6	6	6
	数理科学科	推Ⅰ	9	22	22	9	9
	知能情報デザイン学科	推Ⅰ	8	28	28	11	11
		推Ⅱ	6	9	9	6	6
	機械・電気電子工学科	推Ⅰ	11	24	24	12	12
		推Ⅱ	7	20	20	7	7
建築デザイン学科	推Ⅰ	6	30	30	6	6	
計			75	184	184	80	80
生物資源科学部	生命科学科	推Ⅰ	12	20	20	13	13
	農林生産学科	推Ⅰ	13	31	31	13	13
	環境共生科学科	推Ⅰ	12	17	17	13	13
	計			37	68	68	39
合計	推Ⅰ	128	309	309	135	135	
	推Ⅱ	64	206	205	64	64	
	地推	10	20	20	10	10	
	緊推	5	13	13	5	5	
推薦入試合計			207	548	547	214	214

注1. 「推Ⅰ」…推薦入試Ⅰ(センター試験を課さない) 「推Ⅱ」…推薦入試Ⅱ(センター試験を課す)
「地推」…地域枠推薦入試 「緊推」…緊急医師確保対策枠推薦入試

入試実施状況(2018年度入学)

(4) アドミッション・オフィス(AO)入試

学部	学科・課程・専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	AOⅡ	32	57	57	37	37
		計	32	57	57	37	37
人間科学部	人間科学科 (一般型) (地域貢献型)	AOⅡ	20	39	39	18	18
		計	25	42	42	19	19
総合理工学部	地球科学科 理工特別コース	AOⅠ	5	8	8	5	5
		計	11	9	9	5	5
生物資源科学部	全学科	AOⅠ	6	8	8	6	6
		計	6	8	8	6	6
合 計		AOⅠ	11	16	16	11	11
		AOⅡ	63	100	100	56	56
		AO入試合計	74	116	116	67	67

注1. [AOⅠ] …AO入試Ⅰ(センター試験を課さない) [AOⅡ] …AO入試Ⅱ(センター試験を課す)

(5) 社会人入試

学部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	若干名	0	0	0	0
	社会文化学科	若干名	0	0	0	0
	言語文化学科	若干名	0	0	0	0
社会人入試合計		—	0	0	0	0

(6) 帰国生入試

学部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	若干名	0	0	0	0
	社会文化学科	若干名	0	0	0	0
	言語文化学科	若干名	0	0	0	0
	計	—	0	0	0	0
生物資源科学部	生命科学科	若干名	1	1	1	0
	農林生産学科	若干名	0	0	0	0
	環境共生科学科	若干名	0	0	0	0
	計	—	1	1	1	0
帰国生入試合計		—	1	1	1	0

■ 3年次編入学入試

学部	学科・課程・専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法文学部	法経学科 社会文化学科 言語文化学科	一般	10	21	19	4	2	
		一般		9	9	4	3	
		一般		9	8	6	6	
	計		10	39	36	14	11	
医学部	医学科(学士入学) 看護学科	一般	10	160	148	12	10	
		一般	10	8	8	0	0	
計		20	168	156	12	10		
総合理工学部	物質科学科	物理系	推薦	12	0	0	0	0
			一般		0	0	0	0
		化学系	推薦		1	1	1	1
			一般		1	1	1	1
	地球資源環境学科	一般	1		1	1	0	
	数理・情報システム学科	数理系	一般		3	3	1	1
			推薦		2	2	1	1
	機械・電気電子工学科 建築・生産設計工学科	情報系	一般		4	4	2	2
			推薦		9	9	6	3
		推薦	1		1	1	1	
一般			6	6	5	5		
計		12	28	28	19	15		
生物資源科学部	生物科学科	推薦	20	2	2	1	1	
		一般		5	4	0	0	
	生命工学科	推薦		1	1	0	0	
		一般		5	5	4	3	
	農林生産学科	推薦		14	14	10	10	
		一般		10	10	6	4	
	地域環境科学科	推薦		1	1	1	1	
		一般		6	6	5	5	
計		20	44	43	27	24		
3年次編入学合計			62	279	263	72	60	

注. 医学部医学科の受験者数は第1次選抜不合格者数を除く数である。

■大学院

研究科	専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	平成30年4月入学者	
人文社会科学部 科学研究科 (修士課程)	法経専攻	6	6	6	5	5	5	
	言語・社会文化専攻	6	10	10	8	7	7	
	計	12	16	16	13	12	12	
教育学研究科 (専門職学位課程)	教育実践開発専攻	17	16	15	15	15	15	
	計	17	16	15	15	15	15	
(修士課程)	臨床心理専攻	8	25	25	10	9	9	
	計	8	25	25	10	9	9	
医学系研究科 (修士課程)	医科学専攻	15	19	19	19	19	19	
	計	15	19	19	19	19	19	
(博士前期課程)	看護学専攻	12	12	12	12	12	12	
	計	12	12	12	12	12	12	
(博士後期課程)	看護学専攻	2	2	2	2	2	2	
	計	2	2	2	2	2	2	
(博士課程)	医科学専攻	30	34	33	31	30	30	
	計	30	34	33	31	30	30	
総合理工学研究科 (博士前期課程)	総合理工学専攻	理工・医連携コース	(6)	0	0	0	0	/
		物理・材料科学コース	(17)	19	18	18	17	
		物質化学コース	(22)	25	22	22	20	
		地球資源環境学コース	(16)	16	16	16	15	
		数理学コース	(13)	25	25	25	23	
		情報システム学コース	(11)	12	12	12	11	
		機械・電気電子工学コース	(29)	38	35	35	29	
		建築・生産設計工学コース	(10)	13	10	9	7	
計	(124)	148	138	137	122			
(博士後期課程)	総合理工学専攻	理工学際創成コース	12	0	0	0	0	0
		数理・物質創成科学コース	12	6	6	6	5	5
		地球科学・地球環境コース	12	4	4	4	3	3
		機械電子情報工学コース	12	0	0	0	0	0
		計	12	10	10	10	8	8
生物資源科学 研究科 (修士課程)	生物生命科学専攻	(20)	16	16	15	14	/	
	農林生産科学専攻	(22)	7	7	7	3		
	環境資源科学専攻	(18)	9	8	8	6		
計	(60)	32	31	30	23			
自然科学研究科 (博士前期課程)	理工学専攻	数理学コース	79	6	6	6	6	85
		知能情報デザイン学コース	16	2	2	2	2	25
		物理・マテリアル工学コース	15	1	1	1	1	12
		物理・電気電子工学コース	26	3	3	3	3	24
		機械・電気電子工学コース	22	0	0	0	0	24
	環境システム科学専攻	地球科学コース	78	25	24	23	22	72
		環境共生科学コース	17	4	3	3	2	17
		物質化学コース	23	14	14	14	14	21
		建築デザイン学コース	25	3	3	2	2	23
		建築デザイン学コース	13	4	4	4	4	11
	農生命科学専攻	生命科学コース	43	6	6	6	6	22
		農林生産学コース	24	2	2	2	2	16
		農林生産学コース	19	4	4	4	4	6
		計	200	37	36	35	34	179
		合計		308	351	337	314	286

注1. ダブル・ディグリープログラム(双方向学位制度)に基づく選抜を含む。

注2. 自然科学研究科については、設置許可前は改組前の総合理工学研究科、生物資源科学研究科で入試を実施し、設置許可後から自然科学研究科で入試を実施しており、募集人員は改組前の募集人員を含んでいない。

■2019年度入試日程(予定)

区分		募集要項発表	出願期間	試験実施日	合格発表
一般入試	前期日程	全学部	11月下旬	2/25	3/8
	後期日程	全学部		3/12	3/22
専門高校・総合学科卒業生入試	医学部看護学科		1/28~2/6	2/25-26	3/8
推薦入試I	法文学部、教育学部、総合理工学部、生物資源科学部	7月下旬	11/1~11/7	11/24	12/4
推薦入試II	医学部	7月下旬		12/8	2/13
地域枠推薦入試	総合理工学部	7月下旬	1/21~1/25	2/8	
緊急医師確保対策枠推薦入試	医学部医学科	4月上旬 公表済み	11/1~11/7	12/8-9	
社会人入試	法文学部	7月下旬	11/1~11/7	11/24	12/4
帰国生入試	法文学部、生物資源科学部				
私費外国人留学生入試	法文学部、総合理工学部、生物資源科学部	7月下旬	12/3~12/7	書類選考	1/18
バイリンガル教育コース入試	総合理工学部	7月下旬			
AO入試I	総合理工学部地球科学科、生物資源科学部	7月下旬	9/10~9/14	10/13	10/23
AO入試II	教育学部学校教育課程I類	7月下旬	10/5~10/12	11/24	2/13
	人間科学部一般型				
	人間科学部地域貢献型			11/24-25	

注1. 医学部一般入試前期日程は2/26まで。

卒業生数・修了者数

学部

2018.3.31 現在

区	分	2017年度卒業生	累計
法文学部	法経学科	94	953
	社会文化学科	73	791
	言語文化学科	69	1,384
	法学科	—	3,988
	社会システム学科	—	762
	文学科	—	1,586
	計	236	9,464
教育学部	学校教育課程	165	1,821
	学校教育教員養成課程	—	1,093
	生涯学習課程	—	527
	生活環境福祉課程	—	174
	小学校教員養成課程	—	4,790
	中学校教員養成課程	—	2,546
	養護学校教員養成課程	—	570
	幼稚園教員養成課程	—	574
	特別教科(音楽)校教員養成課程	—	1,152
	特別教科(保健体育)校教員養成課程	—	856
	社会教育文化課程	—	398
計	165	14,501	
医学部	医学科	113	3,575
	看護学科	55	1,053
	計	168	4,628
総合理工学部	物質科学科	128	2,256
	地球資源環境学科	48	823
	数理・情報システム学科	104	1,706
	電子制御システム工学科	3	1,167
	材料プロセス工学科	—	693
	機械・電気電子工学科	80	205
	建築・生産設計工学科	37	120
	計	400	6,970
生物資源科学部	生物科学科	34	569
	生命工学科	42	779
	地域開発科学科	1	900
	農林生産学科	95	276
	地域環境科学科	44	134
	生態環境科学科	—	814
	農業生産学科	—	535
計	216	4,007	
文理学部		—	3,950
理学部		—	3,510
農学部		—	5,141
合	計	1,185	52,171

専攻科他

区	分	2017年度修了者	累計
文学専攻科		—	18
理学専攻科		—	45
教育専攻科		—	232
農学専攻科		—	11
合	計	—	306
教育学部 教員養成2年課程		—	1,106

■大学院

2018.3.31現在

区	分	2017年度修了者 (単位取得退学含む)	
		2017年度	累計
人文社会科学研究科	法経専攻	9	66
	言語・社会文化専攻	4	80
	法学専攻	—	56
	社会システム専攻	—	43
	言語文化専攻	—	32
	計	13	277
教育学研究科	臨床心理専攻	9	9
	教育内容開発専攻	3	139
	教育実践開発専攻	—	127
	学校教育専攻	—	187
	教科教育専攻	—	412
	計	12	874
教育学研究科(教職)	教育実践開発専攻	22	22
	計	22	22
医学系研究科 (博士課程)	医科学専攻	32	168
	形態系専攻	—	163
	機能系専攻	—	180
	生態系専攻	—	56
	計	32	567
医学系研究科 (修士課程)	医科学専攻	9	136
	看護学専攻	4	130
	計	13	266
医学系研究科 (博士前期課程)	看護学専攻	6	6
	計	6	6
総合理工学研究科 (博士後期課程)	総合理工学専攻	14	25
	マテリアル創成工学専攻	—	83
	電子機能システム工学専攻	—	41
	計	14	149
総合理工学研究科 (博士前期課程)	総合理工学専攻	100	554
	物質科学専攻	—	465
	地球資源環境学専攻	—	184
	数理・情報システム学専攻	—	275
	電子制御システム工学専攻	—	341
	材料プロセス工学専攻	—	133
	計	100	1,952
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	23	188
	農林生産科学専攻	19	111
	環境資源科学専攻	19	135
	生物科学専攻	—	71
	生態環境科学専攻	—	133
	生命工学専攻	—	110
	農業生産学専攻	—	66
	地域開発科学専攻	—	69
	計	61	883
法務研究科	法曹養成専攻	—	127
	計	0	127
理学研究科		—	616
農学研究科		—	739
法学研究科		—	80
合	計	273	6,558

■博士の学位授与者数

2018.3.31現在

区	分	課程博士		論文博士	
		2017年度	累計	2017年度	累計
医学系研究科		18	496	3	328
総合理工学研究科		8	128	1	14

卒業・修了後の状況(2017年度)

学部

2018.5.1 現在

区 分		法文学部	教育学部	医学部	総合理工学部	生物資源科学部	計
卒業生		236	165	168	400	216	1,185
進学者		14	19	3	155	43	234
就 職 者	農業、林業					3	3
	漁業		1				1
	鉱業、採石業、砂利採取業						0
	建設業	5	1		22	5	33
	製造業	19	3		60	18	100
	電気・ガス・熱供給・水道業				6	2	8
	情報通信業	13	3		25	10	51
	運輸業、郵便業	8			2	4	14
	卸売業・小売業	28	4		12	36	80
	金融業・保険業	26	5		7	7	45
	不動産業、物品賃貸業	4			2	2	8
	学術研究、専門・技術サービス業	7	1		29	9	46
	宿泊業、飲食サービス業	9	1		3	5	18
	生活関連サービス業、娯楽業	3			2	3	8
	教育（学校教育）	8	96	5	9	5	123
	学習支援	3	6		1	1	11
	医療・福祉	12	1	47	1	2	63
	複合サービス業	1	1		2	8	12
	その他のサービス業	4	3		16	7	30
	公務（国家）	8			1	4	13
公務（地方）	38	9		22	30	99	
上記以外					1	1	
就職者計		196	135	52	222	162	767
臨床研修医				104			104
その他		26	11	9	23	11	80

※集計方法は学校基本調査に準ずる(9月卒業も含む)

※「進学者」は、「大学院研究科」、「大学学部」、「短期大学本科」、「専攻科」、「別科」への進学者である

※「その他」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である

大学院

2018.5.1 現在

区 分	人文社会科学研究科	教育学研究科		医学系研究科			総合理工学研究科		生物資源科学研究科	計	
		修士	専門職	修士	博士前期	博士一貫	博士前期	博士後期			
修了者	13	12	22	13	6	32	100	14	61	273	
進学者	1	0	0	2	0	0	5	0	9	17	
就 職 者	農業、林業			1						1	
	漁業									0	
	鉱業、採石業、砂利採取業									0	
	建設業			1			2		2	5	
	製造業	1				1	35	4	13	54	
	電気・ガス・熱供給・水道業						2			2	
	情報通信業						15	1	2	18	
	運輸業、郵便業									0	
	卸売業・小売業						1		4	5	
	金融業、保険業						1		1	2	
	不動産業、物品賃貸業									0	
	学術研究、専門・技術サービス業	1					3	2	4	10	
	宿泊業、飲食サービス業						13		1	14	
	生活関連サービス業、娯楽業									0	
	教育（学校教育）	1	3	22	2	1	8	4	3	2	46
	学習支援										0
	医療・福祉		1		6	5	22				34
	複合サービス業								1	1	
	その他のサービス業							6		1	7
	公務（国家）									3	3
公務（地方）	1	2					2		6	11	
上記以外	1					1	2	1	7	12	
就職者計		5	6	22	10	6	86	11	47	225	
その他		7	6	0	1	0	9	3	5	31	

※集計方法は学校基本調査に準ずる(9月卒業も含む)

※「進学者」は、「大学院研究科」、「大学学部」、「短期大学本科」、「専攻科」、「別科」への進学者である

※「就職者」には、「進学者のうち就職している者」を含まない

※「その他」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である

●卒業後の主な就職先・進学先

2018.5.1現在

区分	就職先・進学先
法文学部	<p>就職先 日本航空、楽天、NHK、サイバーエージェント、第一生命保険、山陰放送、京都市の友禅、近畿日本ツーリスト、国立病院機構中四国グループ、富士通、帝国ホテル、京都吉兆、山口フィナンシャル・グループ、愛媛銀行、鳥取銀行、国際経営、西日本フード、倉敷ケーブルテレビ、寿製菓、池田糖化工業、アラハタ、ソニーリージョナルセールス、タマノイ酢、チュールッピ、エディオン、ウチダレック</p> <p>千葉県公立学校、静岡県公立学校、京都府公立学校、香川県公立学校、岡山地方裁判所、鳥取地方法務局、徳島地方検察庁、広島県庁、岡山県警察、福岡県警察、名古屋市役所、栃木市役所、鳥取市役所、大山町職員</p> <p>【地元企業等】山陰合同銀行、山陰中央新報社、出雲村田製作所、東京海上日動火災保険山陰支店、日本銀行松江支店、島根銀行、しまね信用金庫、一畑電気鉄道、皆美グループ、一畑工務店山陰、一畑トラベルサービス、西川病院、キヌヤ、サクラサクセス、テクノプロジェクト、島根大学 島根県公立学校、松江地方裁判所、島根県庁、島根県警察、松江市役所、出雲市役所、安来市役所</p> <p>進学先 島根大学大学院、北海道大学大学院、名古屋大学大学院、京都大学大学院、九州大学大学院、広島大学大学院、岡山大学大学院、関西大学大学院、南山大学法科大学院</p>
教育学部	<p>就職先 【学校関係等】 (小学校)島根県、京都府、大阪府、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、鹿児島県 (中学校)島根県、愛知県、滋賀県、兵庫県、鳥取県、岡山県、広島県、長崎県 (高等学校)島根県、神奈川県、岐阜県 (特別支援)島根県、鳥取県、山口県、香川県、愛媛県、鹿児島県 (幼稚園・保育園)松江市公立幼稚園、出雲市公立幼稚園、安来市公立保育園、総社市公立幼稚園 (私立学校)大多和学園 【企業等】新教育総合研究会、イオンフィナンシャルサービス、大阪YMCA国際専門学校、イーウェル、住友不動産販売、ミサワホーム、ナフコ、鳥取県警察、京都市消防音楽隊</p> <p>【地元企業等】出雲村田製作所、山陰合同銀行、損保ジャパン日本興亜保険サービス島根支店、野村證券松江支店、山陰中央テレビジョン放送、サクラサクセス、島根大学、竹葉、島根トヨペット、JALしまね、島根県庁、松江市役所、安来市役所、江津市役所、知夫村役場</p> <p>進学先 島根大学大学院、島根大学教職大学院、筑波大学大学院、兵庫教育大学大学院、広島大学大学院、岡山大学大学院、岡山大学教職大学院、早稲田大学大学院</p>
医学部	<p>【医学科：臨床研修先】島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、松江市立病院、東葛病院、浜田医療センター、益田赤十字病院、倉敷中央病院、徳島大学附属病院、広島赤十字・原爆病院、沖縄県立中部病院 など</p> <p>【看護学科：就職先】島根大学医学部附属病院、松江赤十字病院、神戸大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、岡山大学病院、広島県公立学校(養護教諭)、島根県公立学校(養護教諭)、島根県(保健師)、松江市(保健師) など</p>
総合理工学部	<p>就職先 ヤフー、東京電力、大王製紙、リコージャパン、中国電力、メイテック、シャープ米子、ハウス食品、ホシザキ、ライト工業、ライフデザイン・カバヤ、応用地質、かんぼ生命保険、ケイス、デザインネットワーク、広島銀行、中電工、日立ビルシステム、北川鉄工所、林原、四電工、神戸新聞事業社、JA広島、三菱製鋼、三菱電機ビルテクノサービス、山陰酸素工業、JR西日本、積水ハウス、全国健康保健協会、全国大学生生活協同組合連合会、大和ハウス工業、中国精油、中電プラント、日本セラミック 愛知県公立学校、岡山県公立学校、大分県公立学校、岡山県庁、広島県警察、鳥取県警察、大阪市役所、神戸市役所、広島市役所、佐賀市役所</p> <p>【地元企業等】テクノプロジェクト、アースサポート、エクスウェア松江、島根電工、三菱マヒンドラ農機、松江第一精工、西日本高速道路エンジニアリング中国松江支店、セキスイハイム中四国、ヒラタ精機、グローバル出雲工場、守谷刃物研究所、出雲村田製作所、協和地建コンサルタント、山陰合同銀行、島根県公立学校、島根労働局、島根県庁、島根県警察、松江市役所</p> <p>進学先 島根大学大学院、東京大学大学院、東京工業大学大学院、東京学芸大学大学院、筑波大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、大阪市立大学大学院、京都大学大学院、京都府立大学大学院、岡山大学教職大学院、広島大学大学院、九州大学大学院</p>
生物資源科学部	<p>就職先 ロッテ、マイナビ、チロルチョコ、マザー牧場、テレビ静岡、ホクレン肥料、リボン食品、オアシス、イカリ消毒、共立製菓、JA横浜、JA三原、JA鳥取西部、イオンリテール、ソニーリージョナルセールス、デリカウイング、住友林業緑化、鳥取銀行、徳島銀行、日本総合科学、十八銀行、神戸教育研究所、日本アクセス、静環検査センター、マリンアース、やまぐち県酪乳業、百五銀行、休暇村蒜山高原、九電産業、三井造船環境エンジニアリング、JR西日本、日比谷総合設備、日本年金機構 埼玉県公立学校、広島県公立学校、香川県公立学校、中国地方整備局、北陸農政局、静岡県庁、栃木県庁、愛知県庁、福井県庁、京都府庁、滋賀県庁、兵庫県庁、岡山県庁、高知県庁、福岡県庁、佐賀県庁、長崎県庁、豊岡市役所、広島市役所、下関市役所</p> <p>【地元企業等】三菱マヒンドラ農機、新日配薬品、JALしまね、リョーノーファクトリー、ジュンテンドー、島根銀行、玉造温泉まちデコ、石見交通、テクノプロジェクト、隠岐堂スクエア、プラネット・アース、三栄、島根労働局、島根県庁、島根県警察、松江市役所、安来市役所</p> <p>進学先 島根大学大学院、千葉大学大学院、名古屋大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、九州大学大学院</p>

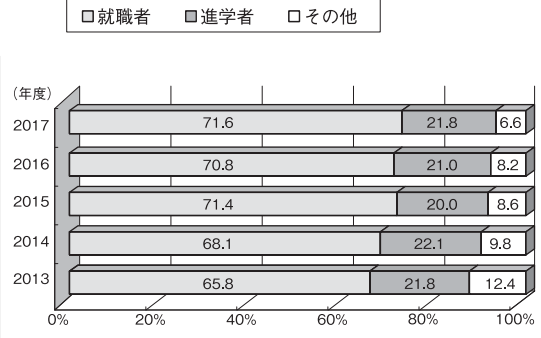
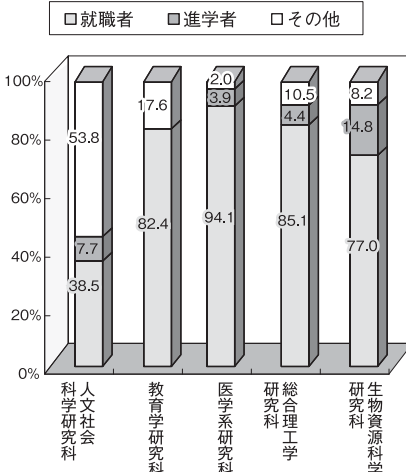
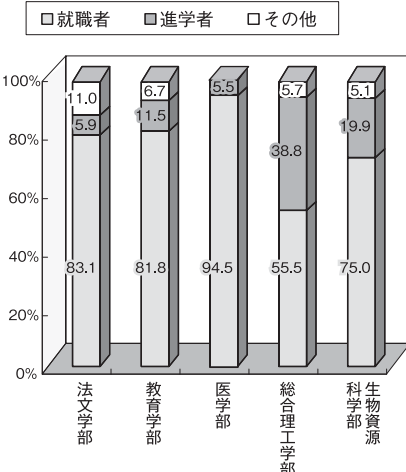
*順不同、就職先・進学先には大学院修了者を含まない。

●卒業・修了後の状況

●卒業後の状況の推移(学部)

◆学部

◆大学院



(注)医学部は、医学科を含まない。

(注)5月1日現在のデータである。

公開講座・公開授業(2017年度)

公開講座

	講座名	回数	総時間	募集人数	受講人数	開設場所	学部・センター
前 期	テニス教室 初級・中級・上級Ⅰ	10	20	50	55	松江キャンパス内テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室ⅠA	8	8	30	23	川津テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室ⅠB	8	12	30	31	川津テニスコート	教育学部
	泳げないこの水泳教室	5	15	20	23	松江キャンパス内プール	教育学部
	少しだけ泳げるこの水泳教室	5	15	20	31	松江キャンパス内プール	教育学部
	木育教室	10	40	10	8	松江キャンパス	教育学研究科
	健康長寿の秘訣を探る	4	6	20	18	松江キャンパス	医学部
	日本の医療を考える	3	4.5	20	10	松江キャンパス	医学部
	感染症と癌の治療：最近の話題	3	3	30	13	出雲キャンパス	医学部
	トマトの水耕栽培体験	3	6	10	10	本庄総合農場	生物資源科学部
	旬の果実でジャム作り(A)	2	5	10	6	本庄総合農場	生物資源科学部
	旬の果実でジャム作り(B)	2	5	10	6	本庄総合農場	生物資源科学部
	やさしいサツマイモ栽培	6	12	20	11	本庄総合農場	生物資源科学部
	はじめてみよう！ワープロソフト・ワード	2	4	30	8	松江キャンパス	生物資源科学部
	使ってみよう！ワープロソフト・ワード	3	7.5	30	23	松江キャンパス	生物資源科学部
	上級者へ挑戦！ワープロソフト・ワード	2	6	30	16	松江キャンパス	生物資源科学部
	リトグラフ版画を作ろう	6	12	5	3	松江キャンパス	総合理工学研究科
	第13回島根まるごとミュージアム体験ツアー	1	8	30	29	奥出雲町	ミュージアム
	金曜日のドイツ語	8	8	20	23	松江キャンパス	外国語教育センター
	汽水域との付き合い方(1)	5	7.5	20	7	松江キャンパス	エスチュアリー研究センター
第5回 皆で楽しく体験実習！ もしもの時の救命処置！	1	1.5	20	6	松江キャンパス	クリニカルスキルアップセンター	
理科実験講座 2. 台所は実験室	1	2.5	20	18	出雲科学館	総合科学研究支援センター	
仕事で使える「ワード」の基本スキルをマスター	12	24	20	7	松江キャンパス	生涯教育推進センター	
仕事で使える「エクセル」の基本スキルをマスター	12	24	20	15	松江キャンパス	生涯教育推進センター	
「家族の写真・地域の写真」デジタルアーカイブ	4	9	15	7	松江キャンパス	生涯教育推進センター	
人物デザイン&クロッキー講座	4	8	10	7	松江キャンパス	教育学部	
新しい「国語」の世界 2017	7	10.5	30	16	松江キャンパス	教育学部	
テニス教室 初級・中級・上級Ⅱ	10	20	50	57	松江キャンパス内テニスコート	教育学部	
こどもテニス教室2A	8	8	30	20	川津テニスコート	教育学部	
こどもテニス教室2B	8	12	30	16	川津テニスコート	教育学部	
健康長寿の秘訣を探る	5	7.5	20	23	松江キャンパス	医学部	
柿の剪定(基礎編)	2	5	10	9	本庄総合農場	生物資源科学部	
始めてみよう！表計算ソフト・エクセル	3	6	30	14	松江キャンパス	生物資源科学部	
金曜日のドイツ語	8	8	20	19	松江キャンパス	外国語教育センター	
汽水域との付き合い方(2)	5	7.5	20	11	松江キャンパス	エスチュアリー研究センター	
新しい地域の産学連携と国際共創の取組	1	2	30	0	松江キャンパス	ナノテクノロジーセンター	
第6回 皆で楽しく体験実習！もしもの時の救命処置！自宅で正しく血圧測定！	1	2	20	5	松江キャンパス	クリニカルスキルアップセンター	
仕事で使える「エクセル」スキルのワンランクアップをめざす	15	30	20	12	松江キャンパス	生涯教育推進センター	
仕事で使える「ワード」スキルのワンランクアップをめざす	12	24	20	7	松江キャンパス	生涯教育推進センター	

(※) すべて有料講座です。

公開授業

	科目名	曜日	時限	募集人数	受講人数	開設場所	学部・センター
前 期	東アジアのこぼれと文学	月	1・2時限	10	0	松江キャンパス	法文学部
	熱と分子の物理学	月	3・4時限	10	1	松江キャンパス	総合科学研究支援センター
	情報化社会と経済	月	7・8時限	5	6	松江キャンパス	法文学部
	地図の歴史	月	7・8時限	3	3	松江キャンパス	法文学部
	ジオパーク学入門	月	9・10時限	5	4	松江キャンパス	総合理工学研究科
	汽水域の科学(入門編)	火	3・4時限	10	8	松江キャンパス	エスチュアリー研究センター
	細胞学	火	3・4時限	5	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	山陰の歴史～古代・中世～	火	5・6時限	10	9	松江キャンパス	法文学部
	心の世界	火	5・6時限	10	6	松江キャンパス	法文学部
	フランスの社会と文化	火	7・8時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	考古学からみた韓半島の先史・古代文化	水	1・2時限	15	7	松江キャンパス	法文学部
	ものづくりと創造性	水	1・2時限	5	1	松江キャンパス	教育学研究科
	古代出雲の考古学	水	3・4時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	王朝の文学	水	3・4時限	5	5	松江キャンパス	法文学部
	身のまわりの触媒	木	1・2時限	5	0	松江キャンパス	総合理工学研究科
	エレクトロニクスセミナー	木	3・4時限	5	1	松江キャンパス	総合理工学研究科
	文化人類学入門	木	9・10時限	10	1	松江キャンパス	法文学部
	魚と日本人	木	9・10時限	5	4	松江キャンパス	生物資源科学部
	環境の化学	金	1・2時限	10	0	松江キャンパス	総合理工学研究科
	ユーラシアの歴史と民族	金	1・2時限	5	5	松江キャンパス	法文学部
基礎社会学Ⅰ	金	3・4時限	5	5	松江キャンパス	法文学部	
電気と磁気の物理学	金	3・4時限	5	1	松江キャンパス	総合理工学研究科	
日本人の宗教と死生観	金	5・6時限	10	8	松江キャンパス	法文学部	
東アジアの歴史と文化	金	5・6時限	10	10	松江キャンパス	法文学部	
山陰地域の自然災害	金	5・6時限	3	2	松江キャンパス	法文学部	
基礎社会学Ⅱ	金	7・8時限	3	1	松江キャンパス	法文学部	
環境問題通論A	金	9・10時限	10	4	松江キャンパス	教育学研究科	
基礎フィールド演習	集中講義(不定期)		3	0	松江キャンパス	生物資源教育研究センター	
歴史学概論	月	3・4時限	10	9	松江キャンパス	法文学部	
教育臨床心理学概説	月	3・4時限	10	3	松江キャンパス	教育学研究科	
芸術学講義Ⅱ	月	5・6時限	20	15	松江キャンパス	法文学部	

	科目名	曜日	時限	募集人数	受講人数	開設場所	学部・センター
前期	考古学概論Ⅰ	月	7・8時限	10	1	松江キャンパス	法文学部
	農場基礎実習Ⅰ	月	7～10時限	5	2	本庄総合農場	生物資源科学部
	現代フランス語基礎演習Ⅰ	月	9・10時限	8	8	松江キャンパス	法文学部
	基礎物理学ⅠB	月	9・10時限	3	0	松江キャンパス	総合理工学研究科
	木によるものづくり実習Ⅲ	月	9・10時限	5	7	松江キャンパス	教育学部
	共生社会史	火	1・2時限	5	1	松江キャンパス	教育学部
	日本史概説A	火	1・2時限	10	6	松江キャンパス	法文学部
	木質建築学Ⅰ	火	1・2時限	20	2	松江キャンパス	総合理工学研究科
	地誌学概説	火	3・4時限	10	3	松江キャンパス	教育学部
	共生社会演習(人文地理学)	火	5・6時限	10	0	松江キャンパス	教育学部
	財政学Ⅰ	火	5・6時限	10	2	松江キャンパス	法文学部
	東洋史概説A	火	7・8時限	10	7	松江キャンパス	法文学部
	日本文学史AⅡ	火	9・10時限	10	1	松江キャンパス	教育学部
	固体物理学Ⅰ	水	1・2時限	3	1	松江キャンパス	総合理工学研究科
	耕地栽培学	水	1・2時限	5	3	松江キャンパス	生物資源科学部
	歴史学史料演習D	水	1・2時限	3	1	松江キャンパス	法文学部
	西洋史概説A	水	3・4時限	10	6	松江キャンパス	法文学部
	歴史地理学	水	3・4時限	3	3	松江キャンパス	法文学部
	植物細胞工学	水	5・6時限	5	2	松江キャンパス	総合科学研究支援センター
	自然地理学概論	木	1・2時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	農場基礎実習Ⅲ	木	7～10時限	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部
	金融論Ⅰ	木	7・8時限	5	9	松江キャンパス	法文学部
	日本語史講義	木	7・8時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	人文地理学概説Ⅱ	木	9・10時限	10	0	松江キャンパス	教育学部
	果樹園芸学	金	3・4時限	3	4	松江キャンパス	生物資源科学部
	情報産業論	金	3・4時限	5	2	松江キャンパス	法文学部
	日本古典文学特殊講義	金	7・8時限	10	7	松江キャンパス	教育学部
	木によるものづくり実習Ⅰ	金	9・10時限	5	9	松江キャンパス	教育学部
	中国文学における風土と人間	月	1・2時限	10	0	松江キャンパス	法文学部
	異文化との出会い	月	1・2時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	ジオパーク学各論	月	9・10時限	5	5	松江キャンパス	総合理工学研究科
	考古学から見た古代山陰の世界	火	1・2時限	10	7	松江キャンパス	法文学部
	遺産を考える	火	3・4時限	5	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	環境問題通論B	火	9・10時限	10	1	松江キャンパス	生物資源科学部
	光環境と生物	水	3・4時限	10	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	動物の世界	木	3・4時限	5	3	松江キャンパス	生物資源科学部
	プレートテクトニクス	木	7・8時限	10	6	松江キャンパス	総合理工学研究科
	人類史と考古学	木	7・8時限	15	11	松江キャンパス	法文学部
	漢文史料を読む	金	1・2時限	5	5	松江キャンパス	法文学部
	「酒」～一杯の酒から覗く学問の世界～	金	3・4時限	4	1	松江キャンパス	法文学部
	自己と世界	金	3・4時限	10	11	松江キャンパス	法文学部
	島大ミュージアム学	金	3・4時限	10	6	松江キャンパス	ミュージアム
	技術と社会	金	5・6時限	10	6	松江キャンパス	総合理工学研究科
	熱力学	月	3・4時限	5	0	松江キャンパス	総合科学研究支援センター
	芸術学講義Ⅲ	月	5・6時限	20	19	松江キャンパス	法文学部
農場基礎実習Ⅱ	月	5～8時限	5	2	本庄総合農場	生物資源科学部	
情報経済論	月	7・8時限	5	4	松江キャンパス	法文学部	
考古学概論Ⅱ	月	7・8時限	10	6	松江キャンパス	法文学部	
現代フランス語基礎演習Ⅱ～B.D.を読む～	月	9・10時限	9	9	松江キャンパス	法文学部	
発生生物学	月	9・10時限	5	3	松江キャンパス	生物資源科学部	
木によるものづくり実習Ⅱ	月	9・10時限	5	6	松江キャンパス	教育学部	
財政学Ⅱ	火	1・2時限	5	1	松江キャンパス	法文学部	
遺伝学	火	1・2時限	3	2	松江キャンパス	生物資源科学部	
基礎物理学C～振動と波動～	火	1・2時限	5	1	松江キャンパス	総合理工学研究科	
地方財政論	火	3・4時限	5	3	松江キャンパス	法文学部	
木質建築学Ⅱ	火	3・4時限	20	1	松江キャンパス	総合理工学研究科	
東洋史概説B	火	7・8時限	10	6	松江キャンパス	法文学部	
歴史学史料演習D	水	1・2時限	3	0	松江キャンパス	法文学部	
地誌学Ⅱ	水	3・4時限	3	3	松江キャンパス	法文学部	
自然地理学特論	木	1・2時限	5	2	松江キャンパス	法文学部	
農業環境科学	木	1・2時限	10	0	松江キャンパス	生物資源科学部	
日本語学概論	木	5・6時限	10	9	松江キャンパス	法文学部	
環境経済論Ⅱ	木	5・6時限	5	2	松江キャンパス	法文学部	
資源作物学	木	5・6時限	10	1	松江キャンパス	生物資源科学部	
農場基礎実習Ⅳ	木	5～8時限	5	1	本庄総合農場	生物資源科学部	
金融論Ⅱ	木	7・8時限	6	7	松江キャンパス	法文学部	
木と木工の知識	木	7・8時限	5	7	松江キャンパス	教育学部	
経済学概論	金	3・4時限	5	3	松江キャンパス	法文学部	
英米文学入門	金	3・4時限	3	3	松江キャンパス	法文学部	
日本文学史AⅠ～王朝物語文学の世界-前半～	金	5・6時限	20	4	松江キャンパス	教育学部	
文化共生論～日本の王朝文学と「異界」～	金	7・8時限	20	7	松江キャンパス	教育学部	
証券論～野村証券株式会社提供講座～	金	7・8時限	10	10	松江キャンパス	法文学部	
イギリス文学講義Ⅰ	金	7・8時限	5	4	松江キャンパス	法文学部	

※1・2時限8:30～10:00、3・4時限10:15～11:45、5・6時限12:45～14:15、7・8時限14:30～16:00、9・10時限16:15～17:45

※授業回数は15回です。

科学研究費助成事業等の受入状況(2017年度)

■科学研究費助成事業

研究種目	件数	金額(千円)
新学術領域研究	2	2,300
基盤研究(A)	0	0
基盤研究(B)	25	90,250
基盤研究(C)	150	163,360
挑戦的萌芽研究	14	11,750
挑戦的研究(萌芽)	2	5,900
若手研究(A)	2	9,380
若手研究(B)	50	47,500
研究活動スタート支援	5	5,600
特別研究員奨励費	3	2,800
奨励研究	2	740
研究成果公開促進費	1	2,200
計	256	341,780

■厚生労働科学研究費

2018.3.31現在

件数	金額(千円)
2	11,743

■民間等との共同研究

件数	金額(千円)
130	135,660

■受託研究

件数	金額(千円)
65	219,440

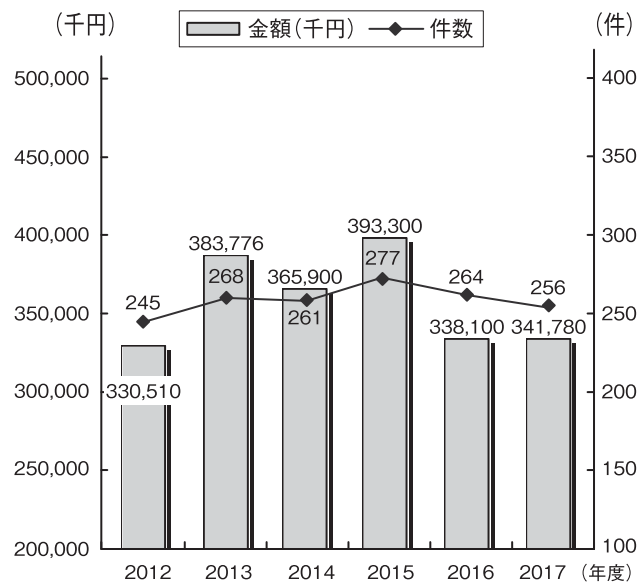
■寄付金

件数	金額(千円)
492	483,519

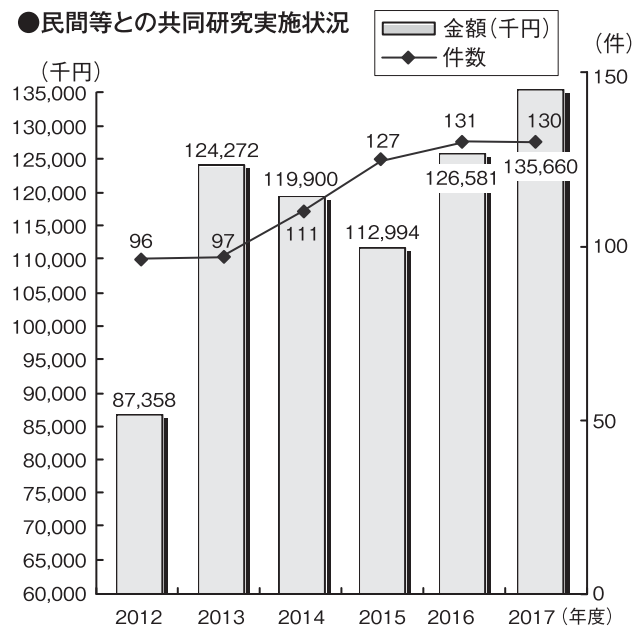
■発明届出等状況(2017年度)

発明届出件数	出願件数
15	15

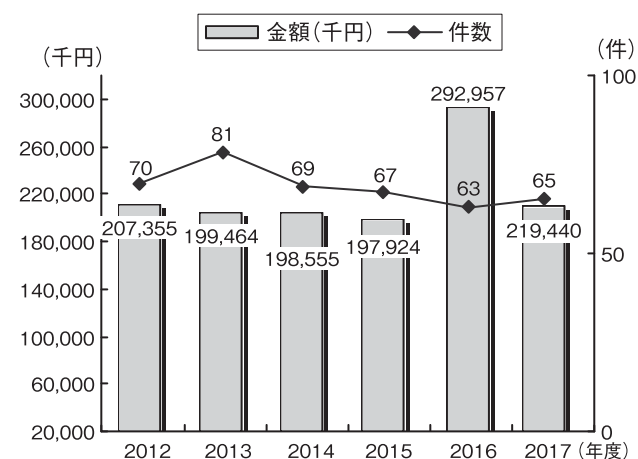
●科学研究費助成事業受入状況



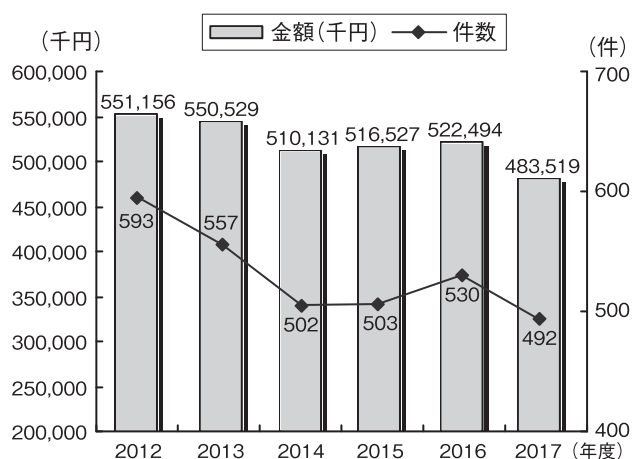
●民間等との共同研究実施状況



●受託研究受入状況



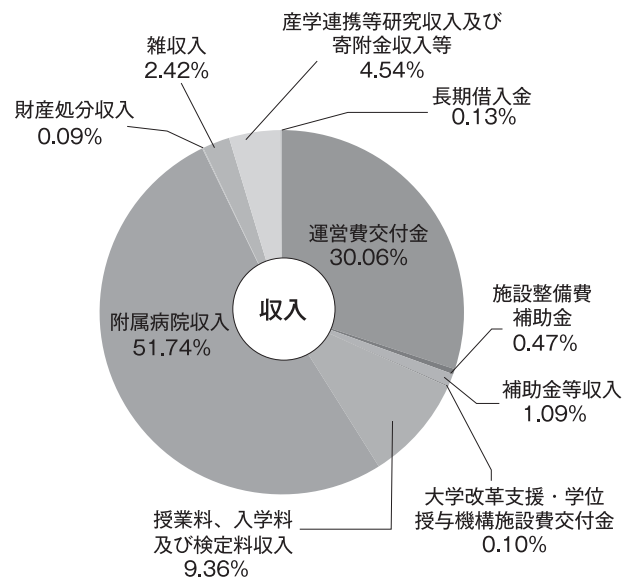
●寄付金受入状況



収入・支出決算額(2017年度)

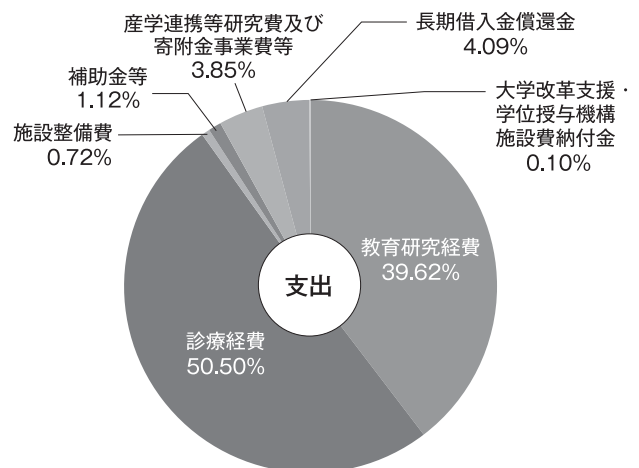
■収入

区 分	金額 (百万円)
運営費交付金	10,887
施設整備費補助金	169
補助金等収入	393
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	35
授業料、入学料及び検定料収入	3,389
附属病院収入	18,742
財産処分収入	34
雑収入	878
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,645
長期借入金	48
合 計	36,222



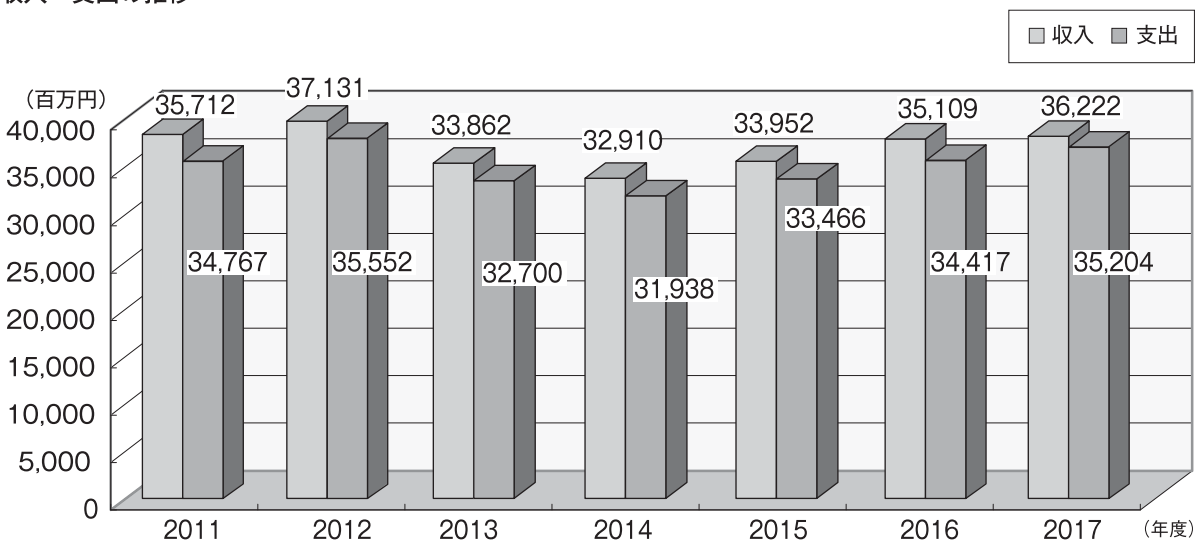
■支出

区 分	金額 (百万円)
教育研究経費	13,949
診療経費	17,779
施設整備費	253
補助金等	393
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,357
長期借入金償還金	1,438
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	34
合 計	35,204



(注)記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計があわない場合があります。

●収入・支出の推移

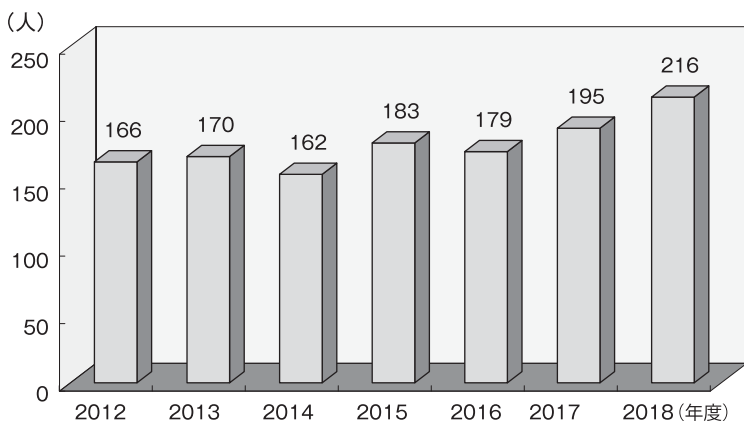


外国人留学生の受入状況

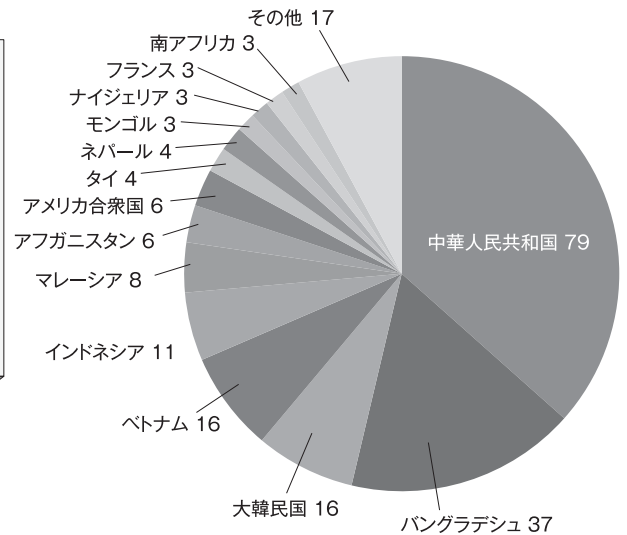
2018.5.1現在

学部等 国籍	法文学部			法文学部集計	教育学部		教育学部集計	医学部		医学部集計	総合理工学部			総合理工学部集計	生物資源科学部			生物資源科学部集計	鳥取大学連合農学研究科		鳥取大学連合農学研究科集計	自然科学研究科		自然科学研究科集計	総計
	学部学生	研究生等	大学院学生		研究生等	大学院学生		学部学生	研究生等		大学院学生	学部学生	研究生等		大学院学生	学部学生	研究生等		大学院学生	大学院学生		大学院学生	大学院学生		
中華人民共和国	10	6	9	25	6	6	3	10	13	7	2	7	16	8	2	2	12	2	2	3	2	5	79		
バングラデシュ		1		1				14	14			6	6			5	5	9	9	1	1	2	37		
大韓民国	4			4				1	1	4		2	6	4			4				1	1	4	16	
ベトナム	2			2				1	1	2	2	1	5	1	5		6				2	2	2	16	
インドネシア				0	1	1		6	6	1		1	1			1	2	2					0	11	
アフガニスタン				0					0			0				5	5				1	1	6	6	
マレーシア		1		1					0	5		1	6				0				1	1	8	8	
タイ		1		1					0			0					0	3	3				0	4	
ネパール				0					0			1	1			1	1	2	2				0	4	
モンゴル				0				2	2				0			1	1						0	3	
ナイジェリア				0					0			2	2				0	1	1				0	3	
ミャンマー				0					0			0					0						0	0	
フランス		3		3					0			0					0						0	3	
南アフリカ				0					0			1	1			1	1				1	1	3	3	
アメリカ合衆国		5		5	1	1			0			0					0						0	6	
台湾		2		2					0			0					0						0	2	
エチオピア				0				2	2				0				0						0	2	
アイスランド		2		2					0			0					0						0	2	
イギリス				0					0		1	1					0						0	1	
ウガンダ				0					0			0					0				1	1	1	1	
ベナン				0					0			0					0				1	1	1	1	
タンザニア				0				1	1			0					0						0	1	
エリトリア				0					0			1	1				0						0	1	
ブラジル				0	1	1			0			0					0						0	1	
チュニジア				0					0			0					0				1	1	1	1	
キルギス				0					0			1	1				0						0	1	
カメルーン				0					0			1	1				0						0	1	
ガーナ				0					0			0					0	1	1				0	1	
ポーランド		1		1					0			0					0						0	1	
総計	16	22	9	47	9	9	3	37	40	19	5	24	48	14	7	15	36	20	20	4	12	16	216		

●留学生数の推移



●留学生の国籍内訳



外国への留学状況

■島根大学から留学した学生の数（2017年度）
（留学、語学研修、異文化研修、短期研修等）

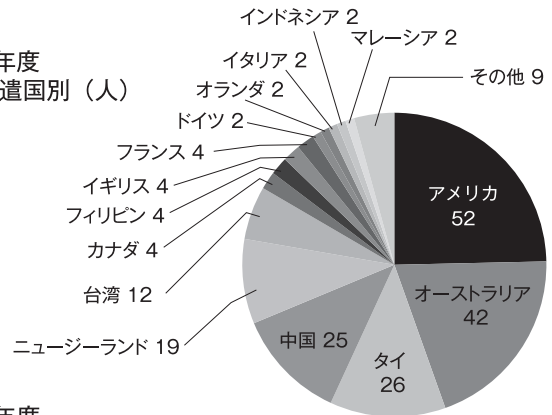
1. 派遣国・地域別（人数）

アメリカ	52
オーストラリア	42
タイ	26
中国	25
ニュージーランド	19
台湾	12
カナダ	4
フィリピン	4
イギリス	4
フランス	4
ドイツ	2
オランダ	2
イタリア	2
インドネシア	2
マレーシア	2
その他	9
合計	211

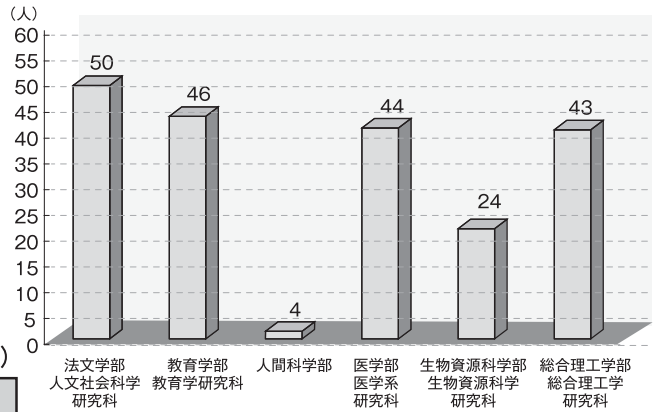
2. 所属別（人数）

法文学部 人文社会科学研究科	50
教育学部 教育学研究科	46
人間科学部	4
医学部 医学系研究科	44
生物資源科学部 生物資源科学研究科	24
総合理工学部 総合理工学研究科	43
合計	211

●2017年度
学生派遣国別（人）



●2017年度
所属別学生派遣人数（211人）



■島根大学から交流協定校に交換留学した学生の数（2017年度）

派遣先	法文学部	総合理工学部	総計
アメリカ	2	0	2
イギリス	1	0	1
ドイツ	2	0	2
中国	0	1	1
総計	5	1	6

奨学生数

2018.3.1 現在

区分	学生数	日本学生支援機構			比率 (計/学生数)
		(注1)第一種	(注1)第二種	(注2)計	
法文学部	953	257	222	435	45.6
教育学部	676	164	180	313	46.3
人間科学部	82	26	15	39	47.6
医学部	931	200	187	309	33.2
総合理工学部	1,759	454	412	787	44.7
生物資源科学部	874	235	191	379	43.4
計	5,275	1,336	1,207	2,262	42.9
人文社会科学研究科	21	5	0	5	23.8
教育学研究科	修士課程	21	4	0	19.0
	専門職学位課程	38	10	1	26.3
医学系研究科	修士課程	56	1	1	3.6
	博士課程	150	2	0	1.3
総合理工学研究科	博士前期課程	233	114	15	50.6
	博士後期課程	22	13	1	59.1
生物資源科学研究科	88	42	4	43	48.9
法務研究科	1	0	0	0	0.0
計	630	191	22	197	31.3
合計	5,905	1,527	1,229	2,459	41.6

(注1) 併用貸与者を含むべ数 (注2) 併用貸与者を含む実数
※外国人留学生は除く。※給付奨学生は除く。

定期刊行文献

●学術雑誌

発行部局等名	文献誌名	編集	発行回数(年)
法文学部	島大法學	法経学科・法務研究科	4
	経済科学論集	法経学科	1
	社会文化論集	社会文化学科	1
	島大言語文化	言語文化学科	2
	山陰研究	山陰研究センター	1
教育学部	島根大学教育学部紀要(教育学、人文・社会科学、自然科学)	教育学部	1
	島根大学教職大学院紀要「学校教育実践研究」	教育学研究科教育実践開発専攻(教職大学院)	1
	島根大学教育臨床総合研究	教育学部附属教育支援センター	1
	附属小学校研究紀要	附属小学校	1
	附属中学校研究紀要	附属中学校	1
	附属学校園研究紀要	附属学校園	1
人間科学部	島根大学人間科学部紀要	人間科学部	1
医学部	島根大学医学部紀要, Shimane Journal of Medical Science	医学部	2
総合理工学部	島根大学総合理工学部紀要	総合理工学部	1
	島根大学地球資源環境学研究所	総合理工学研究科地球資源環境学教室	1
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部研究報告	生物資源科学部	1
法務研究科	島大法學	法文学部法経学科・法務研究科	4
外国語教育センター	島根大学外国語教育センタージャーナル	外国語教育センター	1
エスチュアリー研究センター	島根大学研究・学術情報機構エスチュアリー研究センター年次報告	エスチュアリー研究センター	1
総合科学研究支援センター	島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター教育研究活動報告	総合科学研究支援センター	1
地域包括ケア教育研究センター	島根大学研究・学術情報機構地域包括ケア教育研究センター成果報告書	地域包括ケア教育研究センター	1
島根大学・寧夏大学国際共同研究所	島根大学・寧夏大学国際共同研究所年報	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	1
こころとそだちの相談センター	島根大学こころとそだちの相談センター紀要	こころとそだちの相談センター	1

●広報紙等

発行部局等名	文献紙名	編集	発行回数(年)
企画広報情報課	島根大学概要	広報戦略室	1
	島根大学案内	広報戦略室	1
	広報しまだい	広報戦略室	4
地域連携・研究協力課	島根大学の地域連携・地域貢献シーズ集	地域連携・研究協力課	不定期
法文学部	島根大学法文学部(学部案内)	法文学部	1
	島根大学教育学部(学部案内)	教育学部	1
	1000時間体験学修	教育学部附属教育支援センター	1
	島根大学教員免許状更新講習パンフレット	教育学部附属教師教育研究センター	1
	教職大学院パンフレット	教職大学院	1
	園要覧(附属幼稚園)	附属幼稚園	1
	おりづる	附属幼稚園	3
	学校要覧(附属小学校)	附属小学校	1
	附小だより	附属小学校	11
	ちどり	附属小学校	3
	学校要覧(附属中学校)	附属中学校	1
	SCHOOL GUIDE	附属中学校	1
	若樹	附属中学校	3
	学校園要覧	附属学校園	1
	人間科学部	島根大学人間科学部パンフレット	人間科学部
医学部	島根大学医学部(学部案内)	医学部	1
医学部附属病院	しろうさぎ 病院ニュース	附属病院 附属病院	4 12
総合理工学部	島根大学総合理工学部(学部案内)	総合理工学部	1
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部(学部案内)	生物資源科学部	1
	生物資源科学部だより	生物資源科学部	2
地域未来協創本部	「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」事業成果報告書	地域未来協創本部 地域人材育成部門	1
	島根大学研究シーズ集	地域未来協創本部 産学連携部門	不定期
	島根大学地域未来協創本部 産学連携部門 年報	地域未来協創本部 産学連携部門	1
	島根大学 地域未来協創本部 産学連携部門メールマガジン	地域未来協創本部 産学連携部門	不定期
島根大学地域未来協創本部地域医学共同研究部門・ニュースレター	地域未来協創本部 地域医学共同研究部門	1	
教育推進センター	島根大学教育推進センター年報	教育推進センター	不定期
生涯教育推進センター	島根大学生涯教育推進センターパンフレット	生涯教育推進センター	不定期
	島根大学公開講座受講案内冊子	生涯教育推進センター	2
	島根大学公開講座募集チラシ	生涯教育推進センター	2
キャリアセンター	島根大学キャリアセンター年報	キャリアセンター	1
	キャリアハンドブック	キャリアセンター	1
	島大就活日記	キャリアセンター	1
	企業採用担当者向けパンフレット	キャリアセンター	1
保健管理センター	保健管理センターのしおり(松江)	保健管理センター松江	1
	保健管理センターのしおり(出雲)	保健管理センター出雲	1
総合科学研究支援センター	島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター通信	総合科学研究支援センター	2
国際交流センター	SHIMANE UNIVERSITY PROSPECTUS	国際交流センター	1
	島根大学リーフレット	国際交流センター	不定期
附属図書館	島根大学附属図書館概要	附属図書館	3年毎
	島根大学附属図書館年報	附属図書館	1
	島根大学附属図書館報：淞雲	附属図書館	1
	本館ニュース「LiMe: ライム」	附属図書館(図書館コンシェルジュ)	4
	医学図書館ニュース「インフォ・アクセス」	附属図書館	毎月
総合情報処理センター	島根大学総合情報処理センター(概要)	総合情報処理センター	不定期
	島根大学研究・学術情報機構総合情報処理センター・News Letter	総合情報処理センター	1
総合博物館	島根大学総合博物館・ニュースレター	総合博物館	不定期
	島根大学総合博物館年報	総合博物館	隔年
男女共同参画推進室	島根大学男女共同参画推進室メールマガジン[さぼっと通信]	男女共同参画推進室	不定期
	島根大学男女共同参画推進室事業報告書	男女共同参画推進室	不定期
島根大学・寧夏大学国際共同研究所	島根大学・寧夏大学国際共同研究所ニュースレター	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	不定期
	島根大学・寧夏大学国際共同研究所パンフレット	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	不定期

土地・建物

2018.5.1現在

区 分	土地(㎡)	建 物		備 考
		建面積(㎡)	延面積(㎡)	
松江キャンパス(川津団地)	201,195	40,640	125,489	京田(駐車場)を含む
本部棟(松江)		714	2,799	
法文学部		1,921	7,631	法文学部校舎
教育学部・人間科学部		4,132	16,554	教育学部実験研究室棟
総合理工学部		6,952	34,541	総合理工学部1・2・3号館
生物資源科学部		5,080	22,375	生物資源科学部1・2・3号館
生物資源科学部附属施設		1,396	1,504	水利実験室、農業機械実験室、林産加工場、製材加工室、動物実験飼育室
温室・ガラス室		864	864	
光物性実験室		53	53	
教養講義室棟		1,301	4,292	教養講義室棟1・2号館
大学ホール		820	831	
保健管理センター		261	479	
エスチュアリー研究センター		250	774	
遺伝子実験施設		515	1,514	
附属図書館		2,035	6,826	
総合情報処理センター		361	683	
総合博物館(2018.5.14～)		155	155	
古代出雲研究施設		65	130	
体育施設		4,863	5,293	第1・2体育館、トレーニングセンター、プール棟、武道場、弓道場
学生市民交流ハウス		130	75	
学生センター		782	1,400	
学生支援センター		345	656	
大学会館(松江)		877	2,166	
学生食堂		1,592	1,636	第1・2学生食堂
課外活動施設		515	1,976	
学生寄宿舎		2,237	7,466	
環境安全施設		180	180	
有機廃液焼却処理施設		93	93	
中央監視室棟		69	69	
特高変電棟		168	336	
昇降機棟		44	48	
その他		1,870	2,090	倉庫及び雑建屋
附属学校キャンパス(大輪団地)	54,688	8,468	15,268	
教育学部附属幼稚園		748	912	園舎、物置器具置場
教育学部附属小学校		3,917	7,399	校舎、体育館
教育学部附属中学校		3,803	6,957	校舎、体育館
出雲キャンパス(塩治団地)	222,625	42,731	132,823	
本部棟(出雲)		981	3,351	
講義棟		661	1,965	
実習棟		1,180	4,525	
基礎研究棟		631	4,997	
臨床研究棟		903	4,647	
看護学科棟		1,211	6,587	
共同研究棟		601	2,312	
第二研究棟		754	3,715	
第三研究棟		333	1,335	
第二共同研究棟		395	1,171	
第三共同研究棟		216	420	
第四共同研究棟		207	415	
チュートリアル教室		184	368	
臨床講義棟		884	1,434	
地域未来協創本部(出雲)		846	2,268	地域医学共同研究部門
RI・動物実験施設		1,201	3,944	
RI研究棟		193	428	
国際交流会館(出雲)		412	843	
附属図書館(出雲)		1,026	2,232	
体育館		1,315	1,175	
武道館		457	422	武道場、弓道練習場
大学会館(出雲)		833	1,998	
医学部会館		451	586	
保育所		186	186	
看護師宿舎		984	4,007	
入院児童等家族宿泊施設		200	188	
地域医療支援センター(みらい棟)		773	2,480	
附属病院棟		14,038	57,972	外来・中央診療棟、A・B・C病棟
高エネルギー診療棟		1,156	1,270	
MRI-CT装置棟		531	531	
病歴室		175	482	
立体駐車場		3,921	7,771	
中央機械室		1,923	2,567	
塵芥焼却炉室・発電機室		300	300	
廃水処理施設管理室		340	336	
RI排水処理施設		216	259	
特高変電棟		215	410	
高度外傷センター		463	1,074	
院外薬局		486	769	
その他		949	1,083	ハブリックススペース上屋(医の庭)、倉庫及び雑建屋
フィールド教育・研究キャンパス	5,990,145	6,754	8,404	
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター				
森林部門(三瓶・頓原・匹見・二ノ谷団地)	5,804,845	531	739	三瓶演習林、匹見演習林、三坂山演習林等
農業生産科学部門(本庄・神西団地)	180,713	5,329	6,159	本庄農場、神西農場
海洋生物科学部門(隠岐団地)	4,587	894	1,506	隠岐臨海実験所
その他の団地	15,056	1,891	2,786	
江島	3,457	410	377	エスチュアリー研究センター中海分室
北陵	1,350	668	1,141	地域未来協創本部(松江)
菅田	3,182	435	830	国際交流会館(松江)
柴	4,864	74	74	第2運動場(テニスコート、自動車練習場)
朝酌	1,314	304	364	艇庫
曲り田	889	0	0	駐車場

連絡先一覧

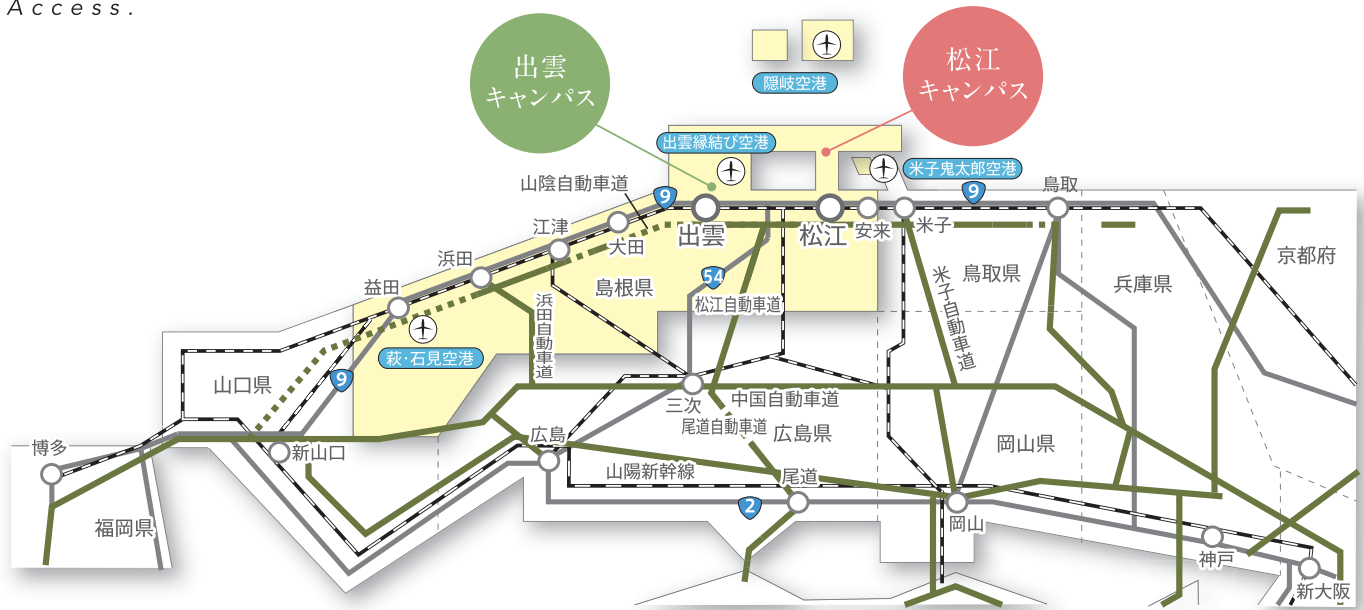
大学ホームページ <http://www.shimane-u.ac.jp> E-mail: webinfo@office.shimane-u.ac.jp

学部等
機構等
事務組織

	▶電話	▶E-mail
法学部：人文社会科学研究所	0852-32-6113	lit-jimu@office.shimane-u.ac.jp
教育学部：教育学研究所	0852-32-6251	edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp
附属教育支援センター	0852-32-9836	aces@edu.shimane-u.ac.jp
附属教師教育研究センター	0852-32-6495	crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp
附属FD戦略センター	0852-32-9850	fukui@lib.shimane-u.ac.jp
附属幼稚園	0852-29-1120	sora@edu.shimane-u.ac.jp
附属小学校	0852-29-1200	yaegumo@edu.shimane-u.ac.jp
附属中学校	0852-29-1300	shimafu@edu.shimane-u.ac.jp
附属学校学習生活支援研究センター	0852-29-1314	
人間科学部	0852-32-6334	hmn-jimu@office.shimane-u.ac.jp
医学部：医学系研究所	0853-20-2015	mga-somu@office.shimane-u.ac.jp
医学部附属病院	0853-20-2061	mse-iryoshien@office.shimane-u.ac.jp
総合理工学部：総合理工学研究所	0852-32-6095	sci-jimu@office.shimane-u.ac.jp
自然科学研究所	0852-32-6095	ns-jimu@office.shimane-u.ac.jp
生物資源科学部：生物資源科学研究所	0852-32-6493	lif-jimu@office.shimane-u.ac.jp
附属生物資源教育研究センター	0852-34-0311	lif-honjo@office.shimane-u.ac.jp
法務研究科	0852-32-9835	law-jimu@office.shimane-u.ac.jp
地域未来協創本部		
地域人材育成部門	0852-32-9814	lscrc@riko.shimane-u.ac.jp
産学連携部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
知的財産創活部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
地域医学共同研究部門	0853-20-2912	cmrc@med.shimane-u.ac.jp
教育・学生支援機構		
教育推進センター	0852-32-9860	sucerd@soc.shimane-u.ac.jp
生涯教育推進センター	0852-32-6408	ercll@edu.shimane-u.ac.jp
地域教育魅力化センター	0852-32-9775	fmf@soc.shimane-u.ac.jp
アドミッションセンター	0852-32-6625	admissioncenter@office.shimane-u.ac.jp
キャリアセンター	0852-32-6061	ssd-shushoku@office.shimane-u.ac.jp
保健管理センター		
松江キャンパス	0852-32-6568	health@soc.shimane-u.ac.jp
出雲キャンパス	0853-20-2098	
学生支援センター	0852-32-6330	ssd-gakusei@office.shimane-u.ac.jp
障がい学生支援室	0852-32-9770	ssd-shien@office.shimane-u.ac.jp
研究・学術情報機構		
戦略的研究推進センター	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
エスチュアリー研究センター	0852-32-6099	kisui@soc.shimane-u.ac.jp
総合科学研究支援センター		
遺伝子機能解析部門 (RI 実験施設) (松江キャンパス)	0852-32-6109	idenshi@life.shimane-u.ac.jp
実験動物部門 (出雲キャンパス)	0853-20-2363	kkawaka@med.shimane-u.ac.jp
生体情報・RI 実験部門 (出雲キャンパス)	0853-20-2369	seitairi@med.shimane-u.ac.jp
物質機能分析部門 (松江キャンパス)	0852-32-6122	shijo@riko.shimane-u.ac.jp
総合情報処理センター	0852-32-6091	center@ipc.shimane-u.ac.jp
地域包括ケア教育研究センター	0853-20-2586	
総合博物館	0852-32-6496	museum@riko.shimane-u.ac.jp
自然災害軽減教育研究センター	0852-32-6445	gensai@riko.shimane-u.ac.jp
グローバル化推進機構		
国際交流センター	0852-32-9756	international@office.shimane-u.ac.jp
外国語教育センター	0852-32-9837	epd-gaikoku@office.shimane-u.ac.jp
島根大学・寧夏大学国際共同研究所	0852-32-9735	ied-koryu@office.shimane-u.ac.jp
附属図書館		
本館 (松江キャンパス)	0852-32-6083	library@lib.shimane-u.ac.jp
医学図書館 (出雲キャンパス)	0853-20-2090	m-kanri@lib.shimane-u.ac.jp
評価室	0852-32-6606	
研究推進室	0852-32-6302	ura@soc.shimane-u.ac.jp
男女共同参画推進室	0852-32-6018	kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp
広報戦略室	0852-32-6603	webinfo@office.shimane-u.ac.jp
山陰法実務教育研究センター	0852-32-6426	law-jimu@office.shimane-u.ac.jp
こころとそだちの相談センター	0852-32-1100	
数理・データサイエンス教育研究センター	0852-32-6606	gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp
広島オフィス	082-236-1926	su-hiroshima@jn.shimane-u.ac.jp
監査室	0852-32-6026	aud-kansa@office.shimane-u.ac.jp
企画部		
企画広報情報課	0852-32-6606	gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp
地域連携・研究協力課	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
国際交流課	0852-32-6106	ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp
図書情報課	0852-32-6083	library@lib.shimane-u.ac.jp
教育・学生支援部		
教育企画課	0852-32-6052	epd-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp
入試企画課	0852-32-6073	epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp
学生支援課	0852-32-6330	ssd-gakusei@office.shimane-u.ac.jp
総務部		
総務課	0852-32-6014	gad-somu@office.shimane-u.ac.jp
人事労務課	0852-32-6018	pld-romu@office.shimane-u.ac.jp
財務部		
財務課	0852-32-6023	fad-zaimu@office.shimane-u.ac.jp
経理・調達課	0852-32-6027	apd-chotatsu@office.shimane-u.ac.jp
施設企画課	0852-32-6045	fpd-msomu@jn.shimane-u.ac.jp

アクセス

Access.



松江キャンパス

空路	東京(羽田)→出雲	約1時間25分
	福岡→出雲	約1時間5分
	仙台→出雲	約1時間30分
	静岡→出雲	約1時間20分
	名古屋(小牧)→出雲	約1時間
	大阪(伊丹)→出雲	約55分
※出雲空港から空港連絡バス松江行(約30分)JR松江駅下車		
JR	東京(羽田)→米子	約1時間20分
	※米子空港から空港連絡バス松江行(約45分)JR松江駅下車	
	東京→岡山→松江	約6時間10分
高速バス	福岡→岡山→松江	約4時間30分
	大阪→岡山→松江	約3時間40分
	東京(渋谷)→松江	約10時間25分
	大阪(梅田)→松江	約4時間40分
	岡山→松江	約3時間
	広島→松江[特急便]	約3時間20分
福岡→松江	約8時間	

JR松江駅より

■市営バス	■一畑バス
北循環線内回り	美保関ターミナル行
島根大学前下車	島根大学前下車
約15分	約20分
島根大学・川津行	マリンゲートしまね行
島根大学前下車	島根大学前下車
約20分	約20分

※他に「平成ニュータウン」「あじさい園地」「東高校」等もあります。



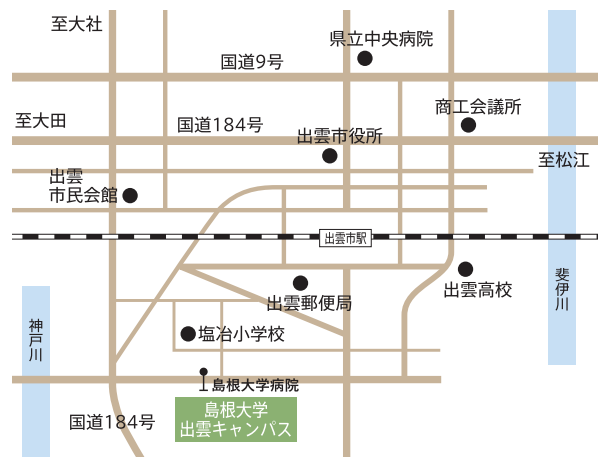
出雲キャンパス

空路	東京(羽田)→出雲	約1時間25分
	福岡→出雲	約1時間5分
	仙台→出雲	約1時間30分
	静岡→出雲	約1時間20分
	名古屋(小牧)→出雲	約1時間
	大阪(伊丹)→出雲	約55分
※出雲空港から空港連絡バス出雲市駅行(約25分)JR出雲市駅下車		
JR	東京→岡山→出雲市	約6時間40分
	福岡→岡山→出雲市	約5時間
	大阪→岡山→出雲市	約4時間10分
高速バス	東京(渋谷)→出雲	約11時間20分
	大阪(梅田)→出雲	約5時間35分
	岡山→出雲	約4時間
	広島→出雲[特急便]	約3時間
	福岡→出雲	約9時間

JR出雲市駅より一畑バス

市民会館・島根医大・上塩治車庫行	約10分
島根大学病院下車	
須佐行	
島根大学病院下車(2番のりば)	約10分

※須佐行は、朝夕の便で経由しない便もありますのでご確認ください。





人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学

国立大学法人 島根大学概要
2018-2019

編集・発行／島根大学広報戦略室(企画部企画広報情報課)

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL.(0852)32-6100

<https://www.shimane-u.ac.jp/>

Email:webinfo@office.shimane-u.ac.jp



学章

総合大学として飛躍し、発展する島根大学を日本海の青色のUで、
知性を愛し感性を育む学問の探究を茜色の扉と本で象徴しています。